

大学一覧

<<アイルランド>>

ダブリンシティ大学ランゲージスクール

<<アメリカ>>

アーカンソー工科大学

ウェスタンワシントン大学

オハイオ州立大学ヤングスタウン校

オレゴン大学

カリフォルニア大学リバーサイド校

カリフォルニア州立大学サンマルコス校

カリフォルニア州立大学スタニスロース校

カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校

カリフォルニア州立大学ロングビーチ校

ジョージアサザン大学

チャタム大学

テネシー大学チャタヌーガ校

ニューメキシコ州立大学

ノースアラバマ大学

ノースキャロライナ大学シャーロット校

パシフィック大学

ペンシルベニア州立インディアナ大学

南カリフォルニア大学インターナショナルアカデミー

<<イギリス>>

ウスター大学

オックスフォードブルックス大学

カンタベリークライストチャーチ大学

キール大学

ケント大学

ハイランドアイランド大学

<<オーストラリア>>

ウェスタンシドニー大学

グリフィス大学

サンシャインコースト大学

セントラルクイーンズランド大学

タスマニア大学

チャールズダーウィン大学

ディーキン大学附属集中英語コース

ニューカッスル大学

ボンド大学

<<オランダ>>

HU ユトレヒト応用科学大学

<<カナダ>>

カルガリー大学

キャピラノ大学

セネカカレッジ

トロント大学

バンクーバーアイランド大学

ブリティッシュコロンビア大学

フレーザーバレー大学

ブロック大学

ヨーク大学

レイクヘッド大学

レスブリッジ大学

<<スペイン>>

ウエルバ大学

<<ドイツ>>

ニュルティンゲン-ガイスリンゲン大学

<<フィリピン>>

ミリアム大学

<<フランス>>

リヨンカトリック大学

<<ベルギー>>

リエージュ大学

<<中国>>

上海外国語大学

北京外国語大学

大連外国語大学

大連大学

天津外国語大学

西安外国語大学

<<台湾>>

国立台湾大学

<<韓国>>

国民大学校

釜山外国語大学校

留学種別	認定
留学先大学	ダブリンシティ大学ランゲージスクール
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- コース内容

25 週のプログラム(8 週間は IELTS コース)に
5 週間の General English Class を追加し、
計 30 週間

- クラス人数・国籍

クラス人数はだいたい 10 人から 15 人ほどで、
国籍は時期による。春夏はヨーロッパからの留学生も
多いが、アジア人の留学生は一年を通して多かった。

- 1 週間の授業時間割

8:50~10:50

20 分間 休憩

11:10~12:50

授業は曜日などは関係なく、同じ教科書をずっと進めて行く。

- 使用教科書

ENGLISH FILE

FOCUS ON IELTS

- 授業形式

最大 15 人のクラスに先生 1 人

- 大学の設備

大学の図書館は語学学校の生徒であっても使用可

教室の設備はその教室にもよりけり。綺麗な新しい教室もあれば古い教室もあったが、基本的
にどの教室でもプロジェクターは使用できた。

II. 生活状況

- ホームステイの環境

私のホームステイ先は特にルールもなく、親切でとても過ごしやすかった。

- 通学方法

バスで 1 時間ほどかけて毎日通学していた。

- 食事や買い物

食事は朝と夜だけの契約だったが、昼も食べさせてくれた。買い物も私が好きなものは買って
おいてくれたので自分だけで行くことはほとんどなかった。

- 休日の過ごし方

語学学校でできた友達と、カフェで食事したり公園でのんびりしたりして過ごすことが多かっ
た。たまに、バスなどで遠出もしていた。アイルランドは田舎なので、のんびりした過ごし方が
基本的に多かった。

留学種別	TESS II
留学先大学	アーカンソー工科大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

6 月から 8 月までの授業に関しては、ELI を受講するはずが派遣期間がずれていたため受講出来ず、4 つの学部授業を受講。その内 3 つがオンラインで 1 つが **face to face** の物。夏休み期間というのもあり受講出来る授業は極端に限られていた。唯一の **face to face** の授業のクラス構成は自分達意外全員現地人であり、週 5 回の講義式授業で内容は大学での過ごし方の基礎を学ぶ根本的なものであった。(唯一それしか **face to face** の授業で取れるものがなかった。) オンラインに関しては文字通り週 5 回のパソコンでの受講。アメリカで他大学に留学している外大生の学習環境に比べ、不便性を感じる。

II. 生活状況

宿舎の設備に関しては建物自体が古いため多少の劣化を感じるが、生活する分にはなんの問題はない。食事に関しては大学周辺にスーパーがないため週二回の **walmart** へのバスを利用し食料を調達する、もしくは大学周辺のファストフードを食す。休日は数少ないキャンパスにいる他国の留学生と交流をしつつ、基本的には部屋にて休息を取る。なぜなら大学周辺は基本的に交通機関もなければ、歩道すらあまり見当たらないので大学外に出る事は困難。車があれば別問題。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

はじめの 5 週間、環境に慣れてなかったり、宿題が多かったりと大変でした。TESOL の授業では少人数ということもあり、周りと話しやすいです。勉強、宿題はほとんど図書館で行っています。

II. 生活状況

バスで約 5 分～10 分です。買い物は週に二回行っています。宿舎はいい環境ですが、自分の場合いろいろタイミングに困ります。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Communication Theory

クラスの人数：20 人ほど

月・水・金の週 3 日間

教科書はなく、先生が毎回パワーポイントを用意してくださった。

講義形式

図書室や、質問できる場所など学習環境がとても整っている。

Women Gender Studies

クラスの人数：20 人ほど

月・水・金の週 3 日

教科書はなく、先生が事前にオンラインで動画や本をアップし、それについてディスカッションする。

ディスカッション形式

先生がとっても優しく毎回授業後にフィードバックしてくださり、しっかり理解できた。

II. 生活状況

オフキャンパスの WWU の寮 (Birnam Wood)

学校からは徒歩 20 分ほど、バスで 10 分ほど

学生カードがあれば無料で乗れるのでほとんど毎日バスで通っている。

部屋は一人ルームメイト、2 人スイートメイトがおり、全員で 4 人の部屋になっている。

お風呂やキッチン、リビングは共有スペースで Wi-Fi もついている。

食事は自炊。徒歩 15 分ほどのところにスーパー、やレストラン、バスで 15 分程度の所に違うスーパーなど寮付近は充実しているので自炊で十分。

休日は毎週現地の友達とお出かけしたり、車を持っている友達とシアトルやバンクーバーへ行ったりもした。いろんな場所を紹介してもらったり遊んだりした。課題が多い週は課題をやっていた。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

LING 201

音韻論、形態論など一般的な言語学の分野からアメリカの方言、英語のアクセントの違い、社会言語学、アメリカ手話など幅広く学びました。

授業が終わるとその日の **Power point** や教科書についてのオンラインクイズをやりました。(全問正解するまで何回でも挑戦できます)

テストは 4 回あり、教授が **Practice test** を作ってくれるのでとてもやりやすかったです。

今学期のクラスは 100 人以上いる大教室でしたが、学期や教授によってクラスの大きさは変わります。

TESL 401

基本的には **LING 201** と内容は同じですが、より英語を教える立場に立って学ぶ授業でした。

クラスは少人数で話し合ったり、クラスメートにいろいろと助けてもらうことが多く最も現地生や教授とコミュニケーションが取れたクラスです。

現地生にとっても、課題が多くやるのがたくさんあるクラスですがやりがいはあるし、教授も留学生ということいろいろと気にかけて配慮して下さいました。

II. 生活状況

寮は基本的に困ったことはなく、快適に過ごせました。

学校にはバスに乗って 10 分ほど、スーパーやご飯を食べるところは歩いて行ける距離にあります。

休日は **Downtown, Seattle, Vancouver** に行ったり大学のイベントに参加することが多かったです。

現地の学生だけでなく、**WWU** の日本人の留学生や他国からの留学生と仲良くなっておくことをお勧めします。

銀行の口座の開設や寮のわからないことはいつも快く教えてくれました。

留学種別	TESS II
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は **Spring semester** と **Summer semester** は、月曜日から木曜日までの週4日語学コースである **ELI** にて授業を受講しました。**ELI** は **Foundations** から **Level5** までの6つのクラスを展開しており、授業が始まる前にレベル振り分けの簡単な筆記・スピーキングのテストを受けます。私はレベル4に振り分けられました。(外大生は次セメスターには大学授業に移行しなくてはならないためこのテストの点数に関係なくレベル4から始まるっぽいですが。) これにより私は **Spring semester** で **Level 4** (各授業60分、1日に・**Reading**・**Grammar**・**Listening**・**Writing**・**Speaking** の5科目)、**Summer semester** では **Level5** (各授業75分、1日に・**Reading**・**Speaking**・**Writing**・**Listening** の4科目)を受講しました。クラスのメンバーは、**Spring semester** ではサウジアラビア人2人、中国人2人、ベトナム人1人、日本人4人の合計9人で、**Summer semester** は **Spring semester** のメンバーからサウジアラビア人が1人減り、韓国人が1人増え、合計9人でした。しかし **ELI** の先生によるとここまで大人数のクラスはレアケースで、大抵のクラスは3~4人だそうです。教科書は授業が始まる前に学校側から指示があるので、指示された教科書をキャンパス内の本屋にて購入します。(うまくいけば1つ上のレベルを受講している子から格安で買い取ることができます。) 授業形式は講義形式ではありますが、ほとんどの授業にて発言等が求められます。フレンドリーな先生が多いので、わきあいあいとした雰囲気です。授業を受けました。もし授業内で理解できなかったことや、体調不良で休んでしまった授業の内容を教えてもらいたい場合は、担当の先生に相談すると快く時間を作って教えてくれます。語学コースの授業は、キャンパス中心にある図書館の地下にてすべて受講しました。大学内には、図書館やちょっとしたロビー等、自習できるスペースがたくさんあります。

II. 生活状況

大学にはキャンパス中心地に **Kilcawley House**, キャンパス周辺に **Lyden House**, **Cafaro House** という3つの大学ハウジングが管轄している寮があります。全寮1部屋に2~3人(追加料金を払えば1人部屋も可能)住んでおり、使用料無料のランドリー、共同キッチンが完備。また **Kilcawley House** 以外はジム、**Lyden House** 以外はコンピューター室が完備。すべての寮は居住費にミールプランを含んでいます。このミールプランは、大学内の食堂を1週間に12回使え、大学内飲食店で使えるポイントが自分の学生証にチャージされるものです。しかしこのミールプラン、1か月約6万円と高価格なうえに食堂でする食べ物はほぼファストフード、ポイントが使える店もほぼファストフード店と日本人向けのものではありません。この生活が耐えられないうえに私は女子だということあなたには、キャンパス内にある **Buechner Hall** という女子寮への移住をおすすめします。そこに入居した場合大学のミールプランは購入する必要はありません。そのかわり寮内のミールプランを購入することになりますが、大学のものに比べ低価格でヘルシーなものが食べられます。しかしこの寮はとても人気なため、入居を希望する場合にはなるべく早くウェイティングリストに名前を書きましょう。また、大学管轄の3寮は夏休み等長期休みになると寮費が跳ね上がります。気を付けましょう。休日は、基本的に車やバスを使わないと何もできません。友達に車に乗せてもらうか、**Uber** を使うか、大学からウォルマート(スーパー)へのシャトルバスを使うか、大学付近のダウンタウンのバス停からでている **WRTA** バスを使うこととなります。

留学種別	TESS II
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

3-7 月の 4 ヶ月間は ELI のコースで、英語 5 技能(文法、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング)を学びました。ELI のクラスはレベル分けされており、私は 3-5 月はレベル 4、5-7 月はレベル 5 に所属していました。生徒 9 人対先生 1 人という少人数型クラスで授業を受けました。少人数ということもあり、クラスメイト、先生ともすぐに良い関係を築くことができました。授業は 1 週間に 4 日(月曜-木曜)であり、レベル 4 は 1 日 5 クラスを各々 1 時間で受け、レベル 5 では 1 日 4 クラスを各々 75 分間で受けました。文法のクラスがレベル 4 の 3-5 月のみで、レベル 5 である 5-7 月は文法を除いた 4 技能を学びました。全てのクラスが講義形式で行われました。文法のクラスは、教科書(Focus on Grammars 5)を軸として、中学・高校で習った英語の仕組みの復習という感覚でした。リーディングでは、教科書(Longman Academic Reading 4 <5>)にある文書をただ読むだけでなく critical thinking も行いました。その為、自分の意見を持ち発表するだけでなく、批判的に考える能力を身につけられました。また、リスニングでは教科書(Contemporary Topics 2 <3>)にあるトピックに基づいた様々な分野のレクチャーを見ることで、秋学期の学科授業に備えることができました。ライティングでは、教科書(Longman Academic Writing 4 <5>)をライティングのモデルとして脳にインプットするために使用し、実践的なライティング能力に焦点を当てていました。毎週 2 個のエッセーを書き、final では research paper に取り組みました。final の research paper の内容はアカデミック且つ自分の興味のあることだったため、私は広告と女性のボディイメージとの関係をトピックとして選びました。少し複雑な部分もありましたが、興味関心があったため積極的に取り組みました。そして、スピーキングでは教科書(Summit 1 <2>)にあるトピックについてグループ・個人でのプレゼンテーションを行うとともに、ディスカッションの場も多く設けられました。さまざまな国(韓国・中国・日本・サウジアラビア・ベトナム)の学生とともに文化や価値観について話し合うことで、よりグローバルな視点から物事を考えることができるようになりました。ELI の全ての授業が図書館の地下の教室で行われた為、授業後に図書館で勉強を行ったりしました。図書館には、個人学習スペースは勿論、グループ学習のスペースも設けられています。また、私の住んでいた Kilcawley 寮の地下にはパソコンスペース、学習部屋があるためそこで課題に取り組むこともありました。

II. 生活状況

大学内に 3 つの寮があるのですが、私はその内の一つの Kilcawley House に滞在していました。そこは、大学の中心に位置しており、キャンパス内を歩くには良い場所です。Kilcawley は 2-7 階が生徒の部屋となっており、2-4 階は女子専用、5-7 階は男子専用という作りになっています。1 階はフロントデスクがあるとともに、その横ハウジングオフィスが立地されているため、不明な点があった場合そこに尋ねています。ベースメントはランドリールーム、スタディスペース、キッチン、そしてプレイルームとなっています。ランドリールームには洗濯機と乾燥機がいくつか設置されているため、他の生徒と取り合いにならないよう時間を見計らって洗濯を行いました。スタディスペースはクワイエットルームとコンピュータスペースがあり、課題に集中して取り組むことができます。また、キッチンも設置されているため料理する生徒も少人数ではありますが目撃しました。そしてプレイルームではテレビ、ビリヤード台、卓球台が設置されているためそこで気軽に遊ぶことができます。食事は週 12 回のミールプランが付いており、Christman Dining Hall というカフェテリアに食べに行きます。そこは Kilcawley からおよそ徒歩

5 分の場所に位置しており、決められた時間に行く途中に入れます。12 回のミールプランの他に大学内と大学外のカフェやファストフード店で使えるポイント(1 ポイント=1 ドル)が学生証についているため、それらを使うことも多くありました。休日や放課後に遊びに行くとなると、公共交通機関があまり発達していないため Uber や Lyft を使って出かけることが多くあります。時間が合えばバスも使いますが、あまり 1 人では使わないように心がけています。毎週金曜午後 3 時-5 時にインターナショナルコーヒーアワーが開催されているため、それに参加し、友達を増やしています。そこにはさまざまな国からの生徒はもちろん、多文化に興味のある現地の学生もいるため情報共有を多く行なっています。また、そこで知り合った友人と休日遊びに行ったりもします。

留学種別	認定
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ grammar4, reading4, writing4, listening4, speaking4
- ・ 日本人 4 人、中国人 2 人、ベトナム人 1 人、サウジアラビア人 2 人
- ・ 1 v 4 月～木 8 : 3 0 ~ 9 : 3 0 文法 9 : 4 0 ~ 1 0 : 4 0 リーディング 1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 5 0 ライティング
1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 5 0 昼休み 1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 5 0 リスニング 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0 スピーキング
- ・ focus on grammar, 4longman academic reading series, 4longman academic writing series contemporary topics2, summit 1
- ・ 講義形式
- ・ 各教室にプロジェクターとスクリーン、またパソコン設備も充実している。図書館も夜遅くまで開いており、席が埋まっても寮の地下に自習スペースがある。

II. 生活状況

- ・ 入る寮によるが、kilcawley house は比較的騒がしい。housing wifi はスピードが遅い
- ・ 徒歩
- ・ カフェテリアがあるが、夏休み中は基本的に閉まっている。買い物も uber やシャトルバスを使って移動する必要がある。
- ・ 寮にこもる

留学種別	TESS II
留学先大学	オレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・コース内容（授業内容）

（語学コース）

リスニング&スピーキングライティング、リーディング

1～6までのレベルに分かれているが、TOEFL500点に達していればクラスの難易度に関わらず学部授業に進むことができる。

- ・クラス人数、国籍

1クラス20人弱、日本7割、サウジアラビア2割、中国1割

- ・一週間の授業時間割

リスニング&スピーキング、リーディング、ライティング各授業70分×4日を11週最初の学期のみ留学生のサポートのための50分のクラスが週2日有り

- ・使用教科書

オリジナルパッケージ

- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式等）

3～4人のグループに分かれて進める。どの授業でもディスカッションをする機会が与えられるのでスピーキングは全部の授業で使える。

- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備

語学コースは本キャンパスとは離れた校舎で行うため、本キャンパスほど設備は充実していないが、設備はすべて新しく整っている。自習室は寮の地下や図書館には設置されているが、キャンパス内には隔離されたスペースはない。

II. 生活状況

- ・・ 宿舎の設備、環境

宿舎によってかなり設備の新しさや充実度が異なる。フレッシュマンは全員寮に住むことになっているので、ほとんど現地の学生が入居している。

- ・ホームステイの環境

休日は学校付近の観光地や買い物に連れて行ってくれたり、現地学生や留学生との交流の場を設けてくれ、慣れるまでは非常に助かった。

- ・通学方法

徒歩

- ・食事や買い物

（食事）ミールプランが使える学内の食堂

（買い物）徒歩10分でスーパー、バス30分でショッピングセンター

- ・休日の過ごし方

サマータムの間は留学生用のアクティビティ（ハイキングやアウトレット等）が頻繁にあった。バスで2時間半でポートランドに行ける。

留学種別	TESS II
留学先大学	オレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

夏学期の語学コースに文法、レスニング&スピーキング、レーディング&ライティングと **Student Success** の授業がありました。**Student success** はオレゴン大学の設備を活用する為に、説明する授業でした。クラス人数は 10 人で、アラビヤ人が 3 人で、中国人と韓国人とベトナム人が一人、日本人が 4 人でした。そして、文法の授業でいろいろな文構造を勉強しました。人数は 15 人で、中国人と韓国人が 1 人で、アラビヤ人と日本人が 7 人でした。レスニング&スピーキングにはグループ話すとディテックションなどの練習がありました。人数は 17 人で、ロシア人とベトナム人が 1 人で、中国人が 3 人で、アラビヤ人と韓国人が 2 人で、日本人が 8 人でした。レーディング&ライティングに単語を覚える為に、グループで単語ゲームをしました。また、文章を読んで、質問を答えることがありました。人数は 14 人で、その中に、中国人が 3 人で、アラビヤ人が 2 人で、日本人が 9 人でした。

月曜から木曜までは授業日でした。月曜と水曜の朝 9 時から 10 時までに **Student success** の授業があります。10 時から 11 時 20 分までが文法で、12 時から 13 時 20 分がレスニング&スピーキングで、15 時半から 16 時 50 分がレーディング&ライティングでした。全ての授業は講義形式とグループワークでした。そして、自習室が小さかったですが、とても綺麗で静かでした。また、ネイティブの Tutor がいて、質問を聞いても構いませんでした。

II. 生活状況

大学の寮にベットとテーブルとクロゼットがありました。しかし、ベットシートと枕と布団など全て自分で準備しました。また、寮に共有シャワーとトイレとロビーとランドリーと自習室があり、キッチンがなかったです。それで、毎日大学の食堂でご飯を食べていました。大学の寮に住んでいたのもので、毎日通学する時間は歩く五分ぐらいでした。買い物をする時に、大学の前にあるバスを乗ってモールや Walmart や Target に行きます。休日にいつもホームステイと遊んだり、大学活動に参加したり、買い物をしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	オレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学コース

履修登録なし 初日に受けるテストによってレベル分け

• grammar

日本人：サウジアラビア人＝6：7

教材はパッケージを購入し、その他は先生から指定された所を各自プリントアウトして授業内で使用

文法（節、仮定法）

• listening&speaking

日本人：サウジアラビア人：中国人＝4：1 1：2

テキストを購入

ディスカッション

リスニング：インタビューやスピーチを聞きながらメモを取って、その後問題に答える

• reading&writing

日本人：サウジアラビア人＝4：9

パッケージを購入 先生からリーディングのプリントを配布される

リーディング、速読、文章の要約

• student success

日本人：サウジアラビア人：ベトナム人＝4：3：1

教材なし

大学内の施設、アメリカの文化について学ぶ

一週間のスケジュール

月 9：00～SS (50min) 10：00～G (80min) 12:00～L&S (80min) 14:00～R&W (80min)

火 10：00～G (80min) 12:00～L&S (80min)

14:00～R&W (80min)

水 9：00～SS (50min) 10：00～G (80min) 12:00～L&S (80min) 14:00～R&W (80min)

木 10：00～G (80min) 12:00～L&S (80min)

14:00～R&W (80min)

学習環境

チュータリングルーム：自習室として使用できる

常にチューターが在籍しているためわからない問題などは聞きに行ける

る

AEI 生はプリンター、パソコンが無料で使用可能

II. 生活状況

寮は部屋の向きによって一日中暑い部屋と涼しい部屋がある。エアコンはあるが使用できないため、暑さから逃げるため LLC や EMU といった大学内の施設に行き過ごすこともあった。夏のミールプランが使える場所は二か所でそのうち一か所は途中から閉まったためミールプランが使える場所が少ない。Fall term に向けて改修工事などが多く、summer term の途中からほとんどの施設が閉まる。大学周辺には色々な国のレストランがあり、大学内の食事に飽きたら外

に食べに行った。

Emx などの公共交通機関 (**UOID** があれば無料) がしっかりしており、基本どこでも行ける。買い物は徒歩圏内にスーパーがあるが **walmart** や **target** などの大型スーパーに行くことが多い。食品は冷蔵庫がないため購入しなかった。

休日は大型スーパーやモールに出かけたり **AEI** のアクティビティに参加していた。暇な時間は寮の部屋でアマゾンプライムなどで動画を見て過ごした。**summer term** が終わってからは、**UO** のスポーツの試合などがありバレーボールやフットボールなどを観戦した。(基本学生無料)

留学種別	UCR 特別
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Ucr での授業は、少人数のクラスで 15 人程度なのですぐに友達になることができると思う。授業もレベルごとに分かれていて、自分だけ全く着いていけないということはなかった。授業内容は主に教科書ベースで教科書にのっている ted Talk を題材に読み解いたり、エッセイを書いたりする。エッセイの書き方も先生が丁寧に一から教えてくれるのでわかりやすかった。授業時間は、火曜日から金曜日までで、9:00-15:00 まで。休みが土曜、日曜、月曜とあるのでゆっくりと過ごすことができる。

II. 生活状況

私は、ホームステイをしていて、学校の送り迎えのほかに土日などに遊ぶときもなるべく送り迎えをしてくれた。学校があるときのお昼ご飯などもファミリーが用意してくれていた。ご飯も、バリエーション豊富で日本食やメキシコ、アメリカと飽きがこないご飯でとても美味しかった。また、何か欲しいものがあったら、一緒にスーパーに連れて行って欲しいものを買ってくれた。

土日は、ファミリーとどこか行くというよりも大学で仲良くなった友達と旅行に行く方が多かった。

留学種別	UCR 特別
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

後半の UCR 授業はまだ始まっていません。

II. 生活状況

- ・ 宿舎の設備、環境

Chatham

エアコン、キッチン、リビング、寝具、バスルーム全て快適

(寝具に関しては、ベットカバーや枕などは自分で購入が必須であった)

- ・ 通学方法

(ディズニーバスが 24 時間でている)

- ・ 食事や買い物・休日の過ごし方

ディズニーやショッピングをして過ごす

交通網はとても快適である

留学種別	UCR 特別
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

週 4 日授業

20 人程のクラス、国籍はアメリカを除き様々

9 時から 12 時までが必須授業。リスニング、ライティング、リーディング、スピーキング、ほぼ全てをカバー。

13 時から 15 時までが選択授業。発音、TOEFL、映画から学ぶ英語等。

必須授業はレベル別の教科書。クラスが違ってもレベルが同じなら教科書も同じ。

選択授業の教科書は教員による。購入する場合もあれば、プリントの場合もあり。

多くの場合は 20 人が輪になって座り、各々の意見を自由に発言するゼミ形式。

基本的に机が椅子に取り付けられている形のもものがほとんどで、机と椅子がある教室は珍しい。パソコン室はある。

II. 生活状況

ホームステイ先の家族によるが、ホストマザーがほぼ全ての家事をこなす。たまに皿洗い等の簡単な補助をたのまれることもあるが、負担にはならない。

通学手段としては、ホストファザーが車で送る。よって交通費はかからない。ホストファザーの朝の仕事が早いので、それに合わせて自分たちもやや早めに起床しむかう。

休日は近くにモールがあったり、ファストフード店があったりするのでそこで済みます。ホストファミリーは平日の朝食、夕食を留学生に保証しなくてはならないというルールがある。また、ホストファミリーが買ってきたもの、冷蔵庫に入っているものは基本的になにを食べても飲んでも自由だった。

休日はほぼ自由。モールで過ごすこともあれば、思い切ってディズニーランドに行く、ということも。電車の駅が近かったので電車で遠出をすることがほとんどだったが、電車の時間に間に合わない場合は、Uber という一般の方が運転しているタクシーで帰るということも。明らかにイエローキャブ等より安い。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学サンマルコス校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学コースのライティングの授業やスピーキングの授業は、名古屋外国語大学での授業内容と似ているので、『何もかもが初めてで何をやればいいのかわからない』というような状況には陥りません。また、どのクラスも20人以下の少人数制なので自分の意見を発言しやすいと思います。しかし、日本人留学生があまりにも多すぎるので、授業中にも関わらず日本語を話す人がいるので、あまり英語の勉強するに当たっていい環境とは言えません。授業の課題をメールで提出したり、名古屋外国語大学でいうポータルサイトのようなものでシラバスや授業内容を確認したりします。スマホでももちろん確認できますが、自分のラップトップを持ち歩く方が、サイトが見やすくいつでも課題を提出できるので、そちらをおすすめします。Wi-Fiが完備されているのでクラスでも図書館でもネットにつながることができますが、たまに繋がりが悪い時があります。図書館は飲食OK、24時間オープンなので、好きな時に自分のタイミングで訪れることができます。

II. 生活状況

寮では、ジムやランドリーサービスが無料で24時間いつでも利用できます。wi-fiも学校と同じものを使うので、基本的には繋がる。学校の正面に寮があるので歩いて15分ほどでクラスに到着できます。また、寮と学校から歩いて15分ほどの距離の所にスーパーマーケットやドラッグストアがあるので、そこで食料や日用品を調達しますが、そのスーパーは他のスーパーよりも価格が少し高です。しかし、そのお店以外に歩いていける距離にスーパーマーケットがないので、安く済ませたかったらルームメイトや車持の友達に連れて行ってもらうことをオススメします。近くの駅から一時間ほどでビーチやダウンタウンに行くことができたり、バスを使ってサンディエゴにも行ったり、ロサンゼルスにも行くことができる距離です。ですが、時間がかかるのでたまにしか出かけません。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学サンマルコス校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期は主に留学生向けのコースなので英語力を高めるための、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングなどのクラスで毎日が構成されていました。教科書は学校で配布されたものを使用していました。

II. 生活状況

ホームステイ先を何度か変えましたが、全ての家が徒歩圏内でした。徒歩 20 分の家もありましたが、現在は徒歩 35～40 分の家滞在しています。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスローズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

学部授業

少ないのは8人、多いものは何十人単位・多様性

4クラスを履修、週10回程

クラスによる

講義のものが多い

比較的きれいで整っている

II. 生活状況

綺麗だが、スタッフがあまりよくない

徒歩

徒歩・バス

課題・買い物

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスローズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ ALCP プログラム
- ・ 10 人・ブラジル、中国、韓国、台湾
- ・ reading&writing × 3、grammar × 2、TOEFL× 2、Listening&speaking × 2、intercultural communication× 2、pronunciation × 1 / week
- ・ pathway, understanding the world's cultures, Toefl
- ・ ゼミ形式
- ・ 良い

II. 生活状況

・寮では、一緒に住むルームメイトによる。私の場合はかなり汚かった。寮のオフィスでは、働いている学生や大人の方が丁寧に対応してくれる。困ったときには各棟のお世話係の学生に相談すればいつでも助けてくれた。

- ・ 徒歩
- ・ 食事はカフェテリアか、自炊。徒歩 15 分圏内にスーパーがある。また無料のバスで 5 分ほど乗った先にスーパーや小規模のレストランがある。
- ・ ネットフリックスを見る

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスロース校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業に関しては前期は、ALCP (American Language and Culture Program) と呼ばれる ESL(Reading&Writing 週 3、Listening&Speaking 週 2、Grammar 週 2、Pronunciation 週 1)、TOEFL 週 2、Intercultural Communication 週 2 の授業を受けました。その授業は、NUFS の日本人 3 人と韓国人 1 人、中国人 2 人、ブラジル人 2 人 (社会人)、台湾人 1 人 (社会人) と比較的少人数で構成されていました。ほぼ毎日朝の 8 時半から午後の 2 時 45 分までありました。特に私は、Intercultural Communication (文化について) の授業が刺激を受けました。毎回現地の学生がボランティアとしてきてくれて一緒に学ぶので、国ごとの文化の違いや価値観、意見が知れてとても良い機会になりました。現地の学生が学ぶテキストを使っていたので、内容が少し難しく時には頭を悩まされましたが、お互い助け合っとうまく進めることができました気がします。また、TOEFL の授業では、私は Listening がもともと苦手だったのですが、日本の参考書には載っていないセクションごとの攻略法を教わり、解くコツを掴めたので少しは Listening に自信がいたかなと思います。

II. 生活状況

前期は、現地の学生 5 人とシェアルームをしてキャンパス内にある寮に住んでいました。2 人部屋が 3 つ、勉強ルームがあり、キッチンやシャワー、トイレは 6 人で共同して使っていました。完全な自分の部屋がなかったので、一人になりたいときや私の部屋でルームメイトが遅くまで起きていたときは、少しきつかったです。食事は、ミールプランをつけなければいけなく、私の場合は最初に高い金額で設定してしまったので、最後のほうは使い切るのに必死でした。なので、自炊する必要がありませんでした。もし、自分で自炊をしたいのなら、最初は低い金額で設定することをおすすめします。私の大学は、田舎なので必要最低限のものが揃うお店はありますが、友達と遊びに行くようなところはありません。なので、土日は寮が主催するトリップに参加して外へ遊びにいっていました。交通費はもちろん、時にはごはんも無料でついてくるので、参加する価値はあると思います。自分では、なかなかいけないような場所にも連れて行ってくれたので、よかったです。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容は、現在は各授業ごとに 2 つのクラスがありレベル分けされています。**conversation** は主にディベートやプレゼン、LA のニュースについて話し合っています。**grammar** は先生が選んだ内容について説明聞いてから練習問題をこなしながら学びます。**writing** はエッセイを書いてそれを先生やクラスメイトから意見をもらって完成させていきます。**reading** はネイティブ向けの本を読んだり、演劇のセリフを読んだりしながら問題に答えたりエッセイを書きます。

クラス人数は 1 期の頃は 1 人や 2 人のクラスもあり、多くても 5 人ぐらいでしたが 3 期では 1 クラス 15 人ほどです。メキシコ人、台湾人、インド人が多いイメージです。1 期、2 期は私を含め日本人は 2 人だけでしたが今ではいっぱいいます。

月、水: 午前 **conversation**、お昼 **erective**(3 期からは学部授業のフランス語)、午後 **writing**

火、木: 午前 **grammar**、お昼 **erective**、午後 **reading**

grammar、たまに **writing** は指定教科書を買う必要があるが、基本先生がコピーをくれるため教科書を買う必要はない。

ゼミ形式

図書館はとても設備が整っていて使いやすい。**alcp** の教室はまとめられているため移動には便利で、自動販売機もあるがカフェテリアや図書館まで少し距離があるのでお昼などは大変。教室は冷房が効きすぎていて夏場は寒い。

II. 生活状況

ホームステイ先の家族はフレンドリーでみんな優しく過ごしやすいです。部屋も 10 畳以上あると思われる 1 人部屋を貸してくれて、ベットも大きく、収納スペースもあり備え付けのパソコン、ノートパソコンが置いてありました。お風呂ももう 1 人いる日本人のハウスメイトと私の専用で便利です。勉強部屋やプレイルームもあり好きに **Netflix** などが観れるのでありがたいです。冷蔵庫の中や家に置いてあるものは何でも自由に食べていいと言われて、1 日 3 食基本手作りのご飯がでてくるのですごく美味しくありがたいです。

学校まで車で 10 分の高さですが、バスを使うと 40 分近くかかります。LA 全体に言えることですが、バスしか交通機関がない不便さと本数も 30 分や 1 時間に 1 本、遅延や早く行ってしまうこともよくあるのでそこは少し不自由を感じます。

食事は基本ホームステイ先のご飯を食べていて、買い物は近くにある大きいモールか **target** に行きます。

休日は課題をやる日と遊びに行く日で分けます。ドミンゲスはセメスター間でも 5 日の休みしかなく、学部授業を取ると 3 日の休みしかないので出来る限り休日に観光地をまわっています。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Reading&Writing, Grammar, Business English and Listening&Speaking

クラス人数は12人程度、国籍はチリ、韓国、ベトナム、中国やサウジアラビア

Reading&Writingは週3回、GrammarとBusiness Englishは週2回でListening&Speakingは週4回です。

Readingの教科書→Reading Explorer4(Oxford)、Writing→Effective Academic Writing3、Grammar→Element of Success3(Oxford)、Business English→Business Result(Intermediate)、Listening&Speaking→Lecture Ready3

授業は少人数で、ゼミみたいな感じの授業です。大学には大きい図書室やグループディスカッションができるような大きな部屋があります。また、現地の人と話すことができる Conversation time があります。

II. 生活状況

ホームステイ先は自分の部屋に private bath がついており、便利な部屋で居心地がいい環境であります。

ホームステイ先から学校まで近いので、毎日スクーターで行っています。

ホームステイ先の方は優しくて、とても面白いので毎日一緒に夜ご飯を食べて、映画などを一緒に見たりします。よく友達と外食も行ったり、LAが近くにあるので、休日などは観光にも行くこともあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

(授業名、時間割、人数、教科書、授業形式)

1. 中国語、50 分週三回 約 20 名, modern Chinese

基本的に声を出して練習

2. スペイン語、50 分週三回 約 20 名 my Spanish lab、コミュニケーションの多い授業

3. インターナショナルスタディーズ、75 分週二回 約 40 名 Global politics、講義形式だがディスカッションもあり。

4. ツーリズムマネジメント、75 分週二回 約 20 名 tourism the business of hospitality and travel 講義形式

5. イングリッシュコンポジション、75 分週二回 約 20 名 everything's a text、講義形式、ディスカッションもあり。

II. 生活状況

キャンパスまで徒歩約 15 分、バス停も徒歩 5 分

4 人部屋でそれぞれ 1 人ずつ個室、バスルーム 2 人ずつでシェア、キッチン&洗濯機、乾燥機シェア

個室にはベッド、マットレス、勉強机、棚、収納、タンスが付いており、掃除機はクラブハウスで貸し出し可能。

スーパーへはホストファミリーか現地の友達に車で連れて行ってもらうか、徒歩だと 20~30 分。周りには他の寮が多くあり、レストランは近くにたくさんではないがある。

休日はホストファミリーとチャーチ&ランチ、勉強、ジム、友達と遊びに行くか友達の家。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

English language program (語学コース)でクラス人数は5人(日本人4人、ブルキナファソからの留学生が1人)でした。月曜から木曜の週4回90分×3回の授業で午前と午後でライティング/リーディング、スピーキング/リスニングの授業を受けていました。使用教科書は担当の先生の方が毎回テキストのコピーを配布してくださり、少人数でのクラスで1人1人の英語を話す時間が多く、少しさみしいと感じることもありましたが、たくさんの先生に支えられました。学習環境として大学には大きな図書館があり、パソコン、コピー機の使用が可能で大変助かりました。

II. 生活状況

Freedom's landings という宿舎でしたがセキュリティ面やクラブハウスでのイベントなどすごく充実していると感じました。1人に対してバスルームが一つあることや日当たりの良い部屋であったことなど、学校から少し離れているという点以外はほとんど満足でした。通学は1セメスター30ドルで借りることができる自転車を学校から借りて通学に利用していました。週末と一緒に過ごしてくれるホストファミリーの方やカンバセーションパートナーとなってくれた方は本当に親切でメールなどのやりとりを介して近くのスーパーに連れて行ってくれました。夏ということもあって大学もその周りの非常に人が少なく、大きなイベントなどもなく、公共交通機関もないため買い物をしたいときには不便なこともありましたが、周りの人の助けによって教会に行ったりご飯を食べに行ったりして休日を過ごしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期では、English Language Program(ELP)を受けました。学部に向けての英語の授業です。夏学期だったからか、人が全然おらず、生徒は 5 人のみでした。さらに、そのうちの 4 人が日本人で、1 人はブルキナファソ人でした。授業は毎週月曜日から木曜日で、午前 9 時から 12 時までは、リーディング・文法・ライティング、午後 1 時から 2 時半まではリスニング・スピーキングの授業がありました。教材は毎回先生がプリントを配ってくれる形で、授業はほとんどが講義形式でしたが、ディスカッションをしたり、クラス外でインタビューをすることもありました。ほとんど毎日宿題が出され、家や大学内の図書館に行って終わらせていました。

II. 生活状況

夏学期は学校から恐らく 1 番遠いであろうオンキャンパスの寮に住んでいました。学校まで歩いて 15 分から 20 分程かかりますが、大学で自転車の有料貸し出しがあったので、それを借りて使っていました。4 人部屋で、キッチン、洗濯機のみ共用で、それぞれの部屋にバスルームがついていました。そのため、1 日 1 回もルームメイトに顔を合わせないこともたまにありました。公共交通機関がなく、車が必要な地域で、初めはスーパーにも自転車で行っていたのですが、暑い地域で食品が悪くなりそうだと思い、途中からスーパーに行くときは必ず友達に頼んで、連れて行ってもらっています。車がないと大変だということを察してくれて、必要な時は呼んでね、と出会う人すべてが言ってくれるのでとてもありがたいです。休日は友達と会ったり、宿題をしたり、なにもない日は映画やドラマを観たりしています。たまにルームメイトと映画鑑賞をしたりもします。

留学種別	認定
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期後期ともに **English language program** をとる。夏季は日本人 4 人とアフリカから 1 人。秋季は朝のクラスは通常 4-5 人、昼のクラスは通常 6-7 人程度。国籍もバラバラで心地よい。時間割は毎週月曜日から木曜日までの週 4 コース。9:00-10:30 reading and Writing/ 10:30-12:00 grammar/ 13:00-14:30 speaking and listening
 使用教科書は reading and writing, speaking and listening →skills for success 4 を使用。grammar→Elements of success 3 を使用。
 授業形式は少人数クラスであるため生徒参加型形式である。わからなかったらすぐに挙手して質問できるため心地よい。
 通常授業終了後には図書館に行き勉強。その他にも勉強できる場所がたくさんあり環境も整っている。

II. 生活状況

前期は **freedoms Landing** (1 人一つ部屋、バスルーム、キッチンシェア)
 後期は **southern courtyard** (1 人一部屋、バスルーム、キッチンシェア)
 現地の人とシェアルーム
 通常徒歩。バスを使用するときもある。
 徒歩で 30 分の距離にスーパーあり。現地の人に乘せて行ってもらうときもあり。休日は現地の友達と外出。ご飯を食べに行くか校内で話す。

留学種別	TESS II
留学先大学	チャタム大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期は語学コースで、授業はリーディング、コミュニケーション、ライティング、現地の文化を学ぶ授業の 4 教科を、1 日 2 教科で週二回行ってました。金曜日は毎週課外学習に出かけ、現地のフェスティバルや美術館の観賞などをしていました。クラスは 1 クラス 12 人ぐらいで 3 クラスあり、国籍は夏学期ということと、語学コースということで、関西大学等の日本人の生徒が大部分を占めており、他国籍ではベトナムやサウジアラビアから来ていた生徒もいました。教科書は授業によって使う教科と使わない教科がありましたが、使う教科では大学の売店でレンタルも出来ました。授業は主にペアやグループでやることが多く、会話能力を上げることに適した形式でした。大学の設備は学習に適しており、夜中 12 時まで開いている図書館や、寮でも勉強出来るスペースがいくつか設けられているので、勉強する環境はとても整っていました。

II. 生活状況

寮生活において、夏期に過ごしていた寮はやや設備が古く、時々洗濯出来ない等生活に困る場面がありました。通学はキャンパス内に寮があるため徒歩でした。食事は、夏期はミールプランが存在しないので、現金で昼食を買って食堂で食べるか、寮に戻って昼食を作って食べるかでした。食品は大学近くに食料品を売っているスーパーがいくつかあり、日本の食品も買えるので安心して買い物していました。休日は主に大学のジムに行くか、寮の友達と一緒に遊ぶかして過ごしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	チャタム大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・授業内容

American culture: ピッツバーグのスラングや芸術について(プレゼン頻繁にあり)

Research Paper: サマリーやエッセイ書く

Academic Reading: 長文の読み方(クリティカルシンキング含む)や構成、語彙、サマリー

Academic Lecture: ディスカッションやノートテイキング

・クラス人数・国籍

9~10 人 日本人・ベトナム・サウジアラビア

・時間割 (9:45~12:00, 12:45~15:00 昼休憩 45 分)

月曜~木曜 文化と W、R と L のセットが交互

金曜 Field Trip

・使用教科書

Reading Explorer 5 (Academic Reading)

The International Student's Guide to Writing a Research Paper(Research Paper)

American Ways(American culture)

・ゼミ形式に近い 少人数でただ話を聞くだけでなく、プレゼンやディスカッションなどのアクティビティもあり

・何不自由ない

自習室は図書館に完備 カフェも利用可能

寮にもリビングルームのような場所があり、みんなでやりたい人には向いている

II. 生活状況

・宿舎の設備、環境

洗濯機は無料で利用可能ただし、洗剤は自分で用意、キッチンシャワー完備、部屋についてるところもある、基本的にはキレイ

ではあるけれど、冷蔵庫はいつもいっぱい、卵などが割られることもある。よくシャワーや洗濯機、ガスなどが壊れる

・通学方法: 徒歩

・食事や買い物

時期によって異なるが、授業が始まれば、朝昼夜学食が開いている。基本、朝夜は自炊で昼だけ学食に行く人が多い

買い物は放課後や週末に近くのスーパーやデパートで購入。近くに日本食スーパーもあり

・休日の過ごし方

友達と出かけたり、1 日中課題したり、人によればニューヨークまで旅行に行く人もいる

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューメキシコ州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1 期は英語コース (CELP というプログラム) を取っていたのでもちろんネイティブはいません。生徒はメキシコ人が多いですが、中国人、ベトナム人、インド人、ヨルダン人、サウジアラビア人、エチオピア人がいました。基本的にみんな各国の大学を卒業してアメリカでさらに学びたいからまず英語を勉強しに来たという人が多いので自分より年上ばかりで子育てしながら学校に通っている人ばかりでした。わたしのような 20 歳近くの学生は少数派です。また、英語コースは大学のメインキャンパスとかなり離れたところにあります。わたしの寮からは歩いて 15 分くらいでした。1-3 までレベルがありはじめにプレースメントテスト (マーク式) を受けてレベルが決まります。プレースメントテストを受ける前日から入寮が認められていたのですが、その日の夜 8 時に寮に着いて (そのあと入寮手続き等) 次の日の朝 8:30 からテストだったのですが、時差ぼけでロングフライト疲れがある中、時差ぼけで全く寝れずにテストを受ける形だったのでかなりしんどかったです。レベル 3 をクリアすれば自動的に大学 (nmsu) への入学の権利が得られます。3 月にアメリカへ来たのでスプリングコースの途中参加でした。人数はクラスによって少し変わりますが 7 人くらいです。人数が少ないのでゼミ形式が当てはまると思います。サマーコースは人数が少ない分、レベル 1-3 が合同となっていて最大で 6 人でした。レベル 3 だったわたしはレベル 1 (本当の英語初心者) の人たちと一緒に授業を受けるのはかなりしんどかったです。サマーコースの途中からメキシコから先生になりたいから英語の授業を無料で受けれるというプログラムに参加したという生徒が 4 人来たのですが、全くの英語初心者だったので先生がスペイン語で授業をする授業をしだす時期もあって授業に対する鬱状態が加速しました。(先生に直接やめてほしいと相談したら改善されましたが) しかし、みんなとてもいい人なのでそこがとにかく救いでした。お昼ご飯はみんなでカフェテリアで食べたり、家に帰って食べたり、みんなで近くのレストランへ行って食べたり日によります。先生にもよりますがライティングの授業の時はパソコン室、そしてグラマーの授業もパソコン室で受けたまにオンラインプラクティスをしたので、その時間は自分のペースでどんどん進めていけるので気が楽でした。しかし、基本的に少数なのでみんな仲がいいということと、積極的に発言するので日本の授業よりかははるかに発言しやすかったです。

授業時間割は 5 教科あり、週に二、三回同じクラスがあります。早い日は朝 8 時から始まり 2 時間ほどの授業で、毎日 3 時には授業は終わっていました。ライティングの宿題などをするとき自由にパソコンルームや図書館に出入りできたので自習の環境は整っていました。教科書は授業によって違うので全部買い揃える必要があります。学校にある教科書ショップで買った高いかつ教科書が売っていないということが起きたのでアマゾンで購入しました。

授業は Writing, Grammar, Listening and Speaking, Contemporary Topics がありました。

II. 生活状況

わたしは二階建てで複数の建物が併設されているようなふたり用ドミトリーです。キッチン (冷蔵庫、電気コンロ、等)、シャワールーム、トイレは共用です。そして各自の部屋があります。各自の部屋にはベット、勉強机、ダンスがあります。洗面台が自分の部屋の中にあるのでありがたいです。シャワールームは正方形でとても狭いです。5 ヶ月間住んでいてお湯が止まったことは二回、電気が止まったことは一回あります。その度にワークオーダーをするのですが、日本からのロングフライト後に寮についてシャワーのお湯が出なかったのは辛かったです。セメスターが変わる時に寮の部屋を変えたのですが、またその時もお湯が出なかったので初日

はでない可能性が高いです。(部屋によるので運ですが...) キャンパス内の寮でしたが英語の授業がある建物(ニューメキシコ大学とは別の建物)からは歩いて15分ほどで少し遠いと感じましたがそのうち慣れます。住む寮にもよりますが、わたしの寮がある場所は時期関係なくゴミブりが大量発生します。アメリカのミールプランは値段が高いので自炊をしています。だけど、ミールプランをとればそこに英語を喋ってくれる誰かがいるのでとればよかったかなと思ったりもします。スーパー(ウォルマート)まで食品を買いに行くのですが、歩いて1時間以上かかります。一度歩いて行ったことがあるのですが食品を買って帰るとなると大変でした。だから、アンバサダーの方に連れて行ってってくれるように頼むのですが、月に何回も頼むのは申し訳なくて一度に大量買いするのですが、そうすると冷蔵庫がいっぱいになるので頭を使わないと食品が入らないです。日本とは違ってお肉も大きな塊で売られているので、買ったら一口サイズに切ってジップロックに入れて冷凍してました。(時間が経つにつれて車を持っている友達が増えるのでだいぶ生活が便利になりました。)

休日は学校の周りに何もなかつ、車がないとどこも行けないという環境だったので暇な日が多かったです。宿題も特別多かつ難しい、わけではなかったのですがすぐ終わりました。ジムへ行ったり、ネットフリックスをみたり、友達と山へハイキングに行ったり、テニスをしたり、ご飯を食べに行ったり、遊園地にい行ったりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・コース内容（授業内容）

スピーキング、文法、リスニング、ライティング、リーディング

- ・クラス人数、国籍

毎期ごとに異なるが、私が受けていたときは、日本人が 5 人で一番人数が多かった。また、韓国・中国・台湾・ペルー・ベネゼイラ・サウジアラビア・コンゴの国籍の生徒がいた。

- ・一週間の授業時間割

毎週月曜日から金曜日の朝 9 時から 3 時まで授業があった。1 つの科目 50 分。

- ・使用教科書

各教科ごとに、教科書を使用。出版社は、National Geographic Learning.

- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式等）

基本的に講義形式である。リスニングは、ラップトップを使用し個人個人で進める授業もあった。

- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備

構内の図書館が深夜の 1 時まで開いている。寮ごとにパブリックスペースがあり、机やイス、ソファが置いてあり、そこでも勉強ができる。

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境

一番古い寮に住んでいることもあり(ライスホール)、時々お湯がでず、冷水でシャワーを浴びることがある。また、WIFI の調子も悪い時が頻繁にある。インターナショナルの寮ということもあり、アメリカ人と寮内で出会う事は少ない。

- ・通学方法

歩いて通学、小さいキャンパスのため、端から端まで約 15 分でいける。

- ・食事や買い物

近くに、スーパーがないため、車持ちの友人に頼むか、毎週土曜日にでている、シャトルバスに乗ってスーパーに行く。校内にファストフード店などがあり、そこで食事をする。しかし、夜の 7 時までのため、それ以降は校内にある、コンビニや自分で作ったりする。

- ・休日の過ごし方

毎週、土曜日は学校からだしているシャトルバスに乗って買い物をする。また、車持ちの友達と映画や遠くにドライブをする。友人と映画をみたり、学校の近くに住んでいる友人の家に行ったりしている。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ ESL 月～金 9:00～9:50 Speaking
10:00～10:50 Grammar
11:00～11:50 Reading
13:00～13:50 Listening
14:00～14:50 Writing
- ・ 約 15 人 日本が大半 他コンゴ・サウジアラビア・韓国
- ・ 講義形式 グループワーク多々あり
- ・ 学習環境良い 図書館や寮の共有スペースで勉強する人が多い
Wifi が時折調子が悪くなり、不便に思うことがある。

II. 生活状況

- ・ 水がたまに黄色い 基本的に綺麗 シャワーやトイレが共有であることを気にしないのであれば十分良い寮だと思う。電子レンジがないので自分で持っているとお大変便利。ルームメイトが持っている場合もある。
- ・ 教室まで徒歩 5 分
- ・ 基本的に大学内にあるレストランを利用
- ・ 徒歩圏内に買い物できる場所が少ないのでシャトルバスを利用。もしくは車を所持している友達に頼む必要あり。
- ・ 近くの教会に行く。ダウンタウンに行く。図書館で勉強。車を持っている友達がいれば、どこかに連れて行ってもらう。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ESL のクラスは 1 クラス 6 人から 20 人で構成されていました。日本人が比較的多い中、韓国、台湾、コンゴ、ペルー、サウジアラビア出身の生徒たちと授業を受けた。月曜から金曜の間は 9 時から 3 時、1 コマ 50 分でスピーキング、グラマー、リーディング、リスニング、ライティングのクラスをうけた。教科書はレベルにあったものを使用していた。授業は講義形式のものが多かったが、リスニングは 1 人 1 台パソコンを使用し 1 人で canvas 内の問題を解く形式だった。自習室もあり、また先生との距離も近くとても過ごしやすい環境だった。休日は教会に行ったり、学校のシャトルバスでモールや買い出しにでかけた。

II. 生活状況

宿舎は場所によってホテルタイプやバスルームを共有するものなど様々。どこの寮も wi-fi の繋がりがあまり良く無い。学校内の寮なので徒歩でキャンパスに向かった。ダウンタウン以外の、キャンパス外で食事や買い物をするには車が必要なので友達を見つける必要があった。外食は非常に高い。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・ESL (前期)

Speaking
Grammar

Reading ... 5 コマ×週 5 日×8 週 (1 ターム×2)

Listening

Writing

- ・10 人前後 (日本 5、韓国 2、台湾 1、ペルー1、サウジアラビア 3、コンゴ 2)
- ・時間割 上記参考
- ・使用教科書 Speaking 以外 National Geographic
- ・授業形式 随時質問可能な雰囲気 of 10 人前後のクラス
- ・UNA について

Wi-Fi は日、場所によって接続状態が変更するが、基本的に問題なし (キャンパス全体に設置されている)

自習室は各寮に完備されているが、多くの学生は図書館を利用

(午前 1 時まで利用可能、テスト週間などは 24 時間利用可能)

教室は清潔に保たれていて、ESL 校舎の地下にはパソコン教室が設置されている

II. 生活状況

- ・宿舎にもよるが、毎日清掃員が清掃してくれるので清潔に保たれている

Wi-Fi・空調完備、シャワー・トイレ問題なし、キッチン・ランドリールームあり

各フロアごとの共有スペースにはテレビと個室スペースが設置されている

- ・通学方法 キャンパス内の寮なので、どこの校舎に行くにも徒歩 10 分以内で到着する
- ・食事は、キャンパス内にbuffet形式の施設が 1 つ、レストランが 4 つ、スターバックス、売店が 2 つ

買い物に行くには UNA から土日に出ている無料バスを利用 (13 時から 19 時まで 1 時間ごとに発車)

→モール、ターゲット、ウォルマートにて停車

その他は自車か Uber を利用するしかない

- ・休日は近くにある小さなダウンタウンにて食事を楽しんだり、平日に出された宿題をする
現地学生の友達をつくると車でどこかへ連れて行ってってくれることも

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースキャロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は夏学期、ELTI という語学コースに通っていました。ELTI の授業は UNCC のメインキャンパスの建物で行われています。クラスはすごく少人数で私を含む 7 人で勉強していました。皆それぞれバックグラウンドが全く異なり、交換留学生は NUFS から同時期に行った四人だけでした。クラスメイトの一人はスキルアップのため仕事を辞め家族でベネズエラから英語を学びに渡米、クウェートからのクラスメイトは現地の大学の正規留学生になるため語学学校ですでに何ヶ月も過ごしているなどここで学習している理由は様々です。月曜から木曜はお昼休みを含み朝 9 時から 3 時 15 分まで、金曜日は午前中のみ授業がありました。科目は Reading&Writing, Listening&Speaking, Academic Language の三つでそれぞれ別々の教科書を使っていました。学習環境はすごくよく、特に図書館は 24 時間空いているのでお気に入りの場所です。

II. 生活状況

夏学期は台湾人、アメリカ人二人と四人部屋の寮でベツトルームは別々、シャワー、キッチン、トイレは共用の部屋でした。私が住んでいた寮はキャンパス内にあり教室までは歩いて 10 分程度、目の前にはダウンタウンに向かう電車の駅があり非常に便利でした。私はミールプランをつけなかったため、だいたい昼食はキャンパス内のレストランで済ませ、夕食は自分の部屋で自炊をしていました。食材を買いに行くのは電車で一駅のところにスーパーがあるので週に一度程度買い物に行っていました。困ったことは無料ランドリーがすくなくタイミングが悪いと何時間も待たなければいけませんでした。休日は現地の日本語を勉強している学生と交流して、お祭りに行ったり、一緒に料理をしたりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースキャロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

月~木 9:00~12:15 (途中休憩あり) Reading Writing 又は Academic Language
1:15~3:15 Listening Speaking

金曜日 9:00~12:15 のみ Reading Writing 又は Academic Language

5 月最終週から 8 月頭まで、語学クラスで **Level 2** のクラスで授業を受けました。

私のクラスは約 10 人程度でクラスメイトはアラブ首長国連邦、韓国、エクアドルから来ていました。教科書は各授業に一冊あり、主にそれを使って授業が進められました。ほとんどがペアワークで、答え合わせは全員でやるという形でした。教科書がオンラインと連動していたので、パソコンで学んだことの応用問題を授業中にやったり、課題としても行いました。内容としては、他レベルの生徒にインタビューをして、それをプレゼンをしたり、パラグラフの書き方やアカデミックな文章の書き方、グラフを読み取って発表したりしました。

教室には必ずパソコンが 1 台と、プロジェクターがありました。

II. 生活状況

宿舎の環境には不便を感じませんが、エアコンの効きが良すぎて寝るときは毛布が必須です。洗濯機と乾燥機は最低 3 つからあり、QR から使用状況と残り時間が確認できるので、見に行く手間が省けています。自販機も置いてあります。学内に寮があるので歩いてすぐに授業に向かえます。食事は学内に食堂のようなものがあるし、買い物は電車で 2 駅と歩きでスーパーに行けます。休日は基本、部屋で勉強をするかリラックスしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースキャロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ノースカロライナ大学シャーロット校の **ELTI** という語学コースにおいて、**Reading&Writing** (リーディングとライティングを中心としたクラス)、**Academic Language** (文法を中心としたクラス)、**Listening&Speaking** (リスニング、スピーキングを中心としたクラス) を取っていました。クラスは 4 段階に分かれており、1 クラス当たり大体 10~15 人くらいでした。クラス内には、アラブ、南アメリカ、アジア系の生徒がいました。授業は月曜日から金曜日の 9 時から 15 時 15 分 (金曜日は午前のみ) でした。授業形式は講義形式でした。1 クラスが小規模だったため、先生と生徒の距離が近く、質問や交流がしやすかったのが印象的でした。ライティングのテストとちょっとした面接をオリエンテーションで受けて、クラス分けをするため、自分に合ったクラスで授業を受けることができました。授業はどのクラスにおいても日本に比べて発言や生徒内で話し合うことが多く、スピーキング力を高めたい私には見合った授業だったと思います。

II. 生活状況

キャンパス内の寮で、大学までの移動は徒歩で約 10 分とすごく楽でした。寮の設備も基本的に整っており、苦なく過ごせました。しかし、部屋には生活していくうえで必要最低限の物しかなく、基本的な生活用品は買わなければいけなくて初日のほうは少し大変でした。食事は基本自炊でした。キッチンが私の部屋には無かった為、同じ寮内のキッチンがある友達の部屋と一緒に作っていました。食料品はキャンパスと繋がっている学生は無料の電車で大学から 1 駅目にあるスーパーで週に 1 回程度食料品を買いに行っていました。休日は、日本語を学んでいる現地の生徒の子が、現地のレストランや、いろいろなイベントに連れて行ってくれたり、**NUFS** から一緒に来た子たちと自分たちで現地を散策したりしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースキャロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

心理学、コミュニケーション、中国語、ホラームービーのクラス。
クラス人数はクラスによってそれぞれ。260-15人

国籍はほぼアメリカ

時間割 月水金 日本語、中国語、コミュニケーション
火木 心理学、ホラームービー

教科書は中国語だけ購入

講義正式

学習環境よい

II. 生活状況

設備良い

徒歩で登校

買い物によく行く

休日は友達と遊ぶか、勉強

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は2019の **Spring Semester** の授業として政治学、ネイティブアメリカン史、文法を学びました。政治学はアメリカ人に混じり、他2つはインターナショナルの生徒と履修をしました。時間割としては政治学が月水金 10:00-11:15、文法が月水金 13:00-14:30、ネイティブアメリカン史が火木 9:40-12:30 でした。また、文法のクラスだけ教科書を使用しました。授業形式としては講義形式でしたが、グループワークなども行っていました。そして、課題が沢山出るクラスもあったので24hの図書館を利用して終わらせていました。

II. 生活状況

私は **Vander Garden** というキャンパス内の寮に滞在しています。構造としては4つの角に各々の個室があり、真ん中に共同のキッチンルーム、リビングがあります。また、バスルームは2つあり、2人ずつでシェアしています。ミールプランをとっていないので、週に2日程度 **SAFEWAY** というスーパーマーケットに食材を買いに片道15分かけて歩いて行きます。休日ですが、課題を進めたり、**Portland** に出掛けたりして楽しんでいます。

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ ESL (speaking, grammar, American study)
- ・ それぞれ1クラス10名ほど、8割日本人、その他中国・メキシコ・サウジアラビア
- ・ 月水金 speaking/grammar、火木 American study
- ・ 全ての科目で予習復習必須

II. 生活状況

- ・ 家具などの必要最低限のものは全て整っている
- ・ 清潔で快適
- ・ 大学まで徒歩3分
- ・ 週1回スーパーで買い出し、自炊
- ・ 週末は課題か街まで出かける

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

学部授業は現地の学生に混ざって受けるので大変ではありますが、学部授業でやったことを留学生だけで復習するクラスもあるので、とても助かっています。ELI のクラスはどうしても日本人があつまってしまいますが、学部授業ではほとんどの方がネイティブです。いい刺激をもらうことが出来ます。私の一週間の時間割は月水金が副言語のクラスと学部授業の復習クラスで、火木がライティングと映画の授業です。課題が多いので少し大変です。いくつかの授業では教科書を買わなければいけませんでしたが、先生が教科書を毎回プリントアウトして配ってくれる授業もあります。(教科書は高額なので購入するよりも借りることをお勧めします。購入金額の半分の値段で借りることができます。) 教室の設備は比較的整っていると思います。外からや他のクラスからの音も聞こえてきますがすぐ慣れます。

II. 生活状況

私の住んでいる寮(Burlingham Hall) は学校内にある他の寮と比べるとお値段が少し高くなりますが、どの寮よりも快適で過ごしやすいと思います。私は 4 人部屋に住んでいるのですが、それぞれの個室があり(ベッド、机、クローゼットあり) キッチンは 4 人全員で使い、お風呂とトイレは 2 つあるので二人ずつで使っています。部屋は全体的にとってもきれいで嫌な思いをしたことはありません。お風呂とトイレは同じ部屋にありますが十分な広さのお部屋なので問題ないと思います。建物に入る時は学生所を機械にタッチしなければ入れないので防犯面でも優れているでしょう。(学校内全体では CPS という方々が 24 時間見回りをしてくれているので安心です。) 校内にある寮なので通学時間はほぼないと思っています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルベニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は4つの授業を履修しました。1つ目は Women's & Gender Studies①で、月曜水曜金曜それぞれ 10:10~11:00 の 50 分間で、2つ目は LGBT&Q Studies②で火曜木曜の 12:30~13:45 の 1 時間 15 分授業です。3つ目は、World Religious Studies③で、火曜木曜の 14:00~15:15 の 1 時間授業です。4つ目は、中国語④で月火水金の週 4 コマでそれぞれ 50 分です。紙媒体の 80 ドルの教科書が一つ (①)、他の三冊 (②③④) は 50 ドル前後ですべて講義形式の授業です。図書館に個別の勉強スペースがあるのでそこを頻繁に使用しています。①の授業には 20 人中 6 人留学生がおり、②は 20 人中 2 人、③は 50 人程度中 4 人、④は 15 人中 2 人の留学生がいます。他は皆現地のアメリカ人学生で、中国語の先生は中国の方です。

II. 生活状況

私は学内で1番大きな寮に住んでいて、留学生は皆この寮に住んでいます。ベッド、机、クローゼット、タンスがもともとついていて、2-Shared room なのでキッチン、シャワールーム、洗面台は共有でベツトルームのシェアです。ルームメイトはアメリカ人の学生です。レンジはもともとついていますが、私の寮では火を使ってはいけないので自炊するのには厳しい環境です。また、火災報知機の誤作動が多いため、夜中に寮内からでなければいけない時が 5 回ほどありました。地域のバスが学生証を見せればただで乗れるので交通費は全くかかっていません。バスに 20 分ほど乗ればスーパーマーケットに行けるので、買い物にも困りません。休日は図書館で勉強するか、クラブのミーティングがあれば学内ですがミーティングに行きます。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルベニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学コースでのコース内容は、ライティングやリスニングなどの基礎を行いました。文法などは行わなかった。夏の期間という通常とは別のコースだったので文法がなかったと思われる。クラスの人数は5～8人で、日本人とサウジアラビア人しかいなかった。これもまた、夏の期間で異例だったからであると思う。授業の時間割は、月から木まで9：30～15：45で、金曜日は休みだった。月曜と水曜、火曜と木曜で授業の時間割は同じだった。語学コースでは教科書はリスニングのみ使用した。授業形式はゼミ形式だった。

学部授業では、芸能の歴史・LGBTQ Studies・Woman's and Gender Studies・世界の宗教をとって、それぞれでバラバラではあるが、少人数のクラスはゼミ形式である。1週間の時間割は、月水金は9：05～9：55、10：10～11：00の50分授業、火木は12：30～13：45、14：00～15：15の1時間15分授業で同じ。教科書はすべての教科で必要。大学の学習環境はいいと思う。すごく田舎なので、やることに特になく生徒も真面目である。

II. 生活状況

寮は過ごしやすく良い。私は一つの部屋に二人というシェアルームなので、勉強をしている時にルームメイトが電話などをすると気が散るが、図書館も10時まであいているので便利。あまり大きな大学なので、移動が楽。大学の中の寮に住んでいるので歩きで通学している。大学の周りには多くのレストランがあるので、食べるものはたくさんあって楽しい。しかし買い物をするところは特にないので、ショッピングには向いていない。街の中を走るバスが、学生証があれば無料なので乗り放題なのがいいところ。休日は、学部授業が始まったのでほとんど勉強。たまに友達と映画を見に行ったりご飯を食べに行ったりする。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルベニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学学校 (ALI, American Language Institute) の場合、授業内容は主に英語に触れることで **reading, Writing, Listening, Speaking** を通して英語の技能を高めるものでした。クラスの人数や国籍は **semester** ごとに差、違いがあると思われませんが、私の在籍していた **Summer2019** の **Advanced class** ではクラス人数およそ 5 名、国籍は日本とサウジアラビアでした。授業によってクラスのメンバーが異なり、**advanced class** の授業でも **summer2019** は人数が少なかった為か一つ下の **intermediate class** の生徒と一緒に受けるものもありました。教授の国籍も様々でトンゴ出身の方や、ジョーダン出身の方もいらっしゃいました。1 週間の時間割は月曜日から木曜日の週 4 日 9 時 30 分から 15 ; 45 まで 70 分授業が 4 つあります。使用した教科書は極めて少なく、” **Listening to Academic Lectures** ” という授業で” **NorthStar5 Listening and speaking 4th edition** ” という教科書のみです。授業形式は主にゼミ形式に近い講義形式であったといえます。講義の中で発言を求められるシーンが多々ありました。一クラスにいる生徒が非常にすくなかったので発言しやすかったです。ALI には個別授業があり、ほかの授業でわからなっ方ことや、課題の手助けをしてもらえます。 **Writing Center** というところで **writing** のことを尋ねることもできました。教室にはプロジェクターやコンピューター室もあり、プレゼンテーションを作成、行うことが可能です。

学部授業については、とる授業によってクラス人数、国籍、時間割等変わってきますが、私の受講している授業の場合どの授業も講義形式のもので、その中で生徒が発言したり、質問したりしています。それぞれの授業で教科書の購入が必須で、中にはデジタル版の教科書が必須であるものもあります。一週間の時間割としては一日に平均して 2 つほどクラスがあります。大学内の設備については特に問題ないと思います。壊れていたり、不潔に見えたりする個所は今のところありません。大学内の図書館は自習に適した場所です。静かで広々としており、集中できる環境が整っています。キャンパス内は **wi-fi** があるので便利です。

II. 生活状況

宿舎は極めて快適です。エアコンの設備や **wi-fi** があるので問題なく過ごせています。共同キッチンとコンピューター室、プリンター室 (1 枚 5 セント) があり料理もプリントもできます。 **POD** というコンビニのようなお店もふぞくしています。深夜 12 時まで開いているので夜にお腹がすいても大丈夫です。宿舎から校舎はさほど遠くないので、いつも徒歩で教室まで向かっています。私のとっている中で一番遠い校舎でも宿舎から徒歩 20 分ほどです。食事は主にダイニングホール (食堂) でとっています。平日は朝 7 時から夜 7 時半、土日は朝 9 時半から夜 7 時まで開いています。バイキング形式です。買い物は **IUP** の学生証があれば無料で利用できる、バスで近くの **grocery store** まで行きます。私は大抵 **Walmart** に行きます。なんでもあるのでとても便利です。 **Indiana mall** というモールもあるので特に難なく必要なものは揃います。休日は課題をしたり、買い物に行ったりしますが、とくに遠出はしません。先ほど述べたローカルバス以外安価な交通機関がない為です。休日は宿舎にいたることがほとんどです。

留学種別	認定
留学先大学	南カリフォルニア大学インターナショナルアカデミー
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

リーディング、ライティング、文法のクラスとスピーキングのクラスが毎日ありました。月曜日と水曜日は追加のクラスで TOEFL や IELTS など自分が選択したクラスがありました。どのクラスも 10 人前後で構成されていました。国籍は主に中国人、韓国人、日本人、サウジアラビア人でした。リーディング、ライティング、文法のクラスでは **Q: Skills for Success** という教科書を使用してリーディングをしたり、エッセイの書き方を学びました。また、**Understanding and Using English Grammar** を使用して文法を学びました。スピーキングのクラスでは **21 Century Communication** を使用してディスカッションやリスニングをしました。またテーマに沿ってプレゼンテーションも行いました。選択クラスの TOEFL では TOEFL で必要なリーディング、リスニング、スピーキングを学びました。主に **North Star Building Skills for the TOEFL iBT** を使用して問題の解き方などを学びました。大学には 24 時間開いている図書館があり個人で学習できるスペースとグループで学習できるスペースがありました。また、授業後に分からないところや、エッセイをチェックしてくれるチューター制度がありました。

II. 生活状況

寮にはジム、コンピューター室、スタディールームなど便利な施設があります。寮の下にはレストランや薬局がありとても便利です。寮は道を挟んで学校の目の前なので徒歩五分で学校に行くことができます。寮の周りにはセキュリティーの人がいるので夜でも比較的安全です。徒歩五分くらいのところに **USC Village** というレストランやスーパーが集まった場所がありそこで生活用品や食材を購入しています。他にも寮の周りにはいろいろな種類のレストランがあるので食に困ることはありません。ご飯は主に自炊で週に 1.2 回友達と外食をしています。休日は友達とサンタモニカやハリウッドなどの観光地に行ったり、買い物に行ったり、宿題をしたりして過ごしています。寮の周り以外に出かける時は主に **Uber** を利用しています。公共交通機関はあまり充実していないのと場所によっては治安が良くないので車で移動するのが一般的です。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

現地の学生に混ざって大学の学部授業を受けた。交換留学生は 4 つまで授業を取ることができる。授業は留学生向けのリスト内なら文理系問わず自由に選べるので、自分の興味のある授業を優先して取れた。ESL の授業は 2 学期なのでなかった(1 学期はある)。

クラスは 15 人前後で、留学生は自分を含めて 2~5 人いた。授業は週 2 回(90 分×2, Tutorial と Seminar)で、外大のゼミのスタイルに近い。

大学全体の留学生の割合はドイツ、イタリア、チェコなどのヨーロッパやアメリカ・カナダ出身の留学生が大半で、日本人を含めたアジア人は全体としては少数だった。同じ時期に留学していたアジア人は自分と韓国出身の 2 人だった。

教科書は自分で買う以外に図書館で借りられるほか、図書館の eBook を使ってオンラインで読めるので毎週の授業中に使うものだけ買った。

市の図書館の一部が大学の図書館になっている。図書館は City Campus の隣にあるので利便性はとても良いと感じた。図書館にいる大学のスタッフにレポートの文法や参考文献のチェックをしてもらえる(予約制)。

教室棟の廊下にはパソコンやコピー機・机が設置されていて、誰でも気軽に自習ができる環境が整っている。大学の建物自体が新しいので、設備はとても良いと感じた。

II. 生活状況

寮は Main Campus 内にある Standard Plus で、6 人でバスルームとキッチンを共有する。週に 1 回、大学のスタッフが共有スペースを掃除してくれる。最初に割り振られるフラットが留学生向けなので、部屋割り次第では日本人が集まることもある。寮費に大学のジムの使用料が含まれていて、無料で使うことができる。

通学方法は基本的に徒歩で、天気が悪いときはバスを使っていた。同じキャンパス内なら寮から徒歩 5 分程度で教室に向かうことができる。Main Campus から City Campus までは徒歩 20 分くらい、キャンパス内のバス停から市バスで 10 分ほどかかる。

徒歩 30 分圏内にスーパーや繁華街、ショッピングモール、レストランがあり、買い物には困らなかった。休日は自習や買い物、友達と遊びに行ったりした。ウスターの駅からロンドンやオックスフォード、バーミンガム、カーディフへ電車を使って 1~2.5 時間で行くことができる。大学の留学担当部がイギリスの有名な観光地(バース、ストーンヘンジ)へ連れて行ってくれた。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ Exchange/Study abroad

- ・ SOCG1105_S1.19-20: DEMOCRACY IN EVERYDAY LIFE
COMP2381_AS.19-20: E-BUSINESS
LANG1003_S1.19-20: IMPROVING ENGLISH USAGE AND STYLE IN ACADEMIC WRITING (FOR NON-NATIVE SPEAKERS OF ENGLISH)
ELAN2008_S1.19-20: THE ENGLISH LANGUAGE IN THE 21ST CENTURY
- ・ Myday というウェブサイトから自分で登録
- ・ SOCG1105 は 10 人程度で国籍はイギリス人、COMP2381 は 30 人、イギリス人、中国人
LANG1003 は 10 人程度でフランス、イタリア、フィンランドなど主にヨーロッパからの生徒が多い。
- ELAN2008_ は 10 人、イギリス人と数名の留学生
- ・ 月曜日 1 時 - 1 8 時、火曜日 1 6 時 - 1 9 時、水曜日 1 時 - 1 6 時、木曜日 2 時 - 5 : 3 0
- ・ SOCG、COMP は講義とゼミ、LANG と ELAN は講義

II. 生活状況

- ・ キッチンとシャワーは共同
- ・ St John campus と City campus があり、St John campus に住んでいる。St John campus は寮から近いが、City camous は 20 分程度歩く必要がある。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私はオックスフォードブルックス大学の **University English** コースに前期参加していました。授業の内容は主に英語の基礎的な能力の向上を目指したもので、**writing, speaking, listening, reading** に加え、エッセイの書き方やプレゼンテーションの練習など学部授業への準備を主とした内容でした。

クラスは二つに分かれており、1 クラス 15 人くらいでアジア人が多く、中国人：10、日本人：2、タイ人：2、ブラジル人：1 といった内訳でした。

授業は月曜日から金曜日まで毎日一つずつあり、金曜日の **lecture class** では、毎週違う講師が様々なテーマについて講義を行うといった形でした。

教科書は大学側が用意したオリジナルのものを使用しました。

授業は基本的に、先生がスライドで内容を説明し、グループワークをするといった形がメインでした。

大学の学習環境は一般の現地生徒が夏休みということもあり大学構内にあまり人がいなかったのが混雑することがなく快適でした。しかし夏休み期間中なので図書館は通常より早く閉館になってしまうので注意が必要でした。教室の設備についても特に大きな問題はないように感じました。

II. 生活状況

宿舎の環境は良好でしたが、クラスメイトの話では入寮した段階ですでにキッチンが汚かったり、フラットメイトの人がごみや洗い物を放置したりするなど、同じ宿舎であっても当たり外れがあるようです。

通学は宿舎がキャンパスのすぐ近くにあったので歩いて通いました。

食事は基本自炊をして、たまに友達とご飯を食べに行ったり、同じフラットに住んでいる人たちでピザを頼んだりしました。買い物も近くに大きなスーパーマーケットがいくつかあったのでそれほど苦ではありませんでした。また町の中心部にも近く、バス一本で行くことができるので便利でした。

休日は主に課題を消化していましたが、友達とご飯を食べに行くことも多く、また大学が開催するイベントなどにも参加していました。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・コース内容、時間割

語学コース: **Reading, listening & speaking, writing, research, seminar**

1 日 1 科目で 9-13 時まで授業がありました。research は自分の専門分野について調べてレポートを書く授業です。Seminar は宿題や課題はありませんでしたが、学部コースと同じような形式で様々な科目の授業を聞きました。

- ・クラス

約 15 人で中国人が 10 名程、日本人 2 人、タイ人 2 人、ブラジル人 1 人

- ・使用教科書

無料で先生から初回授業で冊子が配られそれに沿って授業や宿題が出されました。

- ・授業形式

ゼミ形式、先生の話聞いて実践することが多かったです。

- ・大学の学習環境

どの教室にもホワイトボードがあり不便はなかったですが、夏休みということもあり工事の音がうるさかったり、エアコンがなく集中し辛いことがありました。

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境

寮で en-suite, 6 人でキッチンを共用。

キッチンは冷蔵庫や電子レンジはありましたが包丁やフライパンは自分で用意。

部屋は、セントラルヒーティングはありましたが、クーラーはありませんでした。机や収納スペースは充実していました。ベッド類は自分で用意。

- ・通学方法

徒歩 10 分。

- ・食事や買い物

食事は自炊か外食かデリバリー

自炊の時は、近くのスーパーに食材を買いに行きました。

買い物は大学の無料バスに乗って市街にでるとショッピングモールやお店が並んでいたの生活には困りませんでした。

- ・休日の過ごし方

課題を友達とやるか、ロンドンに遊びに行きました。

Wee4,8,12 あたりは全教科試験があったので土日は勉強。

ロンドンには大学のすぐそばのバス停から往復£10 で行けます(片道 1 時間半)。

留学種別	認定
留学先大学	カンタベリークライストチャーチ大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

英語で 4 技能を学ぶ。1 クラス 15 人で、ほとんどを日本人が占めている。教科書は先生が印刷してきたプリントを使っている。授業は **core english** のようなスタイルで行われている。教室には電子黒板があり主にそれを使って授業を行っている。図書館は 24 時間空いておりパソコンもモニターが 2 つあるなど学習環境は整っている。また寮や教室 キャンパス内の **wifi** も **eduroam** が飛んでおり、**NUFS** のアカウントで使える。図書館等には 4～6 人ほどで使えるワーキングスペースがありプロジェクターなどが準備されている。教室の電子黒板等は授業時間外ならば使うことができる。

II. 生活状況

宿舎の設備は、基本的な生活には十分に揃っている。しかしエアコンがないため夏場はとても暑い。

wi-fi はとても早くつながりやすいため、とても便利。

通学は宿舎から徒歩 10 分。

食事はスーパーマーケットでお惣菜等を買って食べている。

休日はロンドンまで 1 時間ほどなのでロンドンなどに買い物に訪れている。またフランスも海の向こうなので行きやすい。

留学種別	認定
留学先大学	カンタベリークライストチャーチ大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

午前中2時間、文法や単語などを教材を使用して学習
その後1時間で文化や日常生活など、会話中心で学習
午後からは曜日によってライティング、リーディングなどをIELTSの教材に基づいて学習(1時間半)
16人ほどのクラスで、国籍はほぼ日本人。イラン人タイ人の2人のみ海外国籍。
ゼミ形式で、グループワークが多い。
正規性の建物と完全に離れており、正規性との関わりはほぼなし。

II. 生活状況

寮は費用が高かったが、バスルームが部屋についており、セキュリティもしっかりしている。
友達のフラットは、キッチンがかなり汚いのでフラットによるが、私のフラットはとても過ごしやすい、
寮から大学までは徒歩約5分。センター街までも徒歩5分で買い物などが便利。
物価が高いので、節約しないと破産する。
休日は現地でできた友達と出かけたり、洗濯したり、雨の日はNetflixを見たら、図書室で勉強したり。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学コースは学部授業に向けて四技能まんべんなくカバーされている内容でした。同じ **pre-sessional course** にはサウジアラビア 7、中国 6、日本 2、1 人ずつ香港、クエート、スペイン、リビアからの 19 人がいましたが、最高 15 人クラスなので 10 人と 9 人の 2 クラスで分かれていました。授業は金曜日のみ午前だけで月曜から木曜までは 9 時半から 15 時半まで (30 分休憩とお昼休み 1 時間) でした。教科書はプリントや冊子が数週間ごとに配られ、授業はグループワーク、ペアワーク、当てられて発言する、など様々でしたが午後の授業は自習用で主にパソコンを用いて個人でそれぞれ苦手な分野やポスタープレゼンテーションの準備などをしていました。2 週間ごとにエッセイ提出とプレゼンテーション、**reading, listening** のテストがあったのでそれに向けての準備などもしていました。

学部授業は、最高 4 教科まで取ることができて教科ごとに週に 1 時間講義とセミナーをそれぞれ 1 クラスずつ受けるものと、週に 2 時間のクラスが 1 つのものがああります。最高限度の 4 教科履修しましたが、忙しい日もありますが土日を除いて授業がない日が週 2 日あるので外大で履修していた時と比べるとだいぶ余裕があるように思います。図書館は授業期間は 24 時間毎日あいていて、飲食もできるようになっているのでテスト前など自習スペースに困ることはないかなと思います。

II. 生活状況

寮は全て 1 人部屋で私の場合語学コース期間はトイレシャワーキッチンを共用していて、学部期間はキッチンのみ共用です。語学コース期間は夏休み中なので問題なかったですが、トイレシャワー共用の寮は授業期間になると小さなキッチンを 15 人ほどで共用しなければならないのそうなので大変かと思います。現在の寮では 6 人で 1 つのキッチンなので問題なく過ごせています。それ以外は暖房や水道、清掃なども問題ありませんでした。食事は基本自炊で週に 1 度 15 分ほどバスに乗って町へ行って買い物をしています。お昼もカフェテリアがありますが、値段の割に味もまあまあなのでお弁当を持参するか寮に帰って食べるかします。土曜日は語学コースに含まれている日帰り旅行に **student ambassador** の引率で行っていました。**Manchester, Chester, Liverpool, oxford** などバスで無料で連れて行ってくれるのでとてもよかったです。日曜日にもスポーツがあり毎週数時間色々な種目を準備してもらって体育館や外で体を動かしていました。学部期間はバドミントンのクラブに入ったので、それに参加したり予習をしたり、という過ごし方になりそうです。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は初めの 11 週間、キール大学の **pre-sessional** コースで勉強をしていました。最初は 15 人しか生徒がいませんでしたが、途中で 4 人増え 19 人になりました。国籍は多様で中国、香港、クエート、シリア、サウジアラビア、スペインなど様々な文化を持つ人々が集まっており、とてもにぎやかでした。特に中国とサウジアラビアの人の人数が多かったです。大変だったのはそれぞれの国にはそれぞれの英語のアクセントがあるため、聞き取るのに最初はすごく苦労しました。例えばアラビア人は **R** の発音がすごく巻き舌です。私が勉強していた時は様々な文化を持つ人が集まっていましたが、去年は全員中国人だったそうなので年によってばらつきがあるかもしれません。私のような大学生や仕事をしていただけ将来のために勉強をもう一度始めた人や、夫婦で **pre-sessional** に参加している人、子供がいる人など日本ではあまり味わえない環境に身を置くことができました。(一度だけ授業に自分の子供を連れてきていた人もいて、先生や学校の寛容さに感銘しました。) 授業は月曜から木曜日は 9 時半から 15 時半まで、金曜日は午後の授業がなくお昼の 1 時まででした。だから毎週金曜日に一週間分の買い出しへバスに乗って出かけていました。教科書はすべて配布されたので買う必要はなく、授業のスタイルは外大の授業の **Core** に似ていると思います。

II. 生活状況

私は大学の寮に住んでおり、教室までは徒歩 10 分ほどで着くことができ、とても朝は助かりました。キッチンとトイレが共用だったので私の階と一緒に住んでいた中国人と香港人と同じく外大から留学している友達とにぎやかにご飯を作ったり、食べたりしていました。1 つだけ残念だったのが、寮へ着いた当日から私の階のトイレが壊れていて、2 つのうち 1 つのシャワー室の電気もつかなかったことです。それ以外は部屋もキッチンもトイレもシャワーも毎週清掃員の人が掃除してくれていたのもとても楽でした。休日は 2 週間に一度キール大学が遠足を無料で用意してくれていたのも、それに参加していました。マンチェスター、チェスター、バーミンガム、オックスフォード、リバプールなど様々なところへ行けたのもとてもありがたかったです。**Pre-sessional** の間は **student ambassador** というキールの学生が週 3 回スポーツを開催してくれたり、毎週ゲームナイトをしてくれたり、遠足にも付き添ってくれたり様々な交流の場を与えてくれました。おかげで部屋に引きこもることなく充実した生活を送っていました。ちなみに先生もヨガのクラスを開いてくれたり、とても生徒と先生の距離が近かったと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	ケント大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容

pre-sessional という大学に入る直前の語学コース。自分の持っている IELTS のスコアによって受ける週が違ふ。10weeks は IELTS 5.5 用で、もっと少ない週(6, 4weeks)の人は 6 や 6.5 などを取っているらしい。

クラスの人数

13-5 名ほど。全体的に **pre-sessional** のマジョリティが中国とタイからの留学生で、私のクラスは半々にならず殆どが中国籍で、1 人タイ、2 人日本国籍のクラス構成だった。

一週間の時間割

1 日 3 コマ 30 分の休憩と 1 時間の昼休み。休憩込みで 9 時から 15 時 30 分まで。

1 限: speaking / listening

2 限 writing / reading

3 限 プレゼンテーションなどのための準備授業

II. 生活状況

宿舎の設備

私の過ごしている **parkwood** は普通のフラットとエンスイートのフラットの二つがある。**parkwood** の普通のフラットは値段も安いのに共同のシャワーとトイレも綺麗で満足している。友達に住んでいる **Darwin** は牢獄と呼ばれていて、**parkwood** の私の寮と同じ値段(かそれより少し安いか..)なのに、共同のシャワールームとトイレは本物の牢獄のように汚く狭いので **Darwin** はオススメしない。私のフラットは 5 人部屋で、ルームメイトというよりハウスメイトなのでちゃんとプライバシーも守られてとても満足！

通学方法

オンキャンパスなので徒歩でスクールまで向かう。自転車を 1 ターム £40 で借りてからは自転車で登校。

食事や買い物

ほとんどはダウンヒルにある **tesco** や **m&s** で食材を買って自炊。あとはキャンパス内に大型のコンビニ型スーパーがあるのでダウンヒルに行かない場合はそこで買い物。あと、学校内やダウンヒルにあるレストランやカフェに週に何度かいくことがある。学校のもダウンヒルと同じくらいの値段はする

休日の過ごし方

土日のどちらかでダウンヒルへ行ってお買い物をして帰る。課題のない週はロンドンなど遠出をする。

留学種別	TESS II
留学先大学	ハイランドアイランド大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Social Science の学部授業を取っています。心理学、政治学、社会学を履修しています。授業日は火曜水曜金曜です。

クラスの人数は約 20 人程度、国籍は日本人 2 人を除けば全員が現地人だと思います。

使用教科書はありません。インターネットで外大のポータルのようなところから全てアクセスします。

授業は一つの授業時間が 3 時間で全て講義形式です。教師によってはストライキを起こしていたりするので授業が休校になったり、色々な不都合があります。

正直大学内で英語を話す機会は 95 パーセントありませんのでスピーキングの上達を目標にしている方には全くお勧めできません。(話すときは授業が終わった時、休憩している時などに教授に質問しに行くくらいです)

教師にメールを送っても確実に返信が来るとは限りません。催促しても同じです。文化の違いでしょうか。

大学の学習環境は良いとは思いますが図書館や教室など全体的に狭いです。外大でいうと 735 のような教室が多いです。

II. 生活状況

ホームステイは何不自由なく過ごしています。ステイ先の方も自分が意思を尊重してくれるので全く問題ありません。

通学方法は徒歩です。

食事や買い物に困ったことはありません。大学の近くにスーパーがあるので特に問題ありません。

休日は家でゴロゴロしたり、勉強したりとバラバラです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ハイランドアイランド大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

HNC (Higher National Certificate) Social Science, 社会科学コースで、政治学・社会学・犯罪学・心理学の授業を受けています。これらの授業は選択制ではなく義務なので、このコースにいる全員が同じ内容を学んでいます。一週間の時間割は、月曜日と木曜日が全休で火曜日に政治学を 3 時間、水曜日に社会学を 3 時間、金曜日に心理学を 3 時間、犯罪学を 1 時間(**drop-in session**)を受けています。一回の授業で多くのことを学ぶため、空き時間や全休、土日も参考文献を読んだり、課題をこなしたりと忙しく過ごしています。授業時間外は、図書館にある PC、勉強スペースやカフェテリアを利用しています。また、オフィスアワーに先生方を訪ねて質問をすることもあります。図書館は基本的にお喋りや飲食可能ですが、集中して自習したい生徒のための **Quiet Zone** というお喋り禁止のスペースもあります。

クラスメイトの国籍は聞いたことがないので分かりませんが、ディスカッションをする際にはそれぞれの生徒が多様な視点から意見を述べているため非常に興味深いです。日本人は私を含めて 2 人だけです。大学全体でも学部生の中で日本の方を見かけたことはありません。政治学・心理学・社会学は講義形式で行われており、政治学と心理学は 20 人ほどの小規模授業で、社会学は 40 人ほどの中規模授業です。

授業では教科書を含む紙の資料は無く、全て講師によるプレゼンテーション形式で行われます。教科書が無い代わりに、指定された参考文献や参考資料や自分で必要だと思う関連資料を読むことが求められます。そのため、学術的な本(それぞれの学問の入門書からテーマに沿った専門書まで様々)や資料に触れる機会が多く、大変ですが勉強になります。

犯罪学は、オンライン上に全ての講義内容と資料が大学のポータル (**NUFS** で言うところの **Moodle** のようなサイト) に挙げられているため、テストやレポート提出の締切に向けて毎週の課題を自分でこなしていきます。加えて、質疑応答や進捗確認のために週一回 60 分の **drop-in session** (出席義務はなく、あくまでもオプション) が開講されており、担当教員に質問したい生徒や内容解説を聞きたい生徒が出席しています。私の場合は、この時間に担当教員が学習内容を要約して解説してくれたり、テストに必要な情報を教えてくれたりするので毎週出席しています。この授業に関しては通年開講のため、自分で時間を作って 1 学期分の授業内容を 2 期の授業と同時進行で勉強しなくてはいけないので課題やレポートの分量が他の科目の 2 倍になっています。

II. 生活状況

半年間、1 つの家庭でホームステイをさせてもらっています。フルタイムで働いているホストマザーと 5 歳の男の子がいる、忙しくも賑やかな家庭です。一人部屋を用意してくださったのでプライバシーは十分に守られています。特にルールも無く、シャワーの使用回数や時間に制限はありません。また、バスタブもありますが、基本的に入浴するのは 5 歳の子だけで私とホストマザーは 15 分ほどのシャワーで済ませています。ホストマザーが朝シャワーを浴びるため、私は夕方帰宅した後にシャワーを浴びることでシャワーの時間が重ならないよう気を付けています。

食事に関しては、ご飯付きの契約にしたので朝食と夕食、週末の昼食はホストマザーが用意してくれます。平日の昼食は近くのスーパーで買うか、学食で済ませています。ホストマザーはとても忙しいので顔を合わせる機会がない日もありますが、基本的には夕飯を一緒に食べるので、

その時に話をしたり夕食後にリビングで一緒にテレビを見たりしてコミュニケーションをとっています。食事内容は、魚やお肉、ポテトをメインに野菜も多く出しているため日本食が無くても全く問題なく過ごせています。ホストマザーが優しい方で、日本食を買ってきてくれたり、味付けを日本食風にしてくれたりと私の体調が悪くならないよう、またホームシックにならないようにとても助けてくれています。

大学まで徒歩 **15** 分の距離に家があり、バスを使いたい場合には家から **5** 分で通えるので非常に便利です。また、同じく家から **5** 分ほどの場所に **24** 時間営業の大型スーパーがあり、食品、化粧品、日用品、文房具などほとんどの生活必需品がそろっているため、買い物で困ることはありません。さらに、大学内に美容院があります。これは美容専攻の学生が実践的に学ぶための場所なので、美容師は学生ですが、一般の人にも人気のある場所です。カラーリングやマッサージ、マニキュアなど幅広く提供していますが全体的に価格が安く抑えられており、**£ 8** でヘアカットとブローをしてもらえます。

休日は、バスに乗って **15** 分ほどでショッピングセンターや映画館がある街の中心部に行けるため、息抜きに映画を見たり、買い物をしたりして楽しんでいます。**H&M** などの服屋さん、スターバックスを始めとするカフェ、スコットランドのお土産ショップや **1 £** ランド (日本で言う **100** 円ショップで、食品や入浴セット、掃除道具など生活必需品を均一 **100** 円で買えます)、さらに郵便局や薬局まで立ち並んでいるため、飽きることはありません。また、家で洗濯をしたり、のんびり寝ている日もあれば、近郊のエディンバラに出かけたり、長期休暇を利用してロンドンに旅行をしに行ったりと自分の体調や気分を考慮しながら、充実した生活を送れています。ホストファミリーとは一緒に映画やドラマを見たり、ミュージカルを観に行ったりする機会があり、言葉では言い表せないほど楽しかったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンシドニー大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

普段は週 5 日に 8 時から 12 時半まで 4 時間語学学校で授業を受けています。授業内容としては、自分の英語を上達させることを目的として文法、リーディング、リスニング、スピーキングの四技能を行なっています。また、アカデミックライティングの書き方を身につけるため、日々エッセイやレポートをこなしています。クラスは主にインドからの生徒が多く、その他は中国、パキスタン、日本の生徒がいます。使用教科書は学校側が用意してくれた物を使用しています。授業形式は先生と生徒の交流が多く、先生が一方的に話すのではなく、自分の意見も言うことができる環境が整っています。今の時点ではまだ、学部授業の方は受けてませんが、普段の学習としては大学で行なっておりかなり充実した設備が整っています。

II. 生活状況

ホームステイの環境はホストマザーと私の 2 人で生活しています。マザーはとても接しやすい方で、自分のことを気遣ってくれるので支障なく生活を送ることができています。休日にはマザーと友達と出かけたりして、思い出をたくさん作ることができています。普段はバスを使い、約片道 30 分の道のりを経て学校に行っています。食事に関してはマザーが自分の健康を気遣ってくれ、バランスの良い食事を毎日取っており、友達とも外食する機会も増えています。休日は JSA というクラブの生徒達と、ショッピングに行ったり、娯楽を楽しんだりしてかなり充実しています。七月から寮に移る予定ですが、これまで支障何一つなく生活が出来ていたのもとても満足しています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンシドニー大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・英語コース(EAP4&5)

- ・クラス規模は15人から18人程度
- ・授業時間割はセメスターによる

1. 9:00-14:00 (休憩1時間)

2. 8:15-12:30 or 12:45-17:00 (休憩15分)

- ・使用教科書はウェスタンシドニー大学専用のものを使用

EAP4は10週で2冊、EAP5は10週3冊

- ・授業の形式はどちらかといえばゼミ形式

各クラス担当教師が2人づつついている。ex.月一水は先生A、木、金は先生B

- ・私が通っているキャンパスは、ビルの二階部分のみ

下層階は授業用の教室とキッチン、ソファ等、上層階はコンピュータールームやレセプション

II. 生活状況

- ・ホームステイ(ホストマザーとホストシスター)

三食つき→晩御飯のみのミールプランに変更

マザーが看護師で、シスターは大学院生だった為忙しく、ほとんど会話もなく食事は毎食1人。ペットの犬のしつけがなっておらず、ほぼ毎日家に帰るとおいたのせいで悪臭が漂っていた。

- ・寮(5人でフロア共有)

1人部屋が5つ(テーブル、クローゼット、ベッド)、シャワー、トイレ2つづつ、LDKは共有。

テレビ、テーブル、ソファ、冷蔵庫、電子レンジ、オーブントースター完備

プール、卓球台、ビリヤードなどもある

- ・通学方法

ホームステイ→徒歩

寮→バス

- ・食事は特に気にしてなかったのが気付けば4ヶ月で5キロ太っていた
- ・買い物は大体週に一回ペース
- ・休日の過ごし方

土曜日の午前中はボランティア、午後は昼寝をしてダラダラ

日曜日は遊びに出かけたり、ダラダラしたりいろいろ

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンシドニー大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

•Humanities, Psychology から四つの授業をとっていましたが、Humanities は比較的 Translation などのユニットよりも英語のレベルは高くまた、必要とされる知識も多いような印象を受けました。僕は Modern European History and Politics というユニットを取っていたのですが、大学で政治は少し勉強していましたが、歴史に関してはあまり知識がない上、リーディングの量も多く、課題も難しい内容でしたが、新たな分野を勉強したおかげで興味を持つことができました。

•レクチャーに関しては 50 人以上はおり、チュートリアルは 15 人前後ほど、国籍に関しては詳しくは分かりませんが、アジア系の国籍は少なく、ヨーロッパ系、または現地の生徒が多い

•月曜日、15:00-17:00、レクチャー、チュートリアル、introduction to International Relations、火曜日、12:00-13:00、Modern European History and Politics, 16:00-17:00、MEHP、チュートリアル

水曜日、9:00-10:00、Australia and the world, レクチャー、10:00-12:00 Behavioural Science, レクチャー、16:00-17:00、Australia and the world, チュートリアル

木曜日、15:00-16:00、Behavioural science、チュートリアル

•電子媒体

•レクチャーは大人数での講義、チュートリアルは少人数でのディスカッション形式

•比較的整っている、24 時間勉強できる施設もある

II. 生活状況

ビレッジに関しては自分の部屋に関しては何も問題はありません、ヒーターもあり、ファンもあり、十分な収納スペースもあります、何人かのルームメイトとシェアの場合はコミュニケーションが大切です。良い関係が良い寮生活に繋がります。

通学方法は徒歩

食事は近くのスーパーで買い物をして自炊

休日は課題がある時期は課題をやり、それ以外は友人と過ごす

留学種別	TESS II
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

月曜日 音楽研究の講義 170 人の学生
火曜日 留学生向けの講義とチュートリアル イタリア語の講義
水曜日 キーボードのワークショップ
木曜日 音楽研究のチュートリアル
金曜日 授業なし

教科書を使うのはイタリア語の授業のみ。その他の授業は毎回ハンドアウトを配布される。留学生向けのコースは第 1 言語が英語以外の学部生に向けたグリフィス大学の必須の科目
その他の授業はオーストラリア人の学生が大半

II. 生活状況

最初の 3 ヶ月間、ホームステイをしていた。会話をしてくれなかったり、食事をあまり提供してもらえなかったため、大学に近いオフキャンパスの学生寮に引っ越しをした。3 人の中国人の大学院生とシェアルームで生活をしている。ホームステイでは月に食費を\$300 ほど払っていたが、自炊をすれば月に\$150 ほどになる。休日は課題をするか、大学が主催するデイトリップに参加していた。

留学種別	TESS II
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース: 語学コース (Griffith English Language Institute)
クラス: 12~14 人 国籍: アジア・南米
時間割: 月~金 8:15 am ~12:45 pm
教科書: 支給
授業形式: ゼミ形式
学習環境: 図書館、24 時間のコンピュータールーム

II. 生活状況

宿舎: 5 人シェア、トイレ&シャワールーム 2 個、共有スペース
通学方法: 宿舎から徒歩 5 分
食事・買物: 徒歩 7 分ほどの位置にスーパーマーケットが 1 ヶ所、トラム (電車) で 5 分ほどでショッピングモール
休日: ビーチでサーフィン、友達とブリスベンに行くなど。

留学種別	TESS II
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私が 1 期に受講した授業は、**Marketing**、**Tourism**、**Environmental Science** の 3 つです。各クラスとも 2 時間のレクチャーと 50 分のワークショップが含まれ、レクチャーは大人数で行う講義、ワークショップは少人数でアクティビティを行うクラスです。クラスのほとんどが現地オーストラリア出身または欧米からの留学生でした。授業の長さや難易度、成績の付け方はワークショップ担当の教員によって異なります。どのクラスでも 2000 字前後の課題が出され、**Marketing** では実際のブランドのマーケティングプランを練ったり、**Tourism** ではフィールドトリップをしたりと実践的な授業だったので、とてもやりがいを感じました。教科書の有無は授業によりますが、私が受講したクラスではオンラインでダウンロードすることができたので実物を買う必要はありませんでした。新品の教科書は比較的高いので、大学のコミュニティーやマーケットなどで中古購入することをお勧めします。時間割の立て方については、キャンパスが広く教室移動に時間がかかることや、予習や課題が出されることが多いので、レクチャーとワークショップの間に最低 1 時間程儲けることをお勧めします。

II. 生活状況

大学から徒歩 15 分程の場所に位置する、**Griffith University Village** で生活しています。各自ベッドルームがあり、トイレやシャワー、キッチンなどは 5 人でシェアしています。私の場合仲良い友達がルームメイトの一人なので、食料品などもシェアして購入、一緒にご飯を作っています。**Village** はほぼ毎日何かしらの食べ物が提供されています。月曜：無料バラエティーフード（週替わり&ベジタリアン）、火曜：無料ベジタリアン、水曜：\$6 ピザ、木曜：無料パンケーキ。食費を節約できるので、**Village** のフリーフードはよく利用しています。**GC** キャンパスはとても広いので授業で利用する建物の場所にもよりますが、寮から大学は徒歩圏内なので通学は比較的楽です。買い物は徒歩圏内にあるスーパー、**SUPA IGA** またはトラムで 10-15 分程の **Australia Fair** に行きます。**Australia Fair** のある **Southport** にはレストランやバーなども集まっているので、友達と近場で出かける場合にはちょうどいい場所です。洋服などの買い物は、バスで 30 分程度のところにある **Harbour Town Outlet** をお勧めします。日本のアウトレットと同じように、常にセールをしているので比較的安く色々なものが手に入ります。週末には、交通費がとても安いと言うのもあり、電車とトラムで 1 時間半ほどかかる **Brisbane** に行くことが多いです。

留学種別	認定
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容は英語であり、5 週間ごとにクラス替えがあります。国籍は日本、韓国、中国、コロンビア、ニューカルドニア、ベトナムなどアジア中心です。一日 8 時 15 分から 12 時 45 分まで授業があり、全休はありません。使用教科書はクラスのレベルごとに異なります。授業内で取り扱うトピックは教育、**marketing, law** などです。授業形式は、ゼミ形式です。ディスカッションを中心に授業が展開されています。大学内ではパソコンがたくさんあり、パソコンを使って勉強することができます。図書館では、たくさんの生徒が勉強しています。それが勉強のモチベーションになります。悪い点としては、日本と違って、しゃべりながら勉強する人や、食事しながら勉強している人もいますので、その環境に耐えられない人もいるかもしれません。

II. 生活状況

寮に滞在しています。二階建ての寮に各三十人程度います。平日は静かなのですが、金曜日、土曜日、日曜日になると騒がしくなります。しかし、寝れないほど騒がしいわけではありません。寮はキャンパスまで徒歩 5 分程度と近い場所に設置されています。寮からバスで 10 分で大きなショッピングセンターがあり、そこで食材を買ったりしています。休日の過ごし方は寮の友達とどこかへ出かけたり、ジムに行ったりしています。**Griffith University** には **social sports** というものがあり、私はサッカークラブに所属しており、週一で試合、週一で練習をしています。また **Griffith University** の寮では様々なアクティビティがあり、いろいろな人とかかわることができます。たまに朝食を提供されることもあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	サンシャインコースト大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

EAP は 5 時間×週 5 日だった。内容は主に大学でのレポートの書き方、プレゼンの仕方、ielts。日本人がクラスの半分を占めていた。学部は 4 つの授業を取っているため、週に 4 日。オーストラリア人が多い。教科書は日本と比べるとかなり高い。授業はレクチャーとチュートリアルに分かれている。図書館では静かに勉強できる環境が整っており、インターネットも使える。

II. 生活状況

ホームステイ先は約 1 ヶ月前に変更しました。理由は前のホームステイ先が大学から遠く、バスを二本使い、1 時間かけて登下校する必要があったからです。今は大学から徒歩 20 分のところに住んでいます。食事はホームステイのプランに三食含まれているので、作る必要はありません。祝日は学部授業がなかなか難しいので主に授業の予習、復習をするか、ホストと話しながら過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	サンシャインコースト大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1. EAP (英語コース) について

クラス人数： 17人

国籍： 17人中10人が日本人（こんなに日本人がいるのは珍しいとのこと）
5人 中国出身 1人 ネパール出身 1人 ニューカレドニア出身

時間割： 月曜日から金曜日まで毎日
8時40分～11時、11時10分～12時、1時～3時

教科書： 学校が貸し出しする reading の教科書を使用
主に先生が様々な種類の教科書をプリントしてくれたのでそれを使用

授業形式： 自分で問題を解き、その答えを近くの人と比較、どうしてその答えになったかを話し合っ た。

2. 学部コースについて

クラス人数： 授業によって異なる レクチャー：多い時で200人
少ない時で20人
チュートリアル：多い時で20人
少ない時で10人

国籍： 自分以外ほとんどがオーストラリア出身

時間割： 月曜 全休
火曜 12時から3時
水曜 8時から10時、4時から6時
木曜 1時から2時
金曜 2時から4時

教科書 オンライン教科書1冊、ハードコピー教科書1冊
あとは教授がネットにあげてくれるものを使用

授業形式 レクチャー：講義形式
チュートリアル：話し合い、議論中心
レクチュリアル：グループで1つの課題を進める、話し合いをする

II. 生活状況

生活状況

ホームステイ： すごく優しいです、私のところは本当の家族のように生活してくれます。
毎日話を聞いてくれるし、いろんな話をしてくれます。
一緒に料理をしたり、お祭りや海に連れて行ってしてくれます。

通学： 歩いて40分、バスで10分くらいです。初めはバスを使用していましたが、
最近では運動のためにも、クラスが遅くまであるとき以外は歩いて通学しています。

食事： 朝、夜はホストファミリーが作ってくれます。お昼は夕食の残りなどを持たせてくれます。
たまに、大学の食堂で購入することもあります。学生割引を受けられるので、安く購入することができます。

買い物： 買い物は大学の近くにあるスーパーマーケット（コールズ）で購入すること

が多いです。

休日の過ごし方： 大学に行き図書館で勉強をすることが多いです。あとは、家でゆっくりしたり、友達と海に行ったり、ショッピングセンターに行ったりします。

留学種別	TESS II
留学先大学	サンシャインコースト大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

一期の2ヶ月間の語学コースは、主に IELTS を基本とした Writing、Reading、Listening です。授業では IELTS の過去問を解き解説をしてもらったり、教科書を基にアンケートであったり、プレゼンをしたりします。中間、期末テストも IELTS が基本です。クラスは17人で、ネパール人、フランス人、中国人が5名、日本人が10名ほどでした。一週間は、月曜から金曜まで朝の8:40~15:00までです。月火水曜日は教科書を基にした授業で、木金曜日は IELTS の授業です。教科書は、時々使いますが、先生が印刷してくれています。IELTS の授業では、IELTS の過去問題集からの印刷です。授業形式は人数も少ないのでゼミ形式で、基本的に違う国籍の人が隣同士で座り、問題について話し合います。学習環境は非常に整っていて、自習室が語学コースの棟にあり、随時先生に質問出来たり、授業後に IELTS の問題を自習として解くこともできます。図書館には質問をしに行ける設備があったり、留学生には優しい会話クラスもあります。

II. 生活状況

ホームステイ先は大学から徒歩15分で非常に通いやすいです。夜間はあまり電灯が無く暗く、人通りも少ないので少し怖いです。家は二階建てで一階を全て使わせてもらっています。台所、トイレ、シャワー室、ベッドルームに勉強用の机もあります。二階がリビングルームなので普段はご飯を二階で食べてテレビを見たりお話をしたりしています。ホストファミリーは、マザー、兄、弟、マザーが仕事の時に来るおばあちゃん、犬です。子供達がいることもありにぎやかで楽しい生活を送っています。通学方法は徒歩です。雨の日はマザーが送ってくれますが、ほとんど雨が降りません。食事は、朝シリアルとフルーツ、夜はオーストラリアの食事とデザートです。お肉やパスタ、時々日本食もできます。お昼ご飯はホームステイ代には入っていないのですが、マザーがパンをくれるのでパンを食べています。買い物は、コールズというスーパーマーケットが大学の近くにあり、あとは大きなショッピングモールがバスで20分ほどのところにあるので時々服を買ったりする時に行っています。休日は課題が終わり次第、兄弟のスポーツに付き合ったり、マーケットに連れて行ってもらったり、おばあちゃん家のガーデニングを手伝ったり、お友達とご飯を食べたり、買い物に行ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

EAP2 (大学進学準備コース) ...読み、書き、リスニング、発音
人数、国籍...日本人 4 人、中国人 4 人、ナイジェリア人 1 人、(インド人 1 人)

国籍構成は開講時期によって違うらしく生徒の英語レベルも異なる。今回の場合はナイジェリア人はほぼネイティブと同等の能力で先生もここにいることを不思議がっていた。中国人は再履修組で、インド人は途中で辞めたのでよくわからない。

時間割...細かい時間割は特に定まっておらず、先生が生徒の状況と進行状況を比べて判断していた。9:00-10:30-(15分休憩)-10:45-12:15-(45分休憩)-13:00-14:00(-16:00月曜のみ **speech pathology** の生徒による発音練習。但し生徒の実習としての意味合いのほうが強く単語レベルの練習のみだが、文単位の練習がしたいと伝えれば話し方の練習も可能)

教科書...語学学校から配られたプリントを束ねた教材を使っていた。

授業形式...先生が前に立って授業する一般的な講義形式

環境、設備等...普通に過ごせるレベルではあるが老朽化しているなどは思った。自習室はタイピングによるものの友達同士でふざけている人もいるので図書館のほうがいい。ただ図書館もこじんまりしていることと 7:00-0:00 まで開いてはいるが 9:00-5:00 以外は一階しか使えないので時間によっては場所が埋まりきっていることもあった。

II. 生活状況

・寮の設備、環境

寮ごとによって異なる。外大の奨学金対象にされている寮で生活しているが設備は古く、コンクリート打ちっぱなしの壁に窓はガラス戸など一般的なのではなくブラインダー的なものなので隙間風と虫が気になる。それからカーテンは開かない。ただ古いけど週に一度ハウスキーパーが入るので不潔ではない。部屋の大きさは **3.5x3.5m** くらいの大きさ。寮から大学まで大体歩いて 15 分。野生のカンガルーがたくさんいる。ポケットに赤ちゃんがいることもあるので癒される。

・食事、買い物

寮から一番近いスーパーは歩いて 30 分かかる上、イメージ的には成城石井のようなスーパーなので急ぎの時以外はめったに使わない。同じくらい歩けば **woolworth** もあるが歩道がなく車道の脇を歩かなければならず、大型トラックもよく通るため安全面から基本使わない。週に 2 回(木、土)大学から無料バスがショッピングモールまで出ていて、買い物時間は 1 時間半あるのでその時に全て必要なものを買ってそろえる。もしくはタイミングが合えば車を持っている人が連れて行ってくれる。ただウィンドウショッピングなどを楽しむ場所はない。イメージ的には小ぶりのイオン。

・休日の過ごし方

ネットフリックスを見るか友達と話す。休日はバスが使い物にならないので一人で町散策は不可能。また店はほとんどチェーン店のためお気に入りの店を探すというような楽しみや、カフェ巡りなどの楽しみはほとんどない。その代わり山登りに行ったり、海に行ったりする人はいる。どちらにしろ車がないとどうしようもない。図書館は勉強する場所、レポートの資料を探す場所という立ち位置で、そもそも蔵書数も少なく本の置いてあるフロアに休日は立ち入れない。いろいろ町中で催物はあったが交通手段がないので人数が集まらなかったときはあきらめたこともあった。

何度も述べている通り、車がないと食料品を買いに行くのにも苦勞するレベルの田舎である。重要なイベントや寮主催の催物があるときは寮の車を持っている人が出し合ったり、バスが出るものの席に限りがあるので例えばアンザックデーは豪州の人にとって大切な人聞いていたのでぜひ式典に参加してみたいと思っていたが、席が埋まってしまったので参加できないかもしれない。最終的に語学学校の先生に訳を説明したら車に乗せてもらえたものの、交通手段がないことが理由で異文化交流の機会を逃していたかもしれないと考えると残念な気持ちになった。

良くも悪くも学生寮も大学も小さいコミュニティなので親切心からなのは理解しているが到着してすぐに他の日本人を紹介され、寮のイベントがあるときは大体ひとまとめにされた。生活圏はネイティブスピーカーの生徒と全く同じなので英語で話す機会は頑張れば作ることができるが、私の場合はウェルカムウィークが過ぎてから到着したことに加えて、寮では留学生は留学生、現地の子は現地の子で人種別に固まっているのでネイティブのグループに話しかけるのは結構勇気が必要だった。たまたま私は日本に興味を持っている子が同じ寮内いて話しやすい子だったので、その子のいるグループに入れてもらえそうな雰囲気だったら話しかけていた。都市部であれば **meet up** などの **language exchange** でネイティブの友達を作るのが難しくても、とりあえずアウトプットの機会は手に入れられるが、ロックハンプトンではそのようなコミュニティは見つけれないため自炊の語学学校生は現地のことのつながりを持つのに苦勞する可能性が多くあるかもしれないと思った。

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

EAP が終了しました。内容としては、**reading, writing, speaking, listening**, どれもバランス良く時間割が組まれていました。特に重点的に扱われていたのは **Academic Writing** で **Essay writing** を主に学んでいました。クラス人数は前半の 5 週間で 20 人程度、後半の 5 週間は 10 人だったので後半からは先生との距離も近づき、より個人的な指導も受けられました。インドと中国からの学生がほとんどでしたが、8 か国から学生が来ていて多国籍なクラスでした。大学独自で作られたテキストを使っていました。クラスメイト同士で意見を言い合う時間も多くあり、**listening** や **reading** は何度も練習を繰り返すような形でした。コンピューターや **wi-fi** の設備も整っていたので学校内でしっかり勉強ができる環境でした。自習スペースも多くあったのでよく利用していました。

II. 生活状況

ホームステイの環境は良かったですが、ホストとの会話が多いというわけではありませんでした。比較的自由にキッチンやバスルームを使わせてもらっていたので特に不自由はありませんでした。

しかし、自分の部屋にテーブルと椅子がなかったので、家ではリビングですることになりあまり勉強に集中できていませんでした。通学には電車を利用して 40 分ほどかかる距離にあります。基本的に朝食と夕食はホストが提供してくれていたもので、昼食のみ自分で用意して学校に持っていきます。休日には友達と出かけることも多く、電車を利用して少し遠くまで出かけたり、食事をしに行くこともあります。授業が午前で終わっていたので午後は図書館に行き勉強したり、市立図書館主催の **English conversation club** によく参加しています。

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ GE3 (General English3) 前半 10 週
- ・ 履修登録は学内のタブレットを通じて
- ・ 10 人 (日本人 6 人、ベトナム人 2 人、コロンビア人 1 人、中国人 1 人)
- ・ 9:00 ~11:00 、 Tea break 、 11:30 ~13:30 を週 5 日 (月~金)
- ・ 英語の授業のみ、ゼミ形式
- ・ 教科書は [speak out Intermediate Students' Book]
- ・ 自習室、図書館あり
- ・ EAP1 (English for academic purposes1) 後半 5 週
- ・ GE3 のテスト受かったら自動的に次のレベルになりました
- ・ 10 人 (日本人 6 人、ベトナム人 2 人、コロンビア人 2 人)
- ・ 時間割、授業形式は GE3 と同じ
- ・ 教科書は [Oxford EAP]

II. 生活状況

- ・ ホームステイの環境
- シングルマザー、6 歳~10 歳の子供 3 人、ハウスキーパー 1 人の家族なのですが、よく家に 1 人になることが多いです。今はもう慣れましたが、最初の方は不安でした。英語面では、子供たちと遊ぶところがいい英語の勉強になっているなど実感します。
- ・ 通学に関しては、バスと電車を使って約 30 分のところに家があるので、割と便利かと思えます。
- ・ 毎週朝ごはんとお昼ご飯の買い物をして、外食は高いので学校がある日は毎日自分で作っています。
- ・ 休日は友達とあそんだり、家族とあそんだり、ホストマザーの実家へ連れて行ったりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

文系教科

ラテン語:教科書に準拠した授業構成で **NUFS** の副言語のクラスと似ている。毎週単語テストと文法の宿題が出る。進むスピードはかなり早く、この半セメスターで **NUFS** の復元語の授業一年分ほど学習する予定。

ジェンダー論:毎授業指定されたマテリアルを読む課題が出る。また、それらに関する質問を作ることにも要求される。教科書は無し。

理系教科

人工知能:毎週プログラミングとそれに関するクイズが出題される。講義は日本の大学のような感じで、大人数の授業。教科書は無し。理系教科なのでかなり専門用語が多く、調べる量が多い。

天文学:中間テストが 2 回、期末テスト 1 回の計 3 回のテストがある。学ぶ範囲はかなり幅広く、定理や公式も多いので数学や物理が好きでない人についていくのが難しいと感じる。毎週計算問題が出る。

全体的に講義は日本の大学と似ているが、質問の回数は間違いに多い。また、オンラインでも授業を聞くことができるので風邪などで授業を逃しても心配はない。大学の国籍率としてはアジア：ヨーロッパ：地元民=3：2：5 ほどでかなり多様な文化が混在する。

学習設備は整っていて、かなり学習しやすい環境になっていると思う。

II. 生活状況

寮は冷暖房有り無しのところがあるが、冬のオーストラリアで過ごすなら暖房が有る寮の方が良い。夜になるとかなり冷え込む。通学、買い物は全て徒歩で行く。

休日は勉強を先に終わらせて、余った時間は料理をしたり、友達の家に行ったりする。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Semeste 1 の語学学校では1つのレベルを5週間学習した。1日4時間×5。クラスは約15人程度。ほとんどが中国人。大学内で売られている教科書と単語を学ぶテキストの2つを使用した。先生は1クラスにつき2人おり、日替わりで担当していた。

II. 生活状況

大学の寮はキャンパスからもよほど遠くはないので通いやすい。寮からスーパーまでの無料のバスもあるので利用すれば買い物もしやすいと思う。休日は映画を見たりビーチにいたりして過ごしている。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ UTAS Access Program 5,6,7 (ELC005, ELC006, ELC007)

(各コース 5 週間ずつ)

- ・ 履修登録方法：日本からネット上で申し込んだ
- ・ クラス構成：13～17人、約80%が中国人であとはインド、インドネシア、韓国、日本など
- ・ 授業時間割：毎日 9:00～11:00と11:30～13:30でそれぞれ reading, writing, listening, speaking の授業を受けた。listening では、次の学期の学部授業の形式になれるために、広い講堂で講義を聞く形で授業をうけたりもした。
- ・ 授業形式：ゼミ形式
- ・ 図書館は NUFS よりも小さめで（でも24時間空いている）、基本的に人がいっぱい埋まっている。授業後に教室を使わせてもらえるときもあるが基本的に施錠される。

II. 生活状況

- ・ 一戸建て、City まで歩いて45分（バスで約15分）
- ・ 小学生の女の子が二人いてにぎやか、みんなフレンドリーで明るい家庭。なにかイベントがあるといつも誘ってくれるので一緒にいろんなことを経験できる、何に関しても自由（料理、友達を呼ぶ、帰宅時間制限もなし、など）
- ・ 徒歩約10分
- ・ 食事：いろんな種類、美味しい
- ・ 買い物：すぐに街の中心部まで行けるため便利。基本的になんでも揃っている。中国人の人口が多いからかアジアのお店も多い。
- ・ 休日：友達と買い物、ごはんを一緒に作る、家でのんびり、子供たちと遊ぶ、映画を見る、など

留学種別	TESS II
留学先大学	チャールズダーウィン大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

10 週間の語学コースを受けました。10 週間の中で前半 **ModuleA**、後半 **ModuleB** でと別れていました。

ModuleA は私を含め、クラスメートは 2 人、**ModuleB** は 6 人でした。

他のクラスメートの国籍はインドネシアと中国と台湾でした。

授業は 1 日に 2 時間授業 2 コマと 1 時間授業 1 コマ、月曜から金曜の週 5 日間の授業でした。使用した教科書は **ModuleA** で 1 冊、**ModuleB** で 1 冊使いました。他のノートを使うというより、教科書に書き込むというのが多かったです。授業はすべて教科書に沿ってました。教科書の中にリスニング、リーディング、スピーキング、ライティングのセクションやレポートの書き方、プレゼンの仕方などすべての内容が入ってました。先生が質問してくることに生徒が答える、皆で話し合う、1 人ずつ問題を解いて、皆で答え合わせといったふうに授業は進みました。テストは **ModuleA** と **B** の終わりにありました。スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのテストでした。

ほかにも評価対象には **Research Report** やプレゼンテーション、**News Report** などがありました。

教室と、ランチルームで過ごすことがほとんどでした。

II. 生活状況

部屋には、ベッド、机、椅子、冷蔵庫、洗濯物干し、クローゼットが設備されており、1 フロアに 16 人が住んでおり、キッチンが 2 つ (コンロ、共有の冷凍庫、レンジ、トースター)、男女各トイレ 2 つ、シャワールーム 2 つを共有していました。皆で過ごすようなテレビとソファがあるようなタイプではありませんでした。

寮は大学内にあったので、通学時間は徒歩 10 分ほどでした。

私は、2 ヶ月半という短期間の留学だったので、あまり調理器具を買わなかったで、食事はトーストや、パスタ、お肉を炒めるだけ、日本から持って行ったご飯やうどんなどを食べて、簡単に済ませることが多かったです。

土日にすることもほとんどありませんでしたが、たまに開かれるマーケットやビーチに行く、あとはショッピングモールに行くことが多かったです。

毎週金曜日に寮からそのショッピングモールへの無料の送迎があったので、そこで食料品を買うことが多かったです。金曜日はそのままそのショッピングモールで夜ご飯を済ませることが多かったです。

それと、寮で無料で自転車が借りられたので、それを利用してショッピングモールに行くこともありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	チャールズダーウィン大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ Navitas 終了 (アカデミック writing を学んだ)、今は学部を受講中
- ・ Navitas はクラス 15 人(中国 4 人、台湾 3 人、ネパール 3 人、Niger、インドネシア、ベトナム、モンゴル、日本)
学部授業は大規模授業と小規模と両方ある。しかし純粋なオーストラリア人はほとんどいない。多国籍。
- ・ 学部は 4 コマ取っている。一日 (月、火、木、金) に一つずつ。教室でかオンライン授業か選べる。
- ・ 教科書は図書館のサイトからオンラインで読めるものもあるが、読めない教科書もいくつかある。
- ・ 以外と講義形式が多い、オンラインの生徒のために録音しながら授業が行われる。
- ・ 快適だが人数に対して明らかに席の数が足りず地べたに座って受ける授業もある。図書館は勉強がはかどる

II. 生活状況

- ・ 留学生用の寮はとてもいい場所。学部生として 3 年通う生徒や 2 年博士を取るために通う生徒のほうが圧倒的に留学生より多いので、先輩としていろいろ教えてくれるいい環境。毎週必ず 2 つ以上のイベントは寮の中であり、参加は自由だが参加すればあたりはずれなく楽しい。おしゃべり好きな人が多く、ただ話しているだけでどんどん人数が増えていくことが多い。寮のイベント以外にも、自分たちで企画して楽しむ機会がたくさんある。たとえば、私の住んでいる棟はキッチンが建物に一つしかない珍しい棟でそのためキッチンがご飯時に混雑する。しかしそれはそれで楽しくて、キッチンの目の前にある食事スペースでそれぞれの国籍料理を作って集って食べることがよくある。部屋はシングルルームなのでもし自分から部屋の外に出ようとしなければ、このような楽しい機会は手に入れることができない。トイレとシャワーは部屋の中ではなく、共有で使う。毎日共有スペースを掃除してくれるクリーナーさんは来るが、誰かが汚して汚いところがあると facebook のグループで指摘される事が多いので、みんなで綺麗に使おうという意識が強い。
- ・ 通学については、とても近くて便利。歩いて 3 分ほどでつく。自分は夜暗いところを歩くのが嫌いだが、図書館は歩いて 3 分、走って 1 分ちょっとで寮に戻れるので、9 時まで開いている図書館に行くことが多い。キャンパスの広さはそんなに大きくないと思う。自転車がなくとも移動できる。オンラインで授業を受ける生徒が多いため、キャンパス内にそんなに生徒はいなくて、純粋なオーストラリア人の生徒も少なく感じる。インド系の international student のほうがたくさんいるように感じる。
- ・ 食事は自炊が多い。金曜日に寮からスーパーへのシャトルバスが出るので、それに友達と乗って一週間分の食料を買う。物価はそんなに高く感じない (肉と魚は高いと思う)。週 2 回ぐらいみんなで料理して食べることがある。外食すると 1 食およそ \$ 15 ぐらい (フードコート)、\$ 23 (レストラン) かかる。
- ・ 休日
Navitas 生だった時は、いまいち遊べる友達がまだできず休日は部屋にこもって勉強したり、Netflix を一日中見たり、掃除したりすることが多かった。学部生になった今は、朝はゆっくりし

て昼から図書館行って勉強して、夜は友達とご飯を作って食べることが多い。

留学種別	TESS II
留学先大学	チャールズダーウィン大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学コース (Navitas) では、大学で授業を受ける人へ向けたプレゼン方法やエッセイの書き方など、**academic English** を 12 人のクラスメイトと一緒に学びました。クラスメイトの国籍は中国、ネパール、インド、バングラデシュ、フィリピン、インドネシア、マレーシアとアジア系に偏っており、同じ国籍の学生がクラスにかたまらないように工夫されていました。祝日を除く月～金曜日、午前中 2 時間の授業を受け、昼休みと自習時間を挟んだ後、午後も同じように 2 時間の授業を受けました。その授業スタイルは、**Navitas** オリジナルテキストを使いながら、テキストの問題を解いていくかんじです。

II. 生活状況

寮の設備は棟によって様々ですが、僕が住んでいる棟は 1 つの階に 16 人の留学生が住んでいます。キッチン、バスルーム、ランドリールームは共同ですが、キッチンは 2 つ、バスルームは男女で分かれているため何不自由なく使うことができます。また、ハウスキーパーが掃除してくれるので清潔です。キャンパス内の寮なので、教室までは徒歩 10 分とアクセス悪くないのですが、一番近くのスーパーが少し離れているため、週一回の寮のシャトルバスを使うか、自転車、公共のバスを使うのが便利です。休日は、寮のイベントに参加したり、マーケットに行ってみたり、ビーチに行ったりと都会にはないゆっくりとした時間の流れを感じることができます。

留学種別	認定
留学先大学	ディーキン大学付属集中英語コース
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

最初の4ヶ月間は、留学生用の英語コースで勉強しました。1クラスは大体15人ほどで、中国人が7割ほど占めており、あとは日本、ベトナム、サウジアラビアなどから来た生徒が多いです。平日、4時間+1時間の自習があります。授業は、生徒同士で会話をする機会が多い事が印象的でした。また、英文エッセイの正しい書き方を自分が全く知らなかったことに驚きました。5週間ごとに、テストが3つと長文エッセイ、プレゼンで成績がつけられ、6割以上で次のレベルのクラスに進めます。レベルが上がるごとに内容はもちろん難しくなりますし、課題も増えました。しかし、クラスでの活動を通してたくさんの友達ができますし、たくさんの良い先生たちに教わる事ができて、とても充実した英語コースでした。

II. 生活状況

私は学校の寮に住んでいます。何より便利なことは、教室からとても近いことと、1階に24時間開いているサポートデスクがあることです。私の部屋は5人部屋で、オーストラリア人3人とフランス人の生徒と一緒に暮らしています。キッチンやリビング、お風呂などは共同ですが、個人の部屋もあります。建物自体も新しく、また週に2回、クリーナーの方が部屋を掃除してくれるので、とても綺麗です。食事は基本自炊です。スーパーに行くのに毎回バスに乗らないと行けないのが少し不便ですが、10分ほどで大きなショッピングモールに着き、そこで何でも揃います。休日は、シティまで行ってカフェに行ったり映画を見たりする日もあれば、大学のテニスクラブに参加する日もあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- 語学学校の授業は、ナフスの **Core English** の授業と形式が似ています。しかし、7.10 周目でテストがあるので、予習をしていないと結構難しいです。
- 語学学校の初日に、クラスを振り分けるためのテストを受けたのですが、自分に振り分けられたクラスが、元々ナフスから言われたクラスと違い戸惑ったことを覚えています。私達は **early sitter** と言われる、本来なら 10 週間の授業を受けてから受けるテストを、5 週間で受けるという制度でした。これは、大学側から事前に生徒に報告した方がいいと思います。
- 大学の図書館は、インターネット環境が豊富で、とても役に立ちます。
- クラスは日本人は少ないのですが、中国人がほとんどを占めています。

II. 生活状況

ホームステイの環境は、当たり外れがあると思うのですが、ほとんどの家庭はきちんと、料理を提供してくれます。

人によっては、シェアハウスに移り住む生徒も多いです。

毎日バス通学ですが、1 ヶ月に 1 万円程の交通費がかかります。

学生用の割引を受けられる、定期があるのですが、語学学校の生徒だともられません。

外食をしようとする、外食税がかかるので、日本の 1.5 倍ほどかかります。

休日は、ビーチや、ショッピングに出かけます。自然が豊かな反面、あまり遊ぶ場所はありません。土地が広いので、遠出をしようとする、移動時間がどうしてもかかってしまいます。(例、シドニーまで電車で片道 3 時間)

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前半の **ELICOS** では、ニューカッスル大学のカラハンキャンパスの中にある、**language centre** というところで授業を受けました。授業内容としては、1日9時から15時まで（昼休憩11時～13時）の4時間行っており、週に20時間の授業を受けました。**Nufs** のプログラムでは、15週の語学学校のプログラムだったのですが、実際こちらの授業は10週間単位だったため、最初の **upper intermediate** では、ほかの生徒たちは10週間授業を行ってから、昇級のためのテストを受けるのにもかかわらず、私たちは、5週間しか受けてないまま最終のテストを受けなければならないため、少し戸惑いました。授業内容としては、**upper intermediate** では、**reading** では主に教科書の理解を深めること、**writing** では、利点と欠点を述べる書き方、**listening** では、メインポイントの理解、**speaking** ではペアでプレゼンテーションをするという形でした。そして、その一個上のクラスの **EAP** では主に大学に向けての準備クラスでした。そのため、**reading** は学術記事を読み取る練習、**writing** はレポートを書く練習、**listening** はノートテイキング、**speaking** は、世界で起こっている問題についてのディスカッションや、プレゼンなどでした。

どちらのクラスも主に12人から20人ぐらいで、国籍としては約7割が中国人でした。使用教科書は、**upper** では、**unlock level3** の **reading and writing skills** と、**listening and speaking skills** の教科書で、**EAP** のクラスは **making connections 3** と **writing** の教科書（ニューカッスル大学の **language centre** 出版）を使っていました。

II. 生活状況

私は、ホームステイをしています。ホームステイの環境としてはとても良いです。通学時間は、一番近いバス停に1時間に1本しかバスが来ないため、朝はバス停まで20分ほど歩く必要があるため、1時間ぐらいかかります。ホストファミリーもとてもやさしく、ここの家族は洗濯も1週間に2、3回はホストマザーがやってくれるためとても助かっています。また、夜ご飯の時間も家族全員で夜ご飯を食べ、食べ終わった後もたくさんお話しできる時間があるため、毎日たくさん英語を聞ける機会なのでとても満足しています。また、この家族は2人の子供がいて、1人は大学生の男の子で、もう一人は小学校1年生の男の子なので、そのこと学校終わりなどは遊んでいます。

食事は私は1日3食のプランを取っているため、昼ご飯もホストファミリーが準備してくれています。

休日は、勉強をしたり、友達とショッピングモールにいたり、ビーチに行ったり、映画を見たりしています。ここ、ニューカッスルはシドニーまで電車で3時間ぐらいなのでたまにシドニーまでいたり、ニューカッスルシティにはたくさんのレストランやカフェがあるので休日はそのようなところに行っています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1. About the course

- For the semester 1, I registered for three courses(classes). The first one is ACFI 1001 Accounting for Decision Makers. The workshop classes were divided into different class timetable. The class time I allocated into was on Friday 2 p.m. - 5 p.m. It was held in a large room that consists numbers of computers, tables and chairs. Students in the friday class(the class time i registered in) including me, numbered about 80 students in total. Most of the students are local but there were also some Chinese students. We had classes for the course every week for 3 hours. We were told to buy a book for the course. I bought one and it cost me \$108. The second one is ACFI Introduction to Finance. The workshop classes were divided into different class timetables. The class time I allocated into was on Friday, 10 a.m. - 12 p.m. It was held in a normal room that has long table in each rows and have chairs in it. In my class, students totalled to 45 students including me. 50% of my classmates were local and another half were Chinese. We were also required to have a book and I bought it for about \$144. The third one is INFT1004 Introduction to Programming. I registered for this class because I was interested of programming. As of now, I can speak 3 languages and I'm curious on learning other languages. Not just the language of a country but other types of languages like accounting which acts as the language of a business. It is the same in programming, programming has different languages. Therefore I decided to register for it. It has 2 types of class. One is the lecture class and the other one is workshop classes. In the lecture class, every student taking the course is in it so we totalled to 80 to 100 students. The lecture class was held on Monday, 3 p.m. - 5 p.m. It was held in the theatre room. The workshop classes were divided into different class. My class time was held on Wednesday, 3 p.m. - 5 p.m.

In the workshop class, we were required to do workshop activities connected to the lecture class on monday. So our class was held in a computer lab. We were totalled to 20 students in my workshop class time. Most of the students were Australians and few were from China. We were required to have a book for the course so I also bought it and it cost me \$102.

2. My timetable for the week

Monday - 3pm to 5pm(lecture class of Introduction to Programming)

Wednesday - 3pm to 5pm (workshop class of Introduction to Programming)

Friday - 10am to 12pm(Introduction to Finance)

2pm to 5pm(Accounting for Decision Makers)

3. About the school environment

The studying environment in the University of Newcastle is great. We have 2 libraries in Callaghan campus and one library in Newspace campus.

II. 生活状況

1. About my homestay experience

I stayed for one semester in a homestay with a very welcoming hostmom and her cat. There were other 2 japanese students i lived with but one japanese student only studied in Australia for one month. The other student left were the same as me studying abroad for one year here in Australia. The house I stayed in was big. It had my hostmom's room and 3 other rooms for she had 3 daughters but are adults now and live independently. My room was located on the second floor. I am so blessed to have a loving and caring host mother with a gentle cat. In my room, I had a bed, heater, study desk and chair, wardrobes, fan, aircon, lamp and television. Meals were served by my host mother 3 times a day. My host mother was a vegetarian that's why the food

she served was really healthy and delicious. Even if she is a vegetarian, she still served meats for us students. She also do my laundry every once in a week. She taught me the bus times and the bus stops to get to the university. From my homestay, a 5 minute walk to the bus stop and by bus, it takes about 20 minutes to get to the university.

2. How I spend my weekends

On Saturdays, I hangout with my asian friends to a movie or shopping and so on and sometimes stay at the house and watch netflix in the living room or play a guitar at the terrace. On Sundays, I always go to church nearby my homestay. By bus, it only takes 20 minutes. It is close to the newspace campus of University of Newcastle.

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・コース内容

5 週—Upper Intermediate

10 週—English for Academic Purposes

- ・クラス人数

15 人—日本人、中国人、サウジアラビア人、ベトナム人、パキスタン人、インド人、タイ人、ヨルダン人

- ・一週間の授業時間割

月～金 9:00~11:00 授業、11:00~13:00 昼休憩、13:00~15:00 授業

- ・使用教科書

UNLOCK reading&writing skills3 、 UNLOCK listening&speaking skills3 、 Making CONNECTIONS3、 English for Academic Purposes Writing Skills 2nd Edition The Language Centre

- ・授業形式

グループディスカッション、教科書を使った授業、プレゼン (パワーポイントを用いて)

- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備

図書室 24 時間開室

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境

様々な設備の寮がある。(1 人部屋、キッチン・トイレはシェア 等)

- ・ホームステイの環境

多国籍 (オーストラリア人、インドネシア人、イタリア人等)

基本バス通学だが交通の便が良くない (車では 15 分で行けるものの、バスだと 40 以上)

- ・通学方法

バス

- ・食事や買い物

大学からバスで 30 分以内の位置に 2 つの大きなショッピングセンターがある

- ・休日の過ごし方

図書館で勉強、家族とおでかけ、友達とビーチ・買い物

留学種別	認定
留学先大学	ボンド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

一般英語を 15 人程の少人数で、日本やブラジル、中国人の生徒と受講しています。文法を始めプレゼンなども行なっています。

II. 生活状況

海へ出掛けたり、海の近くにある BBQ の設備を使用し友達と楽しんでいます。

留学種別	TESS II
留学先大学	HU ユトレヒト応用科学大学
留学先国・地域名	オランダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

HU での授業(Globalising Business)について①:

授業日数は名古屋外国語大学の講義と比べてとても少なく、週に2～3日といったペースです。このコースを履修している生徒の数は20人ほどです。クラスメイトはオランダ人が半数を占めていますが、フランス人、台湾人、ロシア人、アイルランド人などの様々な国からの留学生も多くいます。今年に入って **Globalising Business** のカリキュラムが変更になったらしく、その関係か教科書等の使用はありませんでした。**MSTeams** というアプリケーションを利用し、授業のプリペレーションとしてのリーディングの PDF ファイルであったり、課題の提出もそれで行なったりをしています。大学の設備については可もなく不可もなく、必要最低限のもののみが揃っているという印象です。

HU での授業(Intercultural Management)について②:

HU で唯一留学生向け、そしてビギナーレベルの講義です。クラスメイトの数は10人程度、全員がロシアやスペイン、韓国から来ている留学生です。週 1 日3時間前後の授業が一コマあります。文化という点から経営について学んでいるので、全員が留学生であるこの講義はとても興味深いです。

II. 生活状況

ユトレヒトでの生活について(SSH Johanna):

Johanna での生活は大体のものが揃っているので不便だと感じることは少ないです。パーティーの数も少なく夜は比較的眠れます。私の場合は例外的に **Johanna** に住んでいるのですが、**TESS II** で留学される方は **Pythagoraslaan** という二人部屋タイプの宿舎に申し込むことになると思います。**Pythagoraslaan** にもよく行くのでそれについて書くと、パーティーの数が多いです。朝方まで音楽を大音量でかけています。移動方法は主に自転車を利用しています。**SwapFiets** という自転車のレンタル会社(多くの留学生が利用している)から一月 **12€** でレンタルしています。破損した場合や盗難に遭った場合でも無料で修理、交換をしてくれます。食事について、大学キャンパス内にグローセリーストアはありますが、比較的高めという印象があります。私は自転車で10分ほどの距離にある **Jumbo** というスーパーで買い物をしています。他にもシティの方へ向かえば **Amazing Oriental** や **TOKO Vrudenburg** といったアジアンマーケットも多くあるので、日本食にはよっぽど困らないでしょう。休日の過ごし方についてですが、友人とビリヤードに行ったり、ゲームをしたりと行った感じで、そのあとにパーティに行くこともあります。

留学種別	認定
留学先大学	カルガリー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1日に Grammar、Reading&Writing、Speaking&Listening の3コマ。
一クラス15~18人編成で、日本人は約60%（レベルによる）国籍はイタリア、韓国、メキシコ、コロンビア、台湾、タイなど。
月曜から木曜は3コマで、金曜は午前中のみ授業（Speaking&Listeningを除いた2コマ）
3クラスそれぞれ教科書がありどれも解説がしっかりしている。
どの授業も少人数で NUFS の Core English のような感じである。
教室が寒いこと以外は快適だった。図書館などの施設はどこも手入れが行き届いていて、学習環境に適している。

II. 生活状況

ホームステイ先はとても親切で、英語を話せるような環境を作ってくれている。食事は三食ホームステイ先から支給されるため自分で食料を調達したことはない。
学校まではバスと電車を使って約40分
休日は友人と downtown へ出かけたり、ホストファミリーと過ごす日もある。

留学種別	認定
留学先大学	カルガリー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ESL Grammer, Reading & Writing, Listening & Writing の三つのクラスでそれぞれレベルも別々です。クラス構成は日本人多めです。クラスのレベルが上がるごとに日本人が減っていきます。1 クラス 16 人くらいです。カルガリー大学はとても大きい大学で、ジムや図書館などの施設も充実しています。

II. 生活状況

私はホームステイをしています。ホストマザーとファザーと小さい子供 2 人と暮らしています。ホストマザーたちは私のことをすごく気にかけてくれます。通学は電車一本で大学の駅に着きます。40 分くらいかかります。食事は基本的にホストファミリーと夕食を食べます。昼食は前日の夕食の残り物をランチとして持っていきます。朝ごはんはあるものを食べていいことになっているので、私はワッフルかバナナを食べています。休日は友達と出かけるか、家族と買い物、家や図書館で宿題をしています。バンフ国立公園が 1 時間半ほどのところにあるので、夏場はよく友達と一緒に行っていました。

留学種別	認定
留学先大学	キャピラノ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Writing, Reading, Listening and Speaking のクラス。

12~18 人、中国、ブラジル、イラン、韓国、タイ。

月：Writing & Reading 8:30~14:20

火：Listening & Speaking 9:30~11:20

水：Writing & Reading 8:30~15:50

木：Writing & Reading 8:30~15:50

金：Listening & Reading 9:30~11:20

Reading: 1 冊、Writing: 1 冊

図書館、ジム、食堂など設備はちゃんとしている。留学生のためのオフィスもあり何かわからないことがあれば聞きに行けるため、安心でした。生徒はみんな図書館で勉強していて、特別な自習室ないです。教室の設備は、日本に比べるとあまりよくはないです。基本的に寒かったです。

II. 生活状況

ホームステイは、Wi-Fi が無料で使用できて部屋も小さくもなくいい環境でした。ホストファミリーが、フィリピン人の方だったので英語に癖があり聞き取るのが大変でした。食事は野菜が少なく、メニューのバリエーションが固定だったので満足ではなかったです。昼食は自分で買うか作らなければいけなかったのも、インスタントラーメンを食べていました。ルームメイトがいるときは、トイレとシャワーを共同で使っていました。

通学方法はバスです。週末に外食したり買い物したりして、平日は学校に行き帰ってきたら宿題をするだけでした。ダウンタウンへは、バスで 50 分ぐらいでつくので主にダウンタウンで買い物は済ませれます。また、ダウンタウンから電車で少し離れたところにも大きなデパートがあったので月 1 ぐらいでかよっていました。

留学種別	認定
留学先大学	キャピラノ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

EAP という英語のコースと、**Marketing** の授業をとっていました。**EAP** のクラスは 20 人くらいで中国人とイラン人がほとんど、**Marketing** のクラスは 40 人ほどで現地の人とインド人が多かったです。**EAP** は月曜から木曜までの週 19 時間、**Marketing** は週に 2 回、週 3 時間ありました。授業は **EAP** は先生と生徒、グループワーク中心で、**Marketing** は基本的に講義形式でした。大学の学習環境は普通でした。

II. 生活状況

ホームステイに住んでいましたが、大学から歩いて 30 分くらいのところで、安全で、環境は悪くなかったと思います。通学にはバスや徒歩を使っていました。休日は課題がどれだけあるかによりましたが、基本的に毎週友達とダウンタウンに行ったりして遊んでいました。

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・授業内容（語学学校）

Writing と **Reading** に重点が置かれた授業でしたが、各レベルで少なくとも 1 度は **Presentation** をする機会も得られました。

週に 1 回は **Grammar** の時間がありました。学内 PC を使った課題はリスニングの良い機会になりました。

- ・クラス人数、国籍

クラスは 20~25 人程度で構成されていました。中国人 5 人、イラン人 5 人、ベトナム人 5 人、韓国人 3、4 人、日本人は 1 人もしくは 2 人程度。

- ・一週間の授業時間割

週に 2 回は午前(10:45~12:30)まで授業があり、午後が平日毎日 13:30~授業がありました。

- ・使用教科書

Reading、**Listening**、**Grammar** の 3 冊を購入するように言われました。レベル 7、8 どちらもこの 3 冊のみを使用しました。

- ・授業形式

基本的には講義形式でしたが、合間に頻繁にグループディスカッションや課題に取り組む時間がありました。

- ・学習環境

PC とコンセントプラグがいろいろなところにあり、大学自体が 24 時間空いているので、夜遅くまで残って勉強できます。

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境

寮の部屋は壁は薄いものの、とても広く、室温を自分で設定できるので快適です。共有のキッチンも月 1 程度に清掃されるので基本的に清潔です。

- ・通学方法

大学内の寮なので、部屋から教室まで徒歩 10 分で行くことができます。

- ・食事や買い物

大学から徒歩 15 分程度のところにスーパーがあるので、食材はそこで買っています。部屋の電子レンジと冷蔵庫、冷凍庫を使って調理、保存できる食材を選んでいきます。バスで 5 分程度のところにショッピングセンターもあるので日用品もすぐに手に入ります。

- ・休日の過ごし方

授業の課題、大学主催の観光ツアー、ボランティアなど

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

学部授業では、5つの授業が必須で、だいたい20~30人程で授業を受けています。わたしは週3日学校がありますが、人によって2日だけの人や4日に分けて授業を組んでいる人など様々です。メンバーは授業ごとに変わるため、友達を作るのに苦労しました。国籍は、インドやフィリピンが多いですが、多国籍社会というだけあって、本当に多くの国の人が集まっています。ネイティブが少ないため、それぞれの母国語訛りの英語が飛び交い、聞き取るのが難しいことが多々あります。

授業は、基本講義形式ですが、プレゼンテーションや演習問題などもあります。FAMと呼ばれるフライトサービス用の電子書籍を基に先生方が作ったスライドで授業を受けています。

メインキャンパスは、24時間空いていて勉強しやすい環境が整っていると思います。

II. 生活状況

寮での生活は、ルームメイトとの相性で変わってくると思います。わたしのルームメイトは、彼氏と一緒に住んでいて、あまりルームメイトと関わりを持ちたくないタイプのように、ほとんど会話もしませんし、一緒にご飯を食べたり出かけたりということは一度もありません。ルームメイトとも話さない、アルバイトもないカナダでの生活は、人との関わりが少なすぎて内向的になりそうなので、後半はコミュニケーションをもっと取れるようホームステイに変えるつもりです。

寮は必要最低限のものしか揃っていないため、4ヶ月しか生活しないわたしとしては、キッチン器具や調味料などは、最小限のものしか揃えなかったため、日本にいる時ほど充実した食生活は送れませんでした。異国にいながらも、自分の好きなものを好きなタイミングで食べられるのは寮生活の良さだと思います。スーパーには、ファミリーサイズのものが多くて売っているため、量を考えて買う必要があるなと感じました。

休日は、友達とダウンタウンに出かけたり、飲みに行ったり、言語交換イベントに参加したりして過ごしています。日本ではアルバイトや学校、友達との予定などが毎日詰まっていた忙しい生活をしていたので、時間がありすぎて少し物足りなく感じることもあります。しかしその分、就活や学校の課題、帰国後の試験に向けての時間を設けることができます。

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

留学生活前半は ELI での語学授業でした。クラスの人数は 20-25 人くらいで国籍は中国、韓国、ベトナム、イラン、ロシアなどです。授業は毎日午後にあり、週 2 回だけ午前にも授業があります。授業は先生によって多少異なりますが、教科書をベースに主に Reading と Listening、たまに Writing と Speaking の訓練もします。授業の宿題とは別に Lab assignment というものがあり、指定された教室のパソコンで自分の声を吹き込み課題をこなし、テストを受けるというものもあります。普段なかなか自分の英語を聞く機会がないので発音の向上にとっても役に立つなと思いました。Seneca college はとても学習設備の整った大学という印象を受けており、無料で受けられる conversation class やワンツーマンで教えてくれる tutor 制度など、たくさんのツールがあるので最大限に活用することがとても重要であるというふうに感じています。

II. 生活状況

私はホームステイをしていますが、とても良い家庭で楽しく生活しています。家族構成はホストファザー、マザー、2 人の子供（17歳と13歳、17歳の息子は現在一人暮らし）、日本人の留学生、9月からコロンビア人の留学生です。週末などにはビーチに連れて行ってくれたり、日本食パーティーを開いてくれたり、とても親切な家庭です。大学までは徒歩とバスで20分ほどなのでアクセスも良いです。食事は朝はシリアルかサンドイッチ、夜はホストファザーがとても美味しいご飯を作ってくれます。昼食は家にある食材を使って料理してもいいし、残り物を持って行ってもいいという感じなので食費はほぼかかりません。週末は友達とご飯に行くことも多いですが、平日は基本作っています。買い物は近くにイオンのようなものがあるのでそこで済ませるか、ダウンタウンに行くこともあります。日本食レストランや日本の化粧品などを扱うお店もあるので全然困りません。さすが多文化社会の国だなという印象を受けています。

留学種別	認定
留学先大学	トロント大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ **Academic English** (ライティングとリーディングがメイン)
- ・ 最初は 10 人いたが、クラス変更等があり 6 人になった。(日本人 5 人 中国人 1 人)
- ・ 1:00pm-5:00pm
- ・ 先生が用意したプリントを使用
- ・ ゼミ形式
- ・ 学習環境はとても整っていた。

II. 生活状況

- ・ ホストファミリー皆とても親切にしてくれた。
- ・ バス・電車
- ・ 基本的には家で三食済ませていたが、外食もよくした。
- ・ 休日は友達と出かけていた。ボランティアにも参加した。

留学種別	認定
留学先大学	バンクーバーアイランド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・ 文法、スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング
- ・ 18 人 日本、中国、台湾、ベトナム、サウジアラビア、チェコ
- ・ 12:30～16:30
- ・ PATHWAYS, Discussion Strategies, Explore 3, NORTHSTAR 3
- ・ 講義形式かつ、グループワークや話し合い多め
- ・ 自習室が 24 時間開いていて、遅くまで勉強できる

II. 生活状況

- ・ 寮の 1 人部屋で、伸び伸び学習に励める
- ・ 学内の寮のため、徒歩 3 分
- ・ 自炊のため、日本食を作って食べている
- ・ 洗濯などの家事をすませ、勉強をする。たまに外食もする

留学種別	認定
留学先大学	ブリティッシュコロンビア大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・滞在先がアパートであるが、オートロックのためセキュリティは万全であると考えている。Wi-Fi があるため、ネット環境は整っている。部屋は一人部屋でシャワーとトイレも自分の部屋についているため自分個人で使うこともでき、時間制限もない。

・ホストファミリーはマザーとシスターがいるが二人とも普段働いているためか、顔を合わさないことが多い。

・通学はバスで、片道およそ 50 分かかる。

・食事は 3 食付きなので自分で作らないといけないことはない。ただシャンプーなどの日用品は自分で買わないといけない。大学やホームステイ先の近くにドラッグストアはあるので、ここで大体日用品は買える。またホームステイ先から電車でおおよそ 10 分の所に大きなショッピングモールもあるため、買い物には困らない。

・休日は学校が開催するアクティビティに参加したり、ショッピングモールや映画に行ったり、散歩したりする。連休などがあるとビクトリアやシアトルに行く人もいる。

II. 生活状況

・午前 10 時 20 分から 12 時、13 時から 14 時 40 分までは **Integrated skills** のクラスでリスニング、リーディング、ライティング、スピーキング力を鍛える。14 時 50 分から 16 時 30 分までは **Project** クラスで先生が決めたテーマごとにグループや個人で調べて、プレゼンテーションやポッドキャストなどを行う。

・クラスの人数は大体 15, 6 人で行う。国籍は日本、韓国、台湾、中国、タイ、チリ、アルゼンチンなどがあるが、一番多いのは日本人であるクラスによっては日本人以外が 2, 3 人のときもあった。

・月曜日から木曜日は上記の時間割で行っている。金曜日はワークショップといい、9 時から 12 時の間に 55 分の選択授業を最大 3 つ選択できる。授業は会話やイディオム、ライティング、発音、日常で使う英単語などがある。

・教科書は **Oxford** の **Navigate Coursebook** の **B1+** を使っている。またプリントを配布されることもある。

・授業形式は講義形式になっている。

・パソコン室や自主室があるので、自主環境は整っている。Wi-Fi もある。

留学種別	TESS II
留学先大学	フレージャーバレー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私が 1 学期目にとった授業は、**Writing** と **Reading** の 2 つです。両方とも講義形式でした。**Writing** のクラス人数は 13 人で、全員アジア人でした。日本人や中国人の他にインド人が多かったです。1 回 160 分の授業が月、火、木にありました。**GRAMMER AND BEYOND** という教科書やハンドアウトを使いながら、文章を書くときに役立つ表現などをインストラクターが説明をして、短い文を考えたり 400 字程度の文章を書いたりしました。

Reading のクラス人数は 16 か 17 人だったと思います。ヨーロッパ系の顔立ちをした女性が 1 人いましたが、その他は全員アジア人でした（日本、中国、イラク、インド、シリアなど）。1 回 80 分の授業が月、火、木にありました。**TEN STEPS TO IMPROVING COLLEGE READING SKILLS** という教科書を使って、練習問題を解いたりインストラクターの質問に答えたりしました。4 人ほどのグループワークもありました。

教室には冷暖房やホワイトボードが設置されており、椅子も机も綺麗で勉強しやすい環境です。図書館の 2 階が **silent zone** になっているので、静かな所で勉強したい派の私にとっては最高の場所です。

自由に使えるパソコン室もあります。

II. 生活状況

私が住んでいる寮は、1 つの部屋の中に個室が 2 つあります。トイレやシャワー、キッチンルームメイトと共用ですが、個室でのんびりできるベッドも別々の部屋にあるのでプライバシーは守られています。一応各部屋にキッチンはあるのですが火を使うことは禁止されているので、3 階にある共用キッチンで料理します。私の部屋は 4 階の端にあるので毎回キッチンまで行くのが面倒です。

各階に 1 つずつある **common room** にはテレビが設置されているので、映画を見たり **Wii** をしたりできます。

洗濯機と乾燥機は各階に 3 つずつあり、**student card** にお金を入れて料金を払うというシステムです。

大学の敷地内に寮があるので、5 分ほど歩けば教室に着きます。

私は基本的には毎日自炊をするので、週に 1,2 回バスでスーパーまで買い物に行きます。服や靴なども、バスでショッピングモールまで行って買っています。

Abbotsford は田舎なので娯楽は少ないです。休日は授業で出た課題をしたりお菓子を作ったり湖に行ったり、なんとなく過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	フレイザーバレー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私が夏学期に履修していた授業は **Reading** と **writing** です。形式はどちらも講義形式で **writing** が 8:30~11:20、**reading** は 11:30~12:50 を月火木という時間割でした。内容は、**Reading** では主に長文を効率良く読むためのスキルを学びました。長文を読む際筆者が伝えたいことを効率良くかつしっかり理解するにはどんなワードに注目すると良いかなど、読解の仕方を勉強しました。2 回ほどグループワークがあり、1 つの物語について話し合い理解を深め合うということもしました。**writing** では主にエッセイを授業中に書きました。エッセイを書くために必要な文法やパラグラフの組み立て方なども学びました。時にはエッセイを書くための情報集めとしてクラスメート同士インタビューをし合い、お互いの意見交換も行いました。クラス人数と国籍は、**reading, writing** とも 15 人前後ほどで、インド人が最も多く、他にはイラク人、中国人など。使用教科書は **reading** が「Ten steps to improving college reading skills」、**writing** は「grammar and beyond」です。大学の学習環境としては、図書館にパソコンと自習スペースがありますがものすごく広いという印象ではありません。教室はとてもシンプルでホワイトボード、スライド、机、椅子、時計があり、20 人ほどでいっぱいになる広さでした。

II. 生活状況

私は大学内にある寮で暮らしており、1 部屋を 2 人でシェアします。キッチンダイニング、トイレ、シャワー、洗面所は共有スペースで、自室は 1 人部屋です。自室には家具、共有スペースには冷蔵庫と電子レンジしか揃っていないので、ほとんどの生活用品は自分で買う必要があります。また、共有スペースのキッチンにはコンロがないので、各階に 1 つずつあるコモナルームのキッチンで料理をしなければならないのでそこは面倒くさいです。ランドリールームも共有で、使用するにはお金をチャージしたキャンパスカードが必要です。食事は付いていないので基本は自炊をしますが、1 番近いスーパーでもバスと徒歩で 30 分ほどかかります。休日は寮で家事をしつつのんびりしたりたまに友達と車で遠出したり、ショッピングをしたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	フレーザーバレー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期は英語の Reading, Writing の授業を受講しました。授業は月、火、木の週三回で、Writing の授業は 8 :30~11 :20、Reading の授業は 11 :30~12 :50 の時間でありました。クラス人数は 15 人弱で、国籍はインド人が半分、中国人、シリア人などでした。使用した教科書は Writing が GRAMMAR AND BEYOND で Reading は TEN STEPS TO IMPROVING COLLEGE READING SKILLS でした。どちらの授業もグループやペアでの活動が多かった印象を受けました。Writing の授業ではエッセイの書き方やエッセイで使えるフレーズ、言い換えなどを学び、Reading の授業は Reading をする際のキーワードになるフレーズや比喩など読み方のコツを学びました。夏学期は生徒数が少なかったため、図書館などは人が少なく、自分で学習できる機会が整っていましたが、Speaking 力を伸ばすには少し物足りなく感じました。

II. 生活状況

宿舎は 2 人でルームシェアをする形態でした。1 人 1 部屋のベッドルームに共同のバスルーム、キッチン、共有スペースが部屋にあります。コンロを使っての料理は宿舎全体の共同スペースに行かなくてははいけませんでした。また不満に感じたのは、日本人がルームメイトになったことでした。通学は宿舎が学校の敷地内にあるのですごく便利でした。スーパーなどの買い物に行く際はバスで 30 分かはいかなければいけませんでしたが、バスの運賃は学生は無料でした。休日は少し遠出をしてバンクーバーに出かけり、スポーツをしたりしました。また、宿舎で映画を鑑賞したり、音楽を聴いたりするなどリラックスすることもありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ESL

20 人前後、主にアジア人

週 25 時間

Q skills for success 5

ゼミ形式?

図書館、カフェ、パソコン、ジム

II. 生活状況

バスで通う

食事はホームステイ

休日は家で過ごすか友達と遊ぶ

留学種別	TESS II
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容 : Reading, Writing, Speaking, Listening

クラス人数 : 各クラス 20 人程 主に中国人、韓国人、日本人、タイ人、ベトナム人、フランス人

1 週間の時間割 : 毎日昼休憩 1 時間含め 7 時間、コース内容で述べたコースの学習

使用教科書 : IQ skills for success

授業形式 : 生徒の意見発表も含めながら先生が授業をリードする形

大学の学習環境 : 深夜 1 時までやっているコンピュータールームや広い図書館がすごく便利

II. 生活状況

ホームステイ環境は生活面、ホストの親切さ含めとてもよい。通学方法はバスで学校から支給されるバスパスで通学。約 30 分。食事は基本ホストファミリーから支給されたものを食べ買い物も大学近くのショッピングセンターによく行っている。

留学種別	TESS II
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

5月から8月に **ESL** コースで勉強をしていました。レベル 4 のクラスは日本人 6 人、韓国人 4 人、中国人 9 人、コロンビア 1 人の 20 人でした。授業がリスニングとスピーキング、リーディングとライティング、プロジェクトのクラスがありました。リスニングとスピーキングのクラスでは、教科書の授業内容に沿ったプレゼンテーションやクラスの前で話すトピックを突然決めて 3 分間スピーチをしました。リーディングとライティングのクラスでは、教科書に載っている読解問題を解き、意見、原因と結果、要約などのエッセイの書き方を勉強しました。プロジェクトのクラスでは、文法を復習し、プレゼンテーションやエッセイをしました。**ESL** を受けた建物は、現地の学生ではなく留学生のみだったので教室を出ると英語以外の言語で多くの人は話していました。

7月までは、**ESL** と並行してオンラインで課題を行う学部授業を取っていました。毎週約 20 ページの本を読み、オンライン上に出題された問題を解答し、長文のエッセイを 5 回提出しました。

II. 生活状況

5月からホームステイをしています。8月の後半まで **NUFS** の子が同じ家にホームステイしていました。学校まではバスを 1 回乗り換えて約 40 分かけて通っています。食事は、朝食は自分で用意をし、昼食と夕食はホストが用意してくれます。休日は、ショッピングモールに買い物に行ったり、クラスメイトと出かけたりします。近くのバスターミナルからトロントまで片道約 12 ドルで行けるので、3 連休があったときトロントへ行きました。セントキャサリンズで日本食や中国、韓国の食べ物を買うことができるスーパーマーケットがありますが、トロントに行って買った方が品揃えもよく、安めに買うことができました。

留学種別	認定
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私が1学期受けたIELPでは、Reading&Writing、Listening&Speaking、Projectsの3つの授業があった。

Reading&Writingの授業では、学校初日に受けるエントランステストの後に振り分けられたレベルにて適切な教科書を購入した後、その教科書の内容に概ねそって英語の読み書きの能力の向上を図る授業が行われる。内容としては主にエッセイや教科書内の文章の朗読、アカデミックライティングの方法などを教えられる。

Listening&Speakingの授業では、**Reading&Writing**と同じようにレベル別に分けられた教室で教科書の内容に沿って参加者の英語のリスニング能力、スピーキングにおける発音や文法事項などを向上させる授業が行われる。主な内容としては教科書に付属しているCDから英会話を聞き、その英会話で使われていた文法事項を軸に実際にクラスメイトや先生方とコミュニケーションをとり、自身の英語会話能力に自信をつけるような内容になっていた。

Projectsでは、主にプレゼンテーションやディベートなど、上気した二つのクラスの内容を自分なりに上手くまとめ、理解しているかを確認する授業であった。教科書はなく、配られるプリントに沿ってグループ、または個人で自身の文法やプレゼンテーションの仕方を確認した後、授業中に発表する方法が主であった。

クラス人数は多くても20人前後。内訳は、3割中国人、3割韓国人、3割日本人、1割その他(ドイツ、コロンビア、イラン等)

1週間の授業では時間割はレベルごとに事前に決められているため履修登録等はないが、R&W10時間、L&S10時間、プロジェクト5時間からクラスごとに違う時間帯で振り分けられる。

授業形式は先生1、生徒20人の日本でもよく満たれる光景だが、授業参加率の加点が高めに設定されているため、積極的でないと基本的に良い点数がもらえない可能性が高い。

II. 生活状況

私は宿舎にホームステイをとっていたが、家賃は一月ご飯付きで\$800、設備はホームステイ先の家によってピンキリだが、担当の先生と連絡を取ればまず変えてもらえるため、不満があればホームステイ先に直接いうか、担当の先生に頼ることで改善が望める。私のホームステイは大人3、子供1人、犬2匹の構成だった。子供の有無、ペットの有無、タバコを吸うか吸わないかはホームステイを決める前のアンケートにて答えればなるべく希望のホームステイ先が用意される。通学方法が十中八九バスになる。ダウンタウンからブロック大学行くのバスが出ているため(318・418)移動はそこまで困難ではない。食事に関しては好みが出る物が多いと言わざるを得ないと感じる。味付けが日本とは全く違うので、美味しく感じないものが多いのは前提にあるとして、そもそも食生活が日本とは大きく異なるため軽い気持ちで挑むよりも、最初は自分の下に合う食材を決め、それらを中心にすれば食事のストレスは大幅に減る。水は水道水が飲めるため基本的には水を購入する必要はない。ブロック大学には至る所に水の補給場が設置されているため、大学内ならまず水に困ることはない。休日の過ごし方は、学校で主宰されているイベントに参加するか、市が開いている祭りの情報を集め、参加することを強くお勧めする。理由としてブロック大学のある **St. Catharines** には娯楽が少ないため(映画館、ビリヤードくらいしかない)、これらのイベントに参加することで間違いなく有意義に休日を過ごせる。また、ダウンタイムに飲み屋やレストランが充実しているため、食べ歩きも有意義な休日の過ごし方ではあるが、限度

がある。

留学種別	認定
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容: Reading Writing Listening Speaking

クラス人数・国籍: 16 人 中国、日本

使用教科書: Pathways 3 Reading and Writing ・ Pathways 3 Speaking and Listening

授業形式: 講義というよりもグループディスカッションがメイン

大学の学習環境、自習室、教室の設備:

学習環境は良く、自習室はメインキャンパスの方に行くと静かで綺麗な図書館やコンピュータールールがある。教室の設備は棟によって異なるが悪くはない。

II. 生活状況

ホームステイの環境: 良い。毎晩夕食を作ってくれる。前日の夕食が翌日の昼食になる。自分専用の部屋が与えられ、wi-fi もあるのでインターネット環境もあるが、wi-fi の電波が弱いので良く接続が切れる。

通学環境: バスで約 30 分くらい

食事や買い物: 日本食と比べ脂っこいものが多い。買い物は大きなショッピングセンターがあるのでそこで。

休日の過ごし方: 宿題や勉強、時々友達と遊ぶ

留学種別	認定
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1 日 Writing 2 時間 Listening 2 時間 Project (Grammar, Pronunciations) 1 時間

クラス 12 人 国籍 韓国人中国人日本人メキシコ人

教科書 Skills for success OXFORD (Writing Listening)

教科書無し(Grammar)

各教室にホワイトボード、プロジェクター、エアコンディショナー設備

校内に机と椅子がたくさんおいてあり、勉強している学生がたくさんいる。

大きい図書館があり、本はもちろん勉強できるスペースやディスカッションのための部屋などがある。

ジム、体育館、水泳プールも完備されており学生証を提示すれば無料で使うことができる。

II. 生活状況

ホームステイの環境は運次第です。

ホームステイによって良し悪しが変わります。

私のホームステイ先からは 1 時間半もかかります。ですが、ある人は 10 分もかかりません。

私の最寄のバスは 18:15 発がラストなので大学の友達と夜ご飯を食べにダウンタウンへ行くと Uber を使わなければいけなかったため経済面がきつかったです。ホームステイ先の家族は一度も迎えに来てくれませんでした。

食事は基本ホームステイ先で食べてますが、ホームステイファミリーの人種によってご飯の系統が異なります。

私はフィリピン人だったので日本に馴染みのないご飯がたくさん出て来たので適応するのに時間がかかりました。

休日は私の家の近くのバスがなくなってしまうので家で勉強をしています。

留学種別	認定
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・1週間の時間割は、【Reading&Writing×2 時間、Listening&Speaking×2 時間、Project (Grammar, Pronunciation, Presentation) × 1 時間】×5 日。各授業、曜日ごとなどでだいたいの内容が決まっています。

例) 月～水 : Reading、木～金 : Writing (Reading&Writing の場合)

- ・1 時間 50 分授業、1 日 5 時間、1 週間 25 時間授業です。
- ・入学時のオリエンテーションテストで 5 つのレベルに分けられます。しかし、途中でクラスのレベルを変更することは可能です。
- ・私のクラスははじめ、韓国人 3 人、中国人 2 人、日本人 11 人の全 16 人で編成されていましたが、何人かがクラスを変更したため、現在は 13 人のクラスです。
- ・使用している教科書は、Oxford University Press の Q: Skills for Success

Reading and Writing, Listening and Speaking の 2 冊を使用しています。この教科書には、オンライン上でも学習できるような機能もあるため、授業の復習などにも役立っています。

- ・Grammar や Pronunciation に関しては、配布されるプリントを使用しています。
- ・授業はすべて英語で行われています。毎時間、3～4 人のグループに分かれ、グループで話し合うなどのグループ学習も多く行われています。教室内での会話はすべて英語なので、英語による会話力を鍛えることができそうです。
- ・各教室にはホワイトボード、パソコン、プロジェクターが設置されています。プレゼンテーション時には、パワーポイントをプロジェクターで表示しながら発表を行います。
- ・ESL の生徒は、メインキャンパスから少し離れた施設で学習していますが、メインキャンパスには大きな図書館もあり、図書館内だけでなく、キャンパス内にはたくさんの自習スペースがあります。

II. 生活状況

・私は大学の寮に住んでいます。寮では、ほかに 3 人の学生と暮らしています。1 人は同じ ESL の学生ですが、あとの 2 人は現地の学部生です。1 つの寮は 2 階建てで、共有のキッチン、リビングが 1 つ、トイレ、シャワーが 1 階と 2 階に 1 つずつ備え付けられています。キッチンには冷蔵庫、電気コンロ、電子レンジはありますが、包丁やまな板、フライパンなどの調理器具は備え付けられていません。また、1 人 1 人に専用の部屋は備え付けられています。各部屋には、ベッド、学習机、いす、たんす、本棚、クローゼットは備え付けられています。

・寮は学校の敷地内にあるので、毎日徒歩 3～5 分ほどで通学することができ、通学に関してはとても便利です。

・食事は毎食自炊しています。昼食は自分でサンドイッチなどをつくり、お弁当として持参しています。学校の近くやキャンパス内にも食事を買うことができる施設もあるので便利です。

・食料品や日用品などは、学校からバスで 10～15 分ほどのところに大きな商業施設があるので、そこで買い物をしています。

・ESL の学生は全員、市内のバスに乗り放題の切符を入学時に配布されるので、市内であれば、バスでどこへでも行くことができます。

・休日は、学校の近くにある映画館で映画を観たり、買い物に行ったりしています。また、友達と食事に出かけたりもします。少し離れたところにアウトレットモールもあります。また、長距

離バスを使えば、1時間半ぐらいでトロントまで遊びに行くことも可能です。

・学校主催で、**ESL** の学生向けのアクティビティも設けられているので、それに参加して、現地のスポットを楽しむこともできます。

留学種別	認定
留学先大学	ヨーク大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は大学の語学学校に通っています。クラスの人数は 15 人でほとんどのクラスメイトが中国人です。大学の語学学校のため、ほとんどの人が大学進学を目指して勉強をしています。今のクラスは日本人が 2 人、韓国人 2 人、他 11 人中国人です。コースはアカデミックプログラムを受講しています。このコースは A3 - A9 のレベルに分かれており、英語の技能をバランスよく勉強することができるコースだと思います。A3 - A5 のレベルではカンバセーションパートナーという毎週 2 回大学生と話す機会が義務付けられていました。A6-A9 のレベルでは大学の講義を 2 回、4 回アクティビティ（学生ディスカッション、ワークショップ、ボランティア、カンバセーションパートナーなど）に参加することが義務付けられています。また、授業はコアクラスとセミナークラスがあります。コアクラスは毎日英語の技能をバランスよく学び、セミナークラスは毎週火曜日と木曜日にビジネス英語やディスカッションなどいろいろなクラスがあり、その中から自分が受講したいものを選ぶことができます。使用教科書はレベルによって違いますが、文法、Reading がほとんどです。今は、アカデミックな教科書を使っているので Reading の内容が現代問題です。授業形式は講義形式ですが、インタラクティブな授業です。大学の学習環境は、とても充実していると思います。カンバセーションパートナーに毎日参加したり、大学の図書館で勉強することができます。また、語学学校生だけが使えるパソコン室もあるため設備も充実しています。

II. 生活状況

私はホームステイをしています。一度問題があったため、ホームステイ先を変更しました。今は問題なく生活を送っています。ホームステイ先には四人のルームメイトがいます。国籍はメキシコとブラジルです。ご飯の時間が決まっていないため、時間が合えばルームメイトと一緒に食べています。通学方法はバスと地下鉄を使っています。そのため、毎月定期券を買っています。トロントの交通機関はとてもシンプルで分かりやすいです。食事はホームステイのためほとんど家で食べています。ホストマザーがフィリピン出身のため、日本とあまり変わらない食事をしています。週末に大学の友達やルームメイトと食べに行くこともあります。滞在期間が長いいため、買い物のほとんどが衣服を買っています。休日は大学の友達やルームメイトと出かけるか、図書館で勉強をしています。

留学種別	認定
留学先大学	レイクヘッド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学コースでは、アカデミックイングリッシュプログラムという名の下、イギリスのオックスフォード大学が監修した **Oxford EAP** という教科書に沿って学部コースに備えたハイレベルな英語を学びました。授業は月曜日から金曜日、毎日 **9時** から **15時** まで、リーディング、ライティング、スピーキングを学びます。教員は担任形式で、一人の教員が各自担当クラスにてこれらすべての科目を受け持ちます。クラスは、私を含め **4人** の生徒がいました。その人数の少なさから、授業中、質問等あればすぐに聞くことができました。授業中はディスカッションなどの活動も多く、自分の意見をいかにうまく伝えられるか、と考えさせられることも多々ありました。レイクヘッド大学では、基本的に春、夏のセメスターは留学生が少なく、国籍も **90%** 以上が中国から、あとは韓国、ベトナム、エクアドル、イランからの生徒が数人で、日本人は私一人でした。そのこともあり、日本語を使う機会がなかった為、より英語学習に専念できました。語学コースの教室のある建物は新しく、なお、そのエリア自体が留学生サポート用のオフィスでもあるため、困ったことがあればすぐに相談できます。また、大学内の図書館にはいくつもの自習スペースが備わっていますが、紙を印刷する際には別途料金が必要です。

II. 生活状況

ホームステイでは、ネイティブの英語に触れることができるので、寮生活などに比べヒアリングやスピーキング力が向上すると思います。授業では習わない口語表現や、インフォーマルな言葉も覚えられる為、それもまた1つの勉強になります。私のホームステイ先では小さい子供が3人いるので、両親も比較的わかりやすい言葉で話しかけることが多く、聞き取りやすいです。また、子供たち自身も大人に比べ話すスピードが遅いので、英語も聞き取りやすく彼らと遊ぶうちに学んだ表現もいくつかあります。そのためホームステイは留学生の英語力を非常に伸ばしてくれると思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- speaking, listening, writing , reading
- 12~14 人 日本、中国、エチオピア、ベトナム
- 火木 8:00-10:40, 10:50-13:30/水金 8:00-9:50, 10:00-11:50
- 講義形式

II. 生活状況

ホームステイの環境はあまり良くない。ホストマザーの耳が悪いためにしっかりコミュニケーションを取れていないことが多く、よく言い合いになることがある。また、理由もわからないのに不機嫌で態度が悪いことがたまにある。

バスで一度乗り換えをして 25 分かけて通学する。

休日は、ここでは特に何もすることがなく、一緒に英語を話して出かけられるような友達もいなかったの宿題をするかジムに行って運動をしていた。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期英語コースの授業は **Reading/Writing**、**Communication** の 2 つがありました。それぞれ **intermediate**、**high intermediate**、**advanced** の 3 つのレベルがあり、留学生は学期はじめのテストによってレベル分け、さらに 1 クラス 15 人前後になるよう各レベル午前授業組、午後授業組の 2 グループに分けられました。私は 2 授業とも **high intermediate** で午前授業でした。**Reading/Writing** の授業では主に人種差別や家族問題などの社会的問題をテーマにしたエッセイを読み、内容についてクラスで話し合い、解説を聞いたあと、自分なりに要約、レスポンスを書くというのが基本的な流れでした。**Communication** の授業では **Reading/Writing** と同じようなテーマについての話し合い、リスニング、プレゼンテーションを行いました。時間割は月曜日が休み、火木は 1 コマ 2 時間 40 分の授業が 2 つで 8 時開始 1 時半終了、水金は 1 コマ 1 時間 50 分だったので 8 時から 11 時 50 分まででした。

II. 生活状況

私は前期大学からバスで 15 分ほど離れたお宅にホームステイをしていました。私のホストファミリーはカナダ人の奥さん、ロシア人の旦那さん、その息子さんが 1 人、犬と猫が 1 匹ずつでした。学校のある日は朝食、夕食はホストファミリーの誰かが用意してくれたものをみんなで食べ、昼食は家にあるものを使って自分でランチを作って持って行っていました。休日は 3 食ともファミリーが用意してくれ、一緒に食べました。カナダの文化の多様性に加えて、ファザーがロシア人だったので、カナダ料理、メキシコ料理、アジア料理、ロシア料理などいろいろなものが出ました。休日の過ごし方は土曜日友達とダウンタウンやイベントに出かけるなど外にすることが多く、日曜はホストファミリーと朝教会へ行って、午後はホストファミリーとその親戚たちと家で過ごすということが多かったです。また、いくつか家のルールがあり、洗濯は週に 1 度、お風呂は 21 時までに終わらせなければならなかったもので、出かけていて帰宅が遅くなったときなどは翌日入るということも多くありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェルバ大学
留学先国・地域名	スペイン
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

非ネイティブの為のスペイン語コース、英語で学ぶ授業があり、ヨーロッパのあらゆる国から学びにきている学生が多数在籍。中国などアジアからの学生は少ない。2コマ1授業。人数、形式は様々。学生が主体的に発言できる環境がある。英語の授業のレベルは高い。

II. 生活状況

宿舎には様々な設備が沢山あり、図書館など勉強できるスペース、また娯楽スペース、テニスコートなどあり、食事もお金を払えば朝プラス昼または夜、またはどちらかを選ぶ事ができる。またスペイン人がほとんどで話す機会も豊富。ただ他のピソに比べて高め。しかし、この寮は今年6月をもって閉鎖された。通学方法は様々、徒歩自転車バス。1日2食でも困らないので買い物する事はほとんどない。休日は近くの海へ行ったり、散歩など。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェルバ大学
留学先国・地域名	スペイン
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・英語の授業

英語の授業は主にペアワークなどで問題を解いていく形。4 技能をしっかりと日を分けて学ぶ。特に長文を読み取るものが多い。そして、それらを要約する。文法などもあるが、さらっとやる。リスニングはとても聞き取りにくいもので練習するので全くついていけない。クラスはトータルで 50 人ほどいる。国籍はみんなバラバラで、ヨーロッパ出身の留学生が多い。1 週間に 2 回授業があり、一回の授業は 1 時間半の 90 分。毎週月曜日と火曜日使用している教科書は、CAMBRIDGE の Academic English というもので、授業は講義式。

・教育の授業

主に幼児障害教育について学ぶ。障害によって教師としてどう対応するか。クラスの人数は 30 人ほど。国籍多様、ヨーロッパが多い。1 週間に 2 回あり、1 回の授業は 2 時間の 120 分。火曜日と木曜日にある。使用している教科書の名前は不明、講義式。

・スペイン語の授業

自分のスペイン語の実力によってレベル別の授業を受ける。単語や文法、練習問題が多い。授業の始めはいつも、会話から始まる。コミュニケーション活動も豊富。クラスには、12 人ほどでゼミのような形。国籍はスペイン以外のヨーロッパからの留学生が多い。1 週間に 2 回あり、1 回の授業は 2 時間の 120 分。火曜日と木曜日にある。教科書は使わず、先生が用意するプリントや学習サイトで学ぶ。大学の図書館には、多くの学生が勉強している。また、教室間にある机などで勉強している学生も多い。

II. 生活状況

ホームステイはとてもよい。

家族は常に私のことを気遣ってくれる。また、私が家にいるときは一緒にご飯を食べる。(食事を作ってくれる)

通学は、自転車を使っている。

学校帰りにスーパーへ行き、必要な食材や飲み物を買っている。また大学の近くには大きなショッピングモールもあるので、授業が早く終わった時には、買い物に行く。

休日は友達と海や、外食、散歩をしている。また、映画を見たり、課題をしたりする。

たまに、家族でおばあちゃんの家に行き、1 日過ごすなど。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	ニュルティンゲン・ガイスリンゲン大学
留学先国・地域名	ドイツ
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私がとった授業はおもに英語やドイツ語です。10科目とり、週に4回授業があります。英語の授業はビジネス英語やオフィスで使う英語などを勉強しており、留学生向けのドイツ語の授業をオンラインと普通の授業形式で二科目とっています。また他にもデジタルマーケティングやドイツについての授業もとっています。ドイツについての授業ではドイツの歴史や社会についてやりました。ドイツの社会については勉強する上で40時間のボランティア活動を行わなければなりません。教科書というよりはくばられたスクリプトをみて勉強する形式です。デジタルマーケティングは大きな教室での講義形式です。他の科目は比較的小さな教室で20名ほどの交換留学生と受けています。主にスペイン、インドネシア、トルコ、ボスニア、オランダなどヨーロッパからきている留学生が多かったですが、韓国からきている生徒もたくさんいました。そして授業の雰囲気はよく、わからないことがあったらその場で聞け、先生も答えてくれるのでわからなくて困るということはありませんでした。図書館はあるのですがあまり勉強しにいくという雰囲気ではないので、自習室というところはありません。そして教室には一つも冷房がついていないので暑いなか勉強をしなければなりません。

II. 生活状況

私は寮に滞在しました。1人部屋で十分広さもあり、クローゼットも机もあるので比較的によかったです。共有のスペースはバスルームとキッチンがありました。バスルームは二つの部屋の間設置されており隣に住んでいる人と共有する形となっています。バスルームはドア一枚でつながっているだけなので洗面所を使っている音やシャワーの音は全て聞こえてきます。そしてシャワーはシャワーカーテンを使用するという区切りだけでトイレとシャワーの床が一緒になっているので、シャワーをつかった後には床が濡れたままの状態です。トイレや洗面所をつかわなければなりません。共有のキッチンはコンロが四つついておりオーブンもレンジもありました。そしてキッチンスペースに自分の鍵付きの棚や冷蔵庫があります。20名くらいの人と共有するので決していつも清潔な環境という訳ではありません。またたばこを吸う人が多くたまにキッチンで吸う人もいたのでときよりたばこくさかったです。週末には多くの人はキッチンで飲み音楽をかけたりするので部屋のある場所によってはうるさいと感じるかも知れません。

学校まではバスで通っています。片道2.50€ですが1期分の定期を209€で買い、学校まで20分かけて通っています。

食事はできないので自炊をしなければなりません。寮から徒歩5分ほどのところにスーパーマーケットがあるので食料などはそこで買っています。ドイツでは日曜日にほとんどの店が閉まっています。なので土曜日に日曜日分の買い物を済ます必要があります。主に土曜日は街にでて買い物をし、日曜日には近くにあるバスケットコートでバスケットをしたりして過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	ミリアム大学
留学先国・地域名	フィリピン
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・教育学部では子供にとって学習しやすい環境について学びました。クラス人数は5人、一人中国人の正規学生さんがいました。子の授業は木曜日3時から6時に開講されており使用教科書はありません。授業形式はゼミ形式です。

・観光学部の授業では起業やマーケティング、ツアーパッケージについて学びました。クラスの人数は10人程度で韓国人の正規学生さんが三人、インド人の正規学生さんが一人、フィリピンと日本のハーフの正規学生さんが一人いました。この授業は、土曜日の8時から2時半に開講しており11時から11時半まで30分の休憩があります。これらの授業も使用の教科書はありません。授業形式はゼミ形式です。

・大学の学習環境は日本の大学と比べてしまうと劣ってしまうかもしれません。ほとんどの部屋にエアコンが設置されています。自習室のような部屋は今のところ見ていません。正規学生さんは食堂や中庭のテーブル、空き教室で自主勉強しているところをよく見かけます。

II. 生活状況

・ミリアム大学の寮は3人部屋と5人部屋がありWi-Fiも完備されています。24時間女性のガードマンさんが在中しておりセキュリティの面でも安心です。またキーパーさんがいるのですがほとんど部屋の掃除は行わないため床は髪の毛だらけになりがちでした。お風呂場も髪の毛がたまってしまいそれに虫が寄ってきてしまう始末です。衛生面では少し問題があるように感じました。ほかの大学ではお湯がでない寮があるそうですがミリアム大学の寮はぬるめのお湯がでます。また、食器類を何回か盗まれた経験があります。寮の方にいっても帰ってきませんでした。食器類は食器置きではなく自分の部屋で管理した方がよいです。(もちろんお金の管理も)

・寮は学校の敷地内にあるので徒歩で数分です。

・食事は4月～7月は近くのスーパーでパンやカップラーメンのような保存がきくものを購入し時々出前を頼んでいました。8月～12月もほとんど同様ですが時々栄養補給のため野菜スムージーを買ったり外食をしていました。

・休日の過ごし方は4月～7月はほとんど寝て過ごしていました。8月～12月は課題をしたり、休んだり、時々友達と遊んだりしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は午前と午後の部で分かれており、私は午前の部だったので9時から13時まででした。

内容はテキストを使って進められ、テキストの長文読解や文法を中心に学びました。時々文章を書く練習やグループワークもしました。月・火曜日と木・金曜日とで先生が違うので勉強する単元が異なり、また進め方も先生によって変わってきます。私の木・金の授業を担当していた先生はパソコンや動画を使ってリスニングをすることが多かったです。

水曜日は選択授業で DELF 対策・オーラル・メディア・ツーリズム・フランス文化などから2つ選ぶことができます。

クラスは 20 人程で、国籍は日本人と韓国人が4人ずつ・台湾人3人とアジア人が多く、他にはメキシコ・コロンビア・サウジアラビアなどから来ていました。

授業中に理解できないことがあれば先生が分かりやすく言い換えて説明してくれますが、最初の頃は言い換えてもらったことさえ聞き取れず周りの生徒のレベルも高かったのでかなり苦しかったです。しかし、徐々に耳が慣れていき先生の説明も理解できるようになりました。

II. 生活状況

私は La Maison Saint Bernard という寮で生活しています。大学や最寄りのメトロまで徒歩10分、中心街も近く便利な立地です。部屋はすごく広い訳ではありませんが1人で生活するには十分な広さで冷蔵庫や電子レンジが備わっており、各階に共同のシャワーとトイレがあります。地下に共同のキッチンがありますが、キッチンを汚してもそのままにしている人がいたり残飯が放置されていたりすることが時々あるので清潔感はあまり感じられません。

部屋には冷暖房機器がなく毛布も薄いので冬は寒かったです。こちらに到着してすぐに布団を買いました。また、どこから入り込んだか分かりませんが朝起きたら部屋に大量の蟻がいたことが1度あり、すごく嫌な思いをしました。家賃が安くて古い寮ですし1階に住んでいるので仕方のないことだとも思いましたが、この一件だけでなく総合的に見て、少しばかり高いお金を払ってでも綺麗でちゃんとした住居を選ぶべきだったなと少し後悔しています。

留学種別	TESS II
留学先大学	リエージュ大学
留学先国・地域名	ベルギー
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・コース内容

①Strategic Stakes in Globalization

国際的に広い視野で様々な国の取り組みや課題を学ぶ。

②Introduction to Belgium Politics

ベルギーの政治について学ぶ。

③Anglais A

理系生徒に向けた英語の授業。理系の内容の教科書を使いながら、文法や長文読解に取り組む。

④US literature and civilization

アメリカのポエムについてそれぞれ生徒が分析して発表する。

⑤Anglais nouveau 1-2

③と似ているが、取り扱う教科書の内容がヨーロッパの歴史である。

・クラス人数

①約 30 人 国籍は様々

②4 人 国籍はカナダ 2 人、ロシア 1 人と自分

③約 20 人 国籍はベルギー人がほとんど

④約 10 人 国籍はベルギー人がほとんど

⑤約 15 人 国籍はベルギー人がほとんど

・一週間の時間割

火曜日①10:00 - 12:00 ②13:00 - 15:00

水曜日③10:00 - 12:00

木曜日④10:00 - 12:00

金曜日⑤13:00 - 15:00

・使用教科書

特になし（先生のパワーポイントやプリントなど）

・授業形式

すべて講義形式

・大学の学習環境など

可もなく不可もなくといった感じ。休校になるクラスが日本の時と比べると多いように感じる。だいたい自習は図書室でやるのだが、それぞれ静かに勉強していてパソコン用のコンセントも設備されているので良い。

II. 生活状況

・キッチンのみ共同。最上階ということもあり、水圧が弱く、シャワーが時々止まって寒い。

Wi-Fi が止まって PC が使えなくなったり、アラームが結構鳴る、フロントドアが壊れて鍵を持っていても入れないなどハプニングは結構多いように思う。

・徒歩かバス

・買い物は徒歩 20 分くらいの Delhaize か Carrefour というスーパーマーケットでよくする。自炊がほとんどだが週 1 くらいで友達と外食に出かける。

・休日は、友達と出かけるか、家の中で勉強または映画を見て過ごすことが多い。特に日曜日は

ほとんどの店が閉まっているので家にいることが多い。

留学種別	TESS II
留学先大学	上海外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

月曜日から金曜日、朝の8時から必修の授業が2コマありました。文法、リスニング、会話、長文読解、ビデオを観る授業の5つでした。昼にも様々な授業が開講されていて、自分が興味のあるものを選択することができます。クラスによっては日本人が多いクラスもありましたが、私のクラスは18人、国籍や年齢みんなバラバラでとても楽しいです。どの授業であっても全員思い思いに喋ることができ、先生方も私たちの発言をちゃんと聞いてくれます。日本の授業よりも賑やかで、生徒主体でした。国籍が異なるので、会話の授業では自分と全く違う文化や習慣を聞くことができ、楽しいし、勉強になりました。また、自分のリスニング力も鍛えられたように思います。

学校内に図書館やカフェもあり、授業後も勉強できます。毎日多くの人がいきました。

II. 生活状況

私は2人部屋の寮に住んでいましたが、1人部屋を選ぶことも可能です。ホテルとして使われていることもあり、部屋は綺麗で、セキュリティもしっかりしています。何か、困ったことがあれば、フロントに行けば、助けてくれます。共同のスペースには、洗濯機と冷蔵庫があり、部屋によって曜日が違いますが、週に1度掃除がきて、シーツなども交換してくれます。寮と学校が同じ敷地にあるので、通学には困りません。

朝、昼、晩と学食がありましたが、私はあまり行っていませんでした。寮の近くにも、たくさんの店が並んでいて、中華だけでなく、種類もさまざまです。また、徒歩圏内にショッピングモールもあり、よくご飯を食べに行ったり、大体のものは買い揃えることができます。

休日は部屋でゆっくりする日もあれば、友達と出掛けたりしました。上海には出掛ける場所がたくさんあるので、とても楽しいと思います。

また、地下鉄がとても発達しています。寮からも徒歩5分くらいで着き、移動にとっても便利です。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	上海外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019年度1期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・中国語
- ・14人 日本、タイ、韓国、フランス、インドネシア、ロシア、バハマ
- ・月曜→中国語精読、中国語リスニング、中国語ビジネス 計3コマ
火曜→中国語精読、中国語読み書き 計2コマ
水曜→中国語精読 計2コマ
木曜→中国語精読、中国語読み書き 計2コマ
金曜→中国語精読、中国語リスニング 計2コマ
- ・中国語文法教科書（英語での説明あり）、中国語リスニング教科書
- ・少人数での授業、発言、発表、音読など
- ・大学内に勉強できる図書館、カフェがある、
授業終わりに個別で先生にわからないところを質問しに行ける、教室は黒板の教室と電子黒板の教室がある、各教室に大きいテレビが一台ずつある

II. 生活状況

- ・共同キッチン、洗濯機がある、週に一度部屋を掃除しに来てくれる
- ・徒歩五分程度
- ・近くのレストランに食べに行く
- ・観光したり交流会に参加する

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

到着数日後にクラス分けテスト(拼音の打ち込み+口語試験)を行い、レベル別に 9 ランクに分けていきます。中国語専攻コースには、汉语、阅读、口語の 3 種類の必修科目しかなく、その他は選択科目になります。

1 クラス 15 人前後で、国籍はバラバラです。レベルによってはアジア圏が多いみたいですが、基本的にクラスに同じ国籍の人は 1~3 人ほどになっています。私のクラスは、ほとんどがヨーロッパの方です。

「1 コマ 50 分×2 コマ=1 科目」です。1 日に 1~2 科目の授業があり、1 週間では 9 科目分(3 科目×3 回)が必修科目分になります。授業は 8:00 スタートで、一番遅くても 15:00 には終わります。選択科目はその後に開講されています。私のクラスの時間割はほとんどが 12:00 までには終わります。

教科書は学校指定の北京大学出版のものを使用しています。クラス分け後に校内販売もしくはキャンパス内の書店で購入します。

私のクラスは静かな方だと思いますが、それでも日本での授業よりも、発言する機会が多いです。本文音読、練習問題の答え合わせ、例文作成、討論などがあるので、黙っているよりも話していることの方が多いです。日本人だとあまり慣れない授業だと思います。当然、全て中国語なので慣れるまでは難しいですが、慣れてしまえば、すごく学びやすい環境です。

教室は日本とほとんど変わらなく、図書館に自習スペースもあるので、学習環境は整っていると思います。

II. 生活状況

留学生用の宿舎は、キレイと言われている順に国交楼・白楼・一号楼があります。新入生は基本的に一号楼になるみたいで、自分も一号楼になりました。一号楼は最も古い宿舎ということもあり、正直想像していたよりも酷いです。ほとんどが 3 人部屋で、硬いパイプベッド、風呂トイレ共同など、悪いところを挙げるときりがありませんが、慣れてしまえば、他の部屋の人たちと仲良くなったり、一緒に遊びに行ったりと、周りとの付き合いがしやすいので、他の宿舎よりも楽しめます。実際、私も来てから 2 週間ほどは落ち込んでいましたが、今では楽しんでます。それでも、良いところに住みたいと考えているならば、半期ごとに部屋のネット予約をしているみたいなので、それで部屋を取ることができます。

留学生寮はどれもキャンパス内にあるので、徒歩で通学です。一号楼から教室までは 10 分ほどです。

キャンパス内に学生スーパーがあるので、そこでほとんどのものが揃います。もしくは、10 分ほど歩いたところに大きめのスーパーがあるので、そこに行く学生もたくさんいます。また、中国では淘宝というネット通販がとても盛んで、それを使えばどんなものでも 2~3 日で受け取れ、受け取り箇所も学校の門なので、とても便利です。食料品以外は淘宝をオススメします。キャンパス内には他にいくつか食堂があり、格安で食事ができます。飽きてきたら、学校周辺にさまざまな飲食店があるので、そちらでも食事ができます。日本食店もあるので、日本食が恋しくなったときに行っています。

中国は公共交通機関がとても安いので、休日は観光スポットや都市部に行っています。私は学校での座学だけでなく、街に出た方がより学ぶことができると思うので、積極的に出かけるようにしています。

留学種別	認定
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

汉语 口语 读写の三科目を受けています。
クラスは留学生のクラスで国籍もバラバラです。自分のクラスは日本人は 3 人います。
授業は 100 分授業を週に 9 コマ、プラス自分がとった選択授業です。汉语 3 口语 3 读写 3 です。
使用教科書は自分のレベルに合わせてこちらで買いました。
授業形式は講義形式です。しかし日本と違って外国人は積極的に発言するので慣れるまで戸惑いました。
学習環境は、大きな図書館には学習できるスペースがあったり、先生も質問すれば熱心に教えてくれたりと充実しています。

II. 生活状況

宿舎の設備は、寮によってバラバラですが、決していい環境とは言えません。白楼は夏にゴミブリが大量に出ます。それと、教室まで歩いて約 15 分くらいかかるので、教室から近くてゴミブリの出ない国交楼をお勧めします。
白楼、国交楼どちらともキッチンがありますが、白楼のキッチンは正直汚くて自炊する気になりません。
通学方法は歩きで教室まで行っています。
食事は昼は学校の食堂で食べて、夜は外に食べに出ています。たまに外卖もしたりします。
休日は、ちょっと遠くまで買い物に行ったり、旅行に行ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	大連外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・語学コース(文法・長文読解・リスニング・スピーキング)
- ・24 人(日本 8 人・韓国 5 人・ロシア 7 人・フランス 1 人・カザフスタン 1 人・ウズベキスタン 1 人)
- ・必須科目の文法・長文読解・リスニングスピーキングは、全て午前中の 1,2 時間目に勉強します。午後からは選択授業になります。
- ・目標汉语、汉语听说教程、中級 汉语阅读教程
- ・多くの先生が、黒板ではなく、パワーポイントを使って授業をしています。教室の設備は、椅子がたまに壊れているので新しいものと取り替えてもらいたいです。
- ・自習室を見たことがないので、普段は自分の部屋か公園か大学の近くにあるカフェで勉強しています。

II. 生活状況

- ・部屋はとても綺麗で広さも広すぎず狭すぎず使いやすいです。水・お湯を汲む機械が寮にあるので毎日水筒に水を入れて持って行ってます。とても便利です。
- ただ、洗濯機と共同のキッチンが地下にあるので、毎回地下まで降りて取りに行くのが面倒です。
- ・寮から学校まで徒歩 10~15 分ほど
 - ・食事は、物価が安いので、毎日食堂か近くのレストランで食べています。
- 1 食安くて 120 円、高くて 300 円ほどで食べられます。
- ・休日はテストに向けて勉強したり、友達と遠出して遊んだりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	大連外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

[コース内容]

コースは初級 ABC、中級 ABC、高級 AB に分かれており、わたしは中級 B で受けています。クラスによって多少変わりますが初級は中国で生活するのに必要最低限のことを学ぶ基礎、中級は初級の内容を踏まえてやや難しめの表現や中国語での会話が成立するようにリスニング力も養う基礎＋発展、高級は初中級の内容を踏まえてさらに高度な内容で、プレゼンなどもあるそうです。授業はどのコースも 1 週間に基本は 10 コマ、全部午前中で終わります。そのほかに選択授業が 2 個まで選べますが、事務室と交渉したら 4 コマまで取れたのである程度融通が利きます。

[中級 B の授業内容]

私が受けているクラスは精読課(基礎)、阅读課(長文読解)、听力課(リスニング)、口语課(スピーキング)の 4 種類の授業があり、それぞれ 4 コマ 2 コマ 2 コマ 2 コマで組まれています。

精読課は名外で受けていた中国語の授業に最も近いです。文章中に出てくる単語と新しい文法事項を習います。私のクラスは発言の機会が多く、指名された子が答えられなかった場合周囲が助ける形で授業が進みます。

阅读課は長文読解ですが、出題される文章が中国に関する内容が多く、文化や現状を知るのに役立ちます。問題を解くのがメインですが、先生の補足がすごくためになります。文法や新出単語はあまり出ません。

听力課はリスニングですが、聞いて問題に答えるだけでなく聞こえた文章を暗唱するので難易度が高めです。特殊な表現や理解しづらい表現は先生が補足をしてくれます。

口语課はスピーキングの授業のはずですが、私のクラスは文法事項を習うことが多く、発言の機会は少ないです。そのかわり、発音の矯正をしてもらえるのでありがたいです。

[クラス人数/国籍]

全員で 19 人で韓国 10、フランス 3、モロッコ 1、日本 5 人の編成です。

[一週間の授業時間割]

月曜日→精読課×2、英語課

火曜日→阅读課、听力課

水曜日→精読課、听力課

木曜日→阅读課、口语課、二胡課

金曜日→精読課、口语課、太极拳、HSK5 級

[大学の学習環境]

快適に学習ができます。大外は周囲に遊べる場所が少なく、落ち着いた環境なのでゆったりするのが好きな人や勉強に思う存分打ち込みたい人に向いています。カフェは学校内に 1 つ、外に 2.3 箇所あるので好きな場所で勉強出来ます。また、日本語を学習する中国人との交流も盛んなうえに留学生も中国人も基本的に学校内の寮に住んでいるので勉強を教えてもらいやすいです。基本的に優しい人しかいないので困っていたら何らかの形で手を貸してもらえます。

また、クラスの中の別の国の生徒とも何気無のおしゃべりを通して文化や好みを知ることができて楽しいし勉強になります。

II. 生活状況

[宿舎の設備/環境]

留学生の宿舎には空調設備とベッド、机と椅子、棚があるので特に不自由は感じません。私は2人部屋に住んでいますがユニットバスタイプのシャワールームです。私の友達で同室の子のシャワー時間が長すぎてその間トイレに行けないのが悩みだという人がいましたが、もし気にならないのであれば、同性同士なので片方がシャワーを浴びている間は鍵を開けて出入り可能にすればさほど不便は感じないと思います。

同室の相手がずっと部屋にいるため、1人になれる時間がないというストレスを抱えるかもしれませんが寮の近くの公園に避難すれば落ち着きます。

[通学方法]

学校内に寮があるので徒歩10分くらいで教室につきます。

[休み時間]

必須授業では教室が固定なので休み時間は友達とゆっくりお喋りしたり、お菓子を食べたりすることができます。私は休み時間を利用して韓国人の友達に韓国語を習っています。発音から読み方まで丁寧に教えてもらえます。

[食事や買い物]

食事は基本的に総合楼か食堂で食べます。総合楼では日用品が一通り揃えられるので便利ですが、安いのはタクシー10分くらいのスーパーなので時間があればそちらで買います。またネットショッピングが盛んで淘宝や天猫というアプリを使って買い物をする人が多いです。安くて早く、楽なので私もよく利用します。

中国はキャッシュレスで基本的にWeChat Payか支付宝で払います。現金はお釣りが無いからと受け取ってもらえなかったり、あまりいい顔をされない場合があります。また、学内の食堂ではおそらくカードが使えないのでこのどちらかで払うことが必須になります。

[休日の過ごし方]

休日は中国人の友達とご飯に出かけたり、ショッピングに行ったり、近くのカフェで勉強をしたりしています。疲れている日は部屋でのんびり過ごす日もありますが、個人的に週に3回は学校の外に出ると決めているので、外出することが多いです。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	大連大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私が履修していた授業は中级汉语一、报刊基础一、中国文化、中级口语一、古代汉语二、hsk 辅导、中文电脑です。8 教科だと少なく感じるかもしれませんが、同じ科目の授業が週に 2、3 コマあるので割と忙しかったです。月曜日が 3 コマで火曜、木曜、金曜が 2 コマ、水曜日が 4 コマでした。大体外大の二年生ぐらいの忙しさではないかと思えます。授業はどのクラスも少人数なので何度も発言できる機会がありました。講義形式の授業がメインでした。日本で受ける講義形式の授業とは違い、みんな積極的に質問していました。少人数なので質問しやすいと思います。私のクラスは日本人、韓国人、アフリカ人がいて合計 7 人でした。他のクラスに行くとモンゴル人もいました。他のクラスと合同で受ける授業もあるのでクラスが違う人とも仲良くなることできると思います。使っていた教科書は学校から指定されたものを使っていました。学校を通して購入した教科書もありましたが、自分で通販で購入した教科書もありました。担当の先生によっては人数分の教科書を用意していないこともあるので、その場合は各自通販で買わなければならないかもしれません。私はタオバオという通販で購入していました。通販で買った方が安かったです。通販を使うには現地での電話番号、住所、銀行口座が必要でした。なるべく早めに現地に着いて授業が始まる前に準備しておくと思います。私は中国銀行で口座を開けようとしたのですが、半年の留学だとビザの期間が短すぎて開設させてもらえませんでした。中国工商银行ならば半年の留学でも開設することができました。半年や中期留学に行く方は中国工商银行で開設すると良いかもしれません。銀行口座を作るには現地での電話番号、住所、パスポートが必要でした。大学には教室以外にも図書館、銀行、スーパー、カフェ、寮、食堂などがありました。私は朝早くに図書館に行くことがなかったので詳しくはわかりませんが、朝は 5 時か 6 時ぐらいから開いてるそうです。閉館は 10 時なので放課後に宿題を終わらせるには十分でした。図書館を利用するには白卡というカードが必要でした。このカードは大学内の中国銀行の隣の建物で作ることができます。また、私たち留学生が授業をしている建物の三階で金曜日と土曜日以外、夜の 6 時半から 8 時半まで日本語専攻の中国人が自習をしているのでそこに行く交流与しやすかったです。

II. 生活状況

私は寮ではなく学外に家を借りて住んでいました。学校の教室までは徒歩 20 分ほどで、家賃は月に 1100 元でした。寮だと 2 人部屋ですが、外に家を借りると 1 人で住めるので過ごしやすかったです。部屋についていた家具はベッド、洗濯機、タンス、机、流し、シャワー、トイレ、キッチンです。私のアパートだけかもしれませんがキッチンにガスがなく、料理をするには自分で小さいコンロを買わないといけませんでした。wifi も繋げることができました。3 ヶ月で 250 元ぐらいでした。中国の家は契約したその日から住むことができます。特に事前準備は要らないので学外に住みたい人はそのまま不動産屋に行けばいいと思います。その日に契約して即入居することができます。ただ、中国の家は掃除などをせずに次の人に引き継ぐそうなので入居当初は絶対に住めないほど汚かったです。外に住むならば最初の掃除は覚悟しなければならないと思います。他にも玄関に置いていたものが勝手に持っていかれたり、夜中に物乞いにドアをノックされることがありました。寮の方が安全だと思います。食事は朝と夜ご飯は屋台で買った食べ物を食べ、昼ごはんは学食を食べることが多かったです。とても安いので一食 10 元あれば足りります。外で食べるともう少し高いですが 30 元あれば十分足りると思います。また、外売というデリバリーサービスがとても充実していて、ケータイで頼むと部屋まで届けてくれます。日本

のデリバリーはピザしかありませんが、中国の外卖は何でも届けてくれます。大連大学付近は田舎すぎて遊ぶ場所がなかったので、休日は家で勉強したり中国語で映画を見たりして過ごすことが多かったです。動画を見るには百度、人人視屏、**bilibili** などが有名なアプリです。五一假や三連休には観光地に行くこともありました。コンセントは日本で使っているコンセントが使えるので変換のアダプターなどは持って行かなくて大丈夫です。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	大連大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019年度1期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

主に中国語の授業を受講しており、内容は主に総合中国語、リスニング、スピーキングの三つです。

他にも、古代中国語や中国文化やHSKなども選択して受講することができます。

クラスの人数は私を含め6人でそのうち4人が日本人、2人がアフリカ人です。

毎日授業数は違いますが、平均して一日に2, 3科目は授業があります。

朝は毎日8時10分から始まり、一番最後の授業は3時45分までです。

現在使用している教科書は日本で使用していた教科書より少し難易度がたかいと思います。

毎日宿題や暗記の宿題があるので授業が終わってからも比較的忙しく過ごしています。

授業は講義形式ですが、クラスの人数がとても少ないので自由に質問をできる環境です。

私たち留学生が授業を受ける建物は古く中はとても寒いですが、今は外は比較的暖かくなりましたが、

室内にいる場合はコートが必要です。自習室はありませんが、留学生も本科生と同じように図書館を利用できるので自習の際に困ることはありません。図書館は暖かくきれいです。

II. 生活状況

大連大学には卓球学校と留学生寮の二つの寮がありますが、

私は大連大学から歩いて15分ほどのアパートを借りて一人暮らしをしています。

一か月の費用は寮に住むよりも少し高く、電気代など様々な費用がかかるので寮で暮らすよりもやはり高いです。学校までは寮に住む学生よりも少し遠いので不便ではありますが、自分のペースで生活できるので1年留学の場合は外でアパートを借りるのもよい方法だと私は思います。

食事は学食が一食10元ほどでとても安く、量も多く、おいしいです。朝の早い時間から朝食が食べられるので自炊しなくても食事には困らず生活できます。私はアパートを借りて暮らしているため学校から少し遠く食事の面では少し不便さを感じます。大連大学付近にはレストランもたくさんあるので友達とご飯を食べに行く際には困りません。しかし大連大学付近にはスーパーはありますがショッピングモールなどはないので、家具や掃除道具を買いに行く際はとても不便です。ショッピングモールまではバスで30分ほどかかります。

大連はとても風が強く寒いですが、気温はそれほど低くないですがとても寒く感じます。空気は基本的には良いのでそこはよいと思います。休日は一日は勉強をして過ごし、一日は遊びに出かけて過ごしています。大連大学は留学生が少なく、日本人も多いので自分で行動しなければ中国語を使う機会は少ないです。しかし自分の行動次第でたくさんの人との出会うことができる大学だと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

まずクラス決めをするにあたって最初の 1 週間はお試し期間で各自自由にいくつかあるクラスのうちからそのクラスの授業を受けることができます。実際に受けてみて自分のレベルにあったクラスを決めることができます。クラスによって国籍や人数は異なりますが、僕のクラスは日本人が割合多く、クラスの人数は 20 人ほどでした。僕が今期受けていたクラスの授業科目数は精読(週 3)、閲読(週 2)、口語(週 2)、リスニング(週 1)の 4 つでそれぞれ授業で教科書を使用します。授業は 1 コマ 100 分間行われます。先生によって途中で休憩時間を与えてくれることもあります。1 日の授業は長くても 3 限(15:40)までなので自由な時間は割と多いと思います。また、教室には冷暖房も完備されているのでとても快適です。

II. 生活状況

宿舎は 1 日 60 円で冷暖房が完備されていてとても快適です。また衛生面でも比較的綺麗な方だと思います。ベッドも柔らかく、シャワーもしっかりお湯が出て、水圧もちょうどよく宿舎の設備、環境でストレスを感じる部分はありません。食事は基本的に学食で済ましています。とても美味しいです。高くても一食 15 元ほどでお腹いっぱい食べられます。学食の席が混んでいるときはテイクアウトして宿舎で食べることもあります。学食以外にも大学付近には飲食店がたくさんあるので、いろんな選択肢があります。

留学種別	TESS II
留学先大学	西安外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

クラス分けは 6 つのレベルに分けられ、各レベル 2,3 クラスあります。私のクラスは 12,3 人ほどの少人数クラスで、教室も小さいです。授業は先生の作った PowerPoint と教科書を見ながら行われます。授業では新出単語を使った文を考えて発表したり、声に出して教科書を読んだりします。

クラスには韓国人やスタン系、タイ人が多く、授業はにぎやかです。

II. 生活状況

私の住んでいる学生マンションには、エアコン、Wi-Fi 環境、独立洗面所、ポットなどがあり、設備は充実していると思います。冷蔵庫などはなかったもので、同じ部屋の人と折半して購入しました。

学内の寮なので教室まで 5 分ほどです。

学校のすぐ側に飲食店や大きなスーパーがあり、駅やバス停も近いので、買い物や出かけるのにも便利です。

留学種別	TESS II
留学先大学	西安外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容

精読の授業、口語の授業、聞き取りの授業の3つに分かれています。精読は毎日あり、口語と聞き取りは口語であります。

どの授業も全て中国語で、精読の授業は主に文法。口語ではプレゼンをしたり、音読がメインです。聞き取りでは、単語を読んだ後、CDを流し、問題の回答をする授業です。

クラス人数 国籍

クラスの人数は12人ほど

国籍は日本、韓国、ロシア、チベット、カザフスタン、フランスです。

一週間の時間割

月曜日 精読 聞き取り

火曜日 精読 口語

水曜日 聞き取り 精読

木曜日 口語 精読

金曜日 口語 精読

使用教科書

発展中国 developing chinese

授業形式

講義式。

学習環境

自費で来ている生徒が休みがちです。そのため、クラスには半分ほどの人数ほどしか来ていません。

新校舎と旧校舎があり、一般的には留学生は旧校舎で授業を受けます。そのため、中国人と関わる機会はほとんどありません。西安自体日本人が少なく、新校舎では中国人が日本人と知り合いたくても知り合えず、旧校舎では日本人が中国人と知り合いたくても知り合う機会がないという、問題が起きています。

自習室は利用したことがないのでわかりません。

教室の設備は一般的です。ホワイトボードに画面が埋め込まれていて、それにusbを挿してpdfによって授業が進められます。

II. 生活状況

宿舎の設備

私は以前ホテルに住んでいましたが、今は学生寮に住んでいます。シャワーが共同で、部屋は和式トイレ。部屋はとても広いです。Wi-Fiは有料購入する必要があります、月額で払っています。購入しても電波は弱く、部屋の中で動画サイトなどを見ることはほとんどできません。そのため、スマホを利用するときはベランダに出ることがしばしばあります。寮のため、11:30に門限があり、門が施錠されます。

生活面ではホテルよりも不便ですが、ルームメイトが外国人になるというメリットがあります。実際、ホテルにいた時よりも確実に英語、中国語を使う機会は増えました。また、設備が良くないことによって私は部屋にずっといるのではなく、外に出かけよう、1日を無駄にしたいくな

いと、考えることができるようになりました。

通学方法は徒歩です。五分以内に着きます。

食事は大学から出たすぐのところ通りで、食事をしています。隣にも他の大学があるため、お昼時には混み、入れないこともしばしばあります。買い物は、近くに大きいスーパーがあるので大体そこで済ませています。

休日の過ごし方は、私は趣味のスケボーをしています。部屋にこもっていても、スマホが使えないというのがありますが、基本的に外に出て、外国人たちと交流をしようと心がけています。夜は宿題をしたり、友達とご飯を作ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	国立台湾大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は今学期に国際生華語、国際生實用華語、国際生旅遊華語、現代中文及習作一の 4 つの授業を履修しています。

●国際生華語、国際生實用華語

主な中国語の授業はこの 2 つです。この授業は登録の際に朝に受講するか、夜に受講するかを選択することができます。私は朝の時間を無駄にしたくないのと、規則正しい生活を送るために、朝の授業を選びました。聞く所によると、日本人の大半は朝の授業を選び、ヨーロッパやアメリカからの留学生の大半は夜の授業を選ぶみたいです。

朝の授業は毎週月曜から金曜 8:10~10:00(50 分×□2 コマ)で、月、水、金が国際生華語、火、木が国際生實用華語の授業です。

国際生華語の授業人数は 20 人ほどです。ドイツ人の子が 1 人、イタリア人の子が 1 人、フランス人の子が 1 人、それ以外全員日本人です。授業は實用視聽華語というテキストに則って行われます。一課が終わるごとにその課で習った単語と文法の筆記テストと口頭報告(プレゼン)があります。口頭報告は毎回 3 人ずつ先生に指名され、指名された生徒はパワーポイントを作成し、主にこの課で習った単語と文法を使ってプレゼンテーションをします。中間テストと期末テストは筆記テストに加え口頭テストもあります。

国際生實用華語は中国語を話すことに重点が置かれた授業です。當代中文課程というテキストを使用しています。このテキストの中には台湾ならではの単語や本文が載っていて、實用視聽華語よりも内容が面白いです。授業数が少ない関係で口頭報告はありませんが、筆記テストと口頭テストは一課が終わるごとにあります。

●国際生旅遊華語

この授業は旅行の際によく使う会話(切符の買い方、ホテルのチェックインの仕方など)を学ぶことができる授業です。内容は比較的簡単ですが、授業で習ったばかりのものを実践する機会がたくさんあって、私にとってはとても役に立っている授業です。テキストはなく、毎回先生がプリントを用意してくれます。留学生向けの授業なので様々な国籍の人がいますが、アジア国籍の子が多い気がします。

●現代中文及習作一

この授業は中文系の授業です。この授業を履修している学生の国籍は日本、韓国、タイ、ドイツ、シンガポールなど様々です。毎回先生が用意したプリントに則って授業をします。授業では中国語の短編小説や、歌詞を読んでその中に出てきた重要語句をピックアップして解説してくれます。また、短編小説を読んで思ったこと、考えたことをグループで共有して、発表する機会もあります。三週間に一回、400 字ほどの作文を書く課題が出ます。先生はその作文を細かいところまでしっかり添削してくださるので、作文を書く力をつけることができます。

II. 生活状況

私は台湾大学から歩いて約 10 分ほどの Prince House 水源宿舎に住んでいます。宿舎は比較的綺麗で、部屋の大きさも 1 人部屋にしては少し大きいかなと感じるほどです。宿舎の出入り口は鍵を持っていないと入れない仕組みになっていて、セキュリティもしっかりしています。さらに宿舎のカウンターも 24 時間体制なので、困ったことや宿舎についての質問があった場合、カウンターに行けばすぐに対応してくれます。台湾は比較的過ごしやすいところだと思いますが、日本に比べたらやはり湿度が高く、放っておくと服にカビが生えてしまうので、乾燥剤を

買ったり、部屋についてるエアコンで部屋の除湿をしたりして対策しています。また、台湾は暑いイメージがありますが、雨が降ると気温はグッと下がるので、気温の差で体調を崩さないように注意が必要です。

私は毎日歩いて学校に通っているので自転車を持っていませんが、台湾大学はとても広いので自転車を持っていると楽だと思います。

台湾には美味しいものが沢山あるので、食べ物には困りません。宿舎の近くにも食べ物屋さんやコンビニは沢山あり、選びたい放題です。すき家など日本のお店もあるので、食に関してはあまり心配する必要はないと思います。

日用品なども日本の商品は沢山置かれています。日本で買うよりは少し値段が高くなります。休日は言語交換をしたり、友達と台湾観光したりして過ごしています。台湾の公共交通機関（捷運、バスなど）の運賃は日本に比べたらとても安いので、気軽に色々な所に遊びに行けます。

留学種別	認定
留学先大学	国民大学
留学先国・地域名	韓国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

学部授業は 30 人程度で行われており、1 割程度留学生がいる。
留学生用の韓国語の授業では 40 人程度で行われており、中国やロシアからの留学生が多い。授業中の生徒同士の会話は基本韓国語、もしくは英語で進めている。
大学には休憩室、図書館、カフェ、コンビニ、化粧品、食堂、美容室、花屋などの多くの施設が入っている。

II. 生活状況

大通りに面した場所で生活しており、銀行やマート、カフェなどが多くある。
バスが深夜まで走っているため、帰りに困ることは特にはない。
買い物、食事は基本的に韓国人の子と一緒にいくため、特に困ることはない。
休日は、国に税金を納めている日韓交流会の正式な団体でボランティアをしており、韓国人と関わりながら韓国語だけではなく、文化なども勉強したり、日本の文化や言葉を教えたりして生活している。

留学種別	TESS II
留学先大学	釜山外国語大学
留学先国・地域名	韓国
留学期間	2019 年度 1 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は今学期6つの授業を受講しました。英語科目を4つ韓国語科目を2つです。1回の授業は50分で週に3回あります。

まず、英語の授業内容は全て会話に重点をおいていたと思います。授業の中でパートナーやグループで話合う機会が沢山ありました。また、課題でショートビデオを作るものもありました。ビデオを作って編集するなど初めての経験だったので大変なことも多くありました。テストも会話やディスカッション形式のものもいくつかありました。基本的にお互いの協力が必要なことが多くコミュニケーションを取るのが大変でした。クラスの人数は20人以上40人以内でした。国籍は、様々でどの授業にも韓国人以外の学生がいました。国籍がバラバラだったので様々な意見を聞いて学ぶことが多かったです。

韓国語の授業は会話とタンデムという授業を受講していました。会話の授業は文法を学びながら韓国語を沢山話す授業でした。この授業は雰囲気がとても明るく楽しく授業を受けることができました。テストはパワーポイントを作って発表でした。タンデムは韓国人学生と日本人学生がペアになって互いの文化を教えあうものです。普段の授業ではお互いテーマを決めて準備してきて授業中に教えあい、後で振り返りの日誌を毎週書きました。授業の中で体験学習があり、ペアの学生とどこかへ行き自分たちがしたことを発表することもありました。

II. 生活状況

私は学校内にある寮に住んでいます。部屋は二人部屋で日本人の学生がルームメイトです。寮には食堂や休憩室、コンビニ、洗濯機、ジム、自習室があります。寮内に設備が整っており、また清潔感もあり住み心地が良いです。

毎日の食事は平日は寮の食堂を利用していました。授業が遅く終わる日は夜はコンビニを利用することも多かったです。また寮に宅配を呼ぶことも出来るので宅配を頼んで友達と一緒に食べることもありました。

休日は友達とどこかに出かけることが多かったです。友達が色々案内してくれたり、仲良くなった友達の家遊びに行ったりすることもありました。部活の活動で遊園地や合宿に行くこともありました。

買い物や近くのスーパーや服などは繁華街に買いに行きました。電車やバスで簡単に行けるので特に困ることはないです。

